HITACHI
Inspire the Next

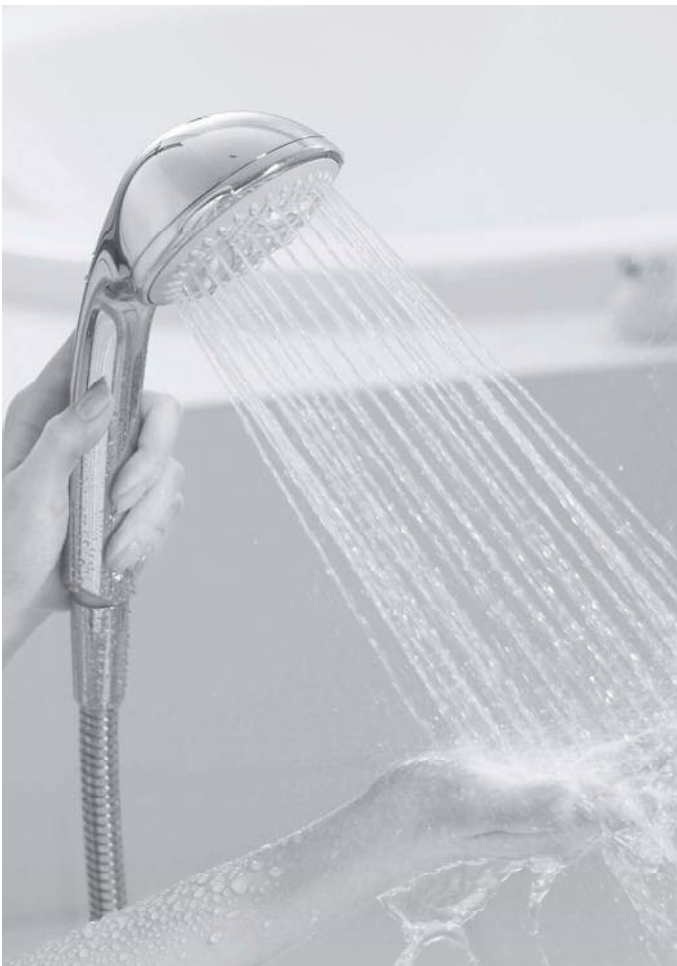
取扱説明書

保証書別添付

日立エコキュート
家庭用ヒートポンプ給湯機

水道直圧給湯フルオート ナイアガラ出湯

システム型式 BHP-FV46PD（ビー エッチ ピー エフ ブイ ピー ディー）
BHP-FV37PD（ビー エッチ ピー エフ ブイ ピー ディー）

耐塩害仕様は、型式の末尾に「E」がつきます。
耐重塩害仕様は、型式の末尾に「J」がつきます。

このたびは家庭用ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。**この取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。**
なお、本書は、快泡浴用の別売品のふろ循環アダプターを使用する内容で説明しています。
お読みになったあとは、保証書・カンタンご使用ガイド・DVD・工事説明書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」➔ P.5～9 をお読みいただき、正しくお使いください。

初めてお使いのときや、お困りになったときは、付属のDVDも是非ご覧ください。

家庭用DVDを再生できる環境でお使いください。

ご注意

この給湯機は時間帯別電灯契約、または季節別時間帯別電灯契約専用です。これらの契約は、時間帯により、電気料金が異なります。リモコンの時刻がずれていると電気料金が高くなることもあるため、リモコンの時刻が正しく設定されているか確認してください。

BB0046563A

もくじ

ご使用のまえに

使いかた

お手入れと確認・点検

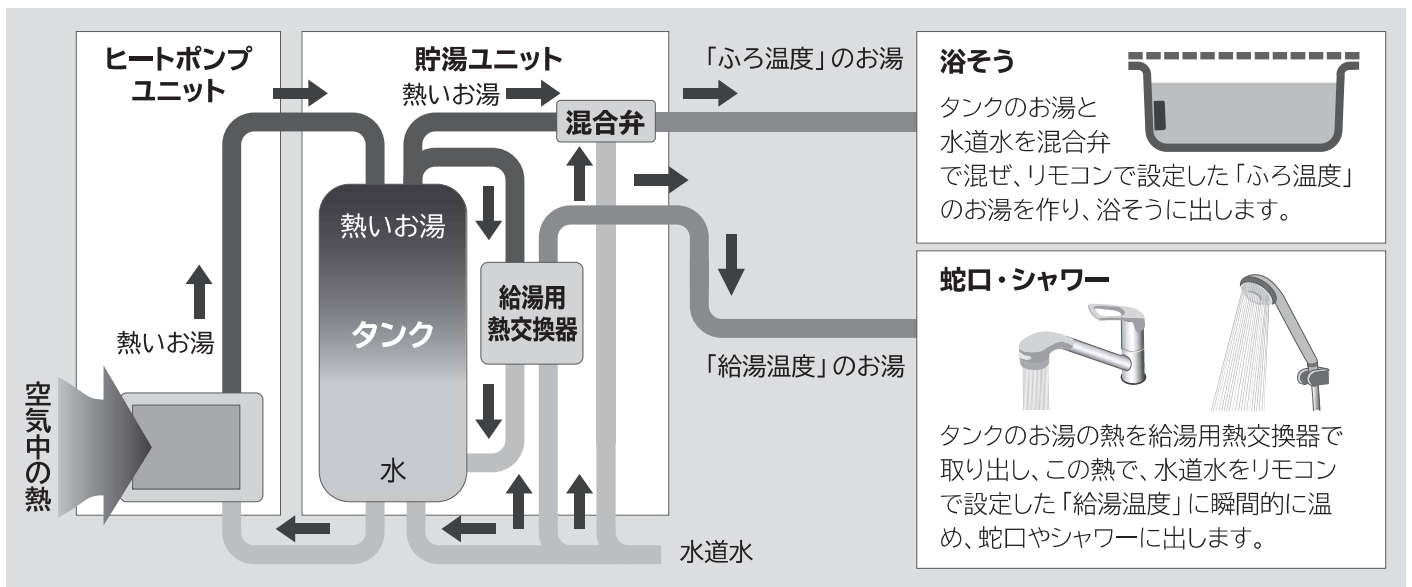
給湯機の設定

お困りのときは

エコキュートのしくみ

●エコキュートは、空気中の熱を利用してお湯を沸かす（ヒートポンプ式）給湯システムです。電気エネルギーを約3倍の熱エネルギーに変え、効率よくお湯を沸かします。

■お湯を沸かし、タンクにため、設定温度のお湯を作るしくみ

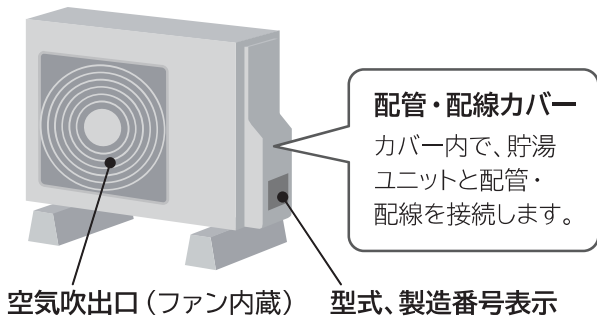
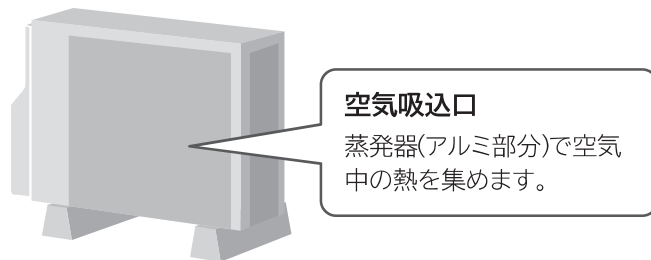
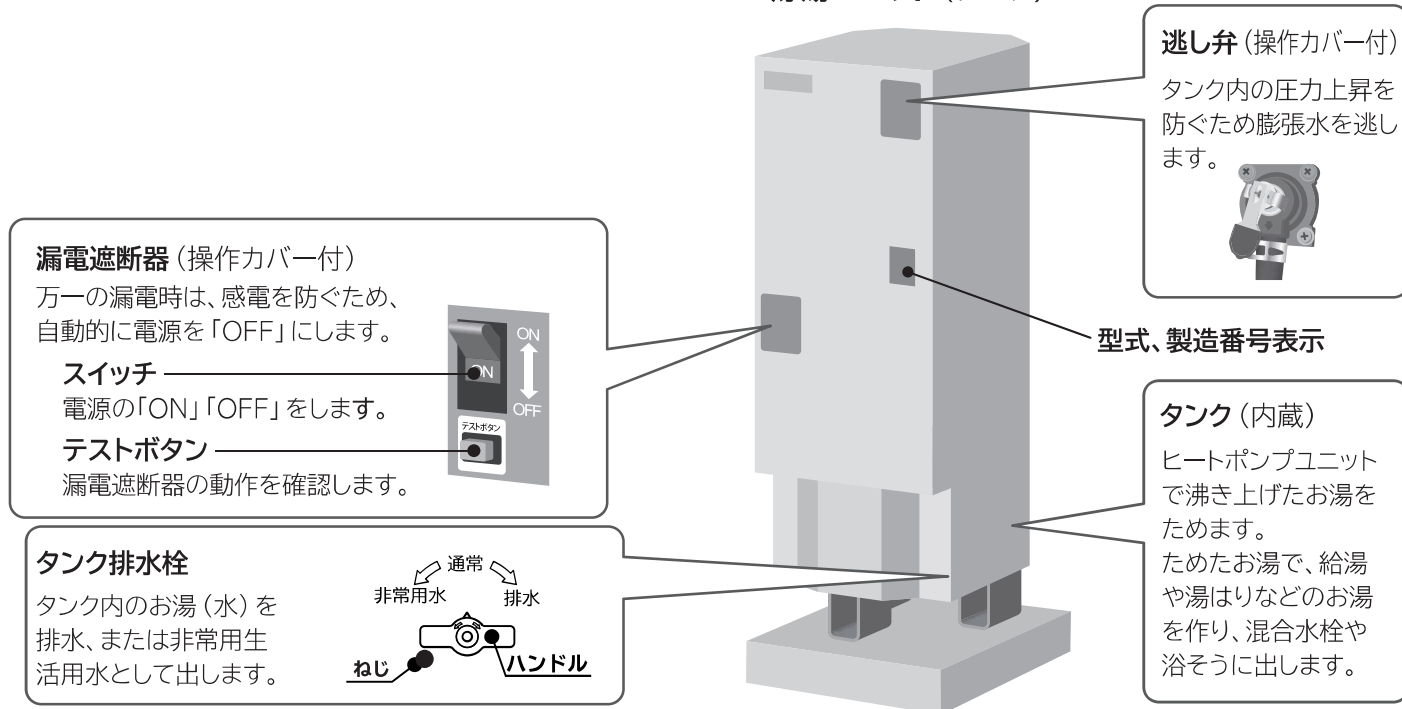
●ヒートポンプユニットで空気中の熱を集め、この熱で貯湯ユニットのタンクからの水を加熱し、お湯に沸き上げ、タンクに戻し、ためます。タンクのお湯の熱を給湯用熱交換器で取り出し、この熱で、水道水を温め、「給湯温度」のお湯を作ります。
●タンクのお湯は、浴そうの湯はりで使った分だけ減りますが、減った分だけ水道水が給水されるため、タンク内は常にお湯(水)で満たされています。

■お湯を沸かす電気料金を節約するしくみ

●この給湯機は、深夜時間帯の電気料金が割安になる時間帯別電灯契約、または季節別時間帯別電灯契約で契約されています。お湯を沸かしタンクにためることを、自動で主に電気料金が割安になる深夜時間帯に行うことで、電気料金を節約します。
●深夜時間帯は、各契約内容によって異なりますので、契約内容を確認の上、ご使用ください。 ➔P.57

ご不明の場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

エコキュートの構成と各部の名前、はたらき

●エコキュートは、お湯を沸かす「ヒートポンプユニット」、沸かしたお湯をためる「貯湯ユニット」、運転内容を設定する「ふろリモコン」と「台所リモコン」で構成されています。（別売品として、増設用の「サブリモコン」があります）

ヒートポンプユニット

貯湯ユニット（タンク）

リモコン

ふろリモコン

台所リモコン

サブリモコン（別売品）

配管（例）

貯湯ユニット(タンク)

サーモスタット式混合水栓(逆止弁付)

ヒートポンプユニット

空気用ホース
快泡浴時、浴そうに外気を供給するホースです。

浴そう

ふろ循環アダプター

排水口

排水口

ヒートポンプ排水管

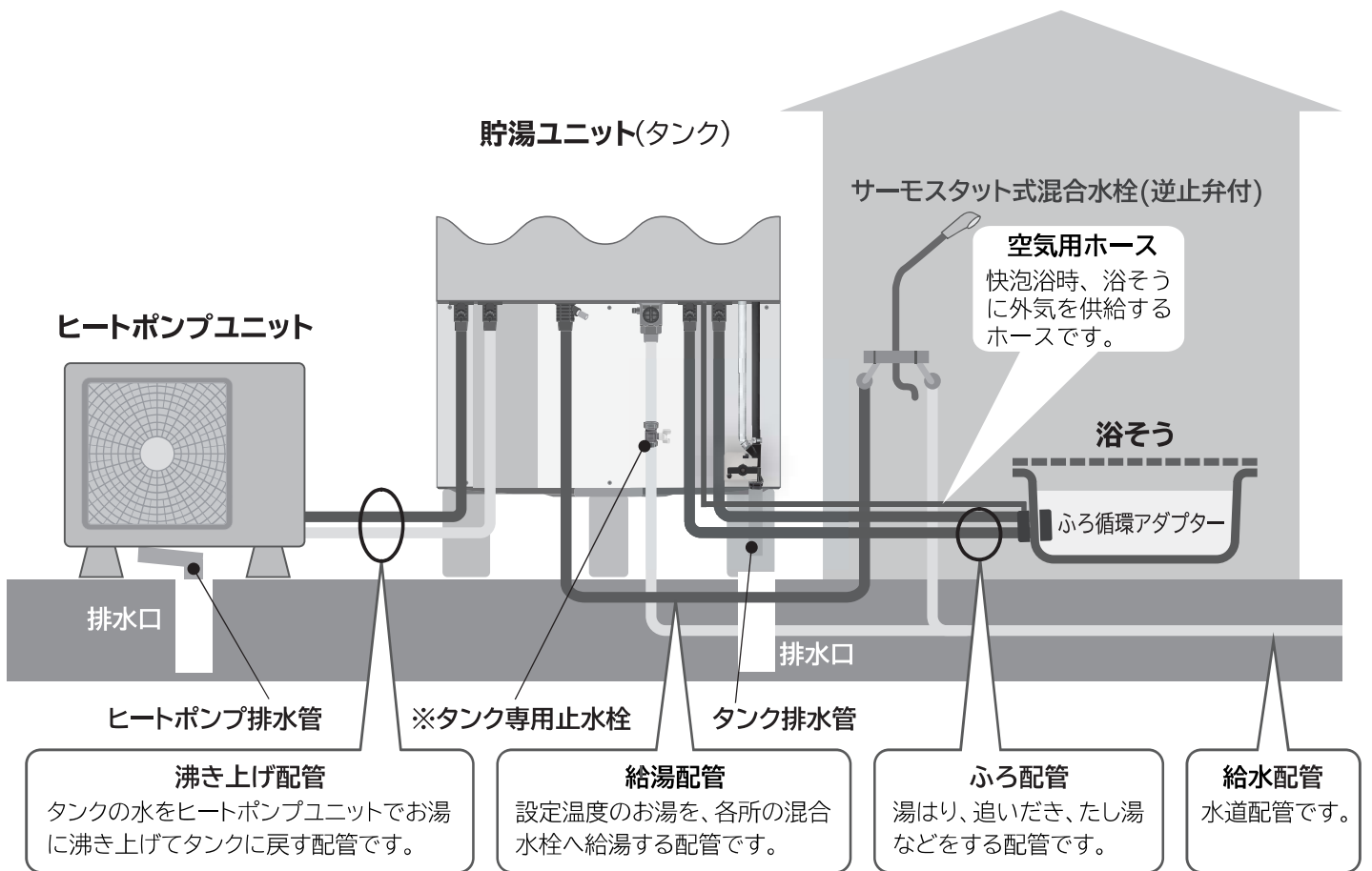
※タンク専用止水栓

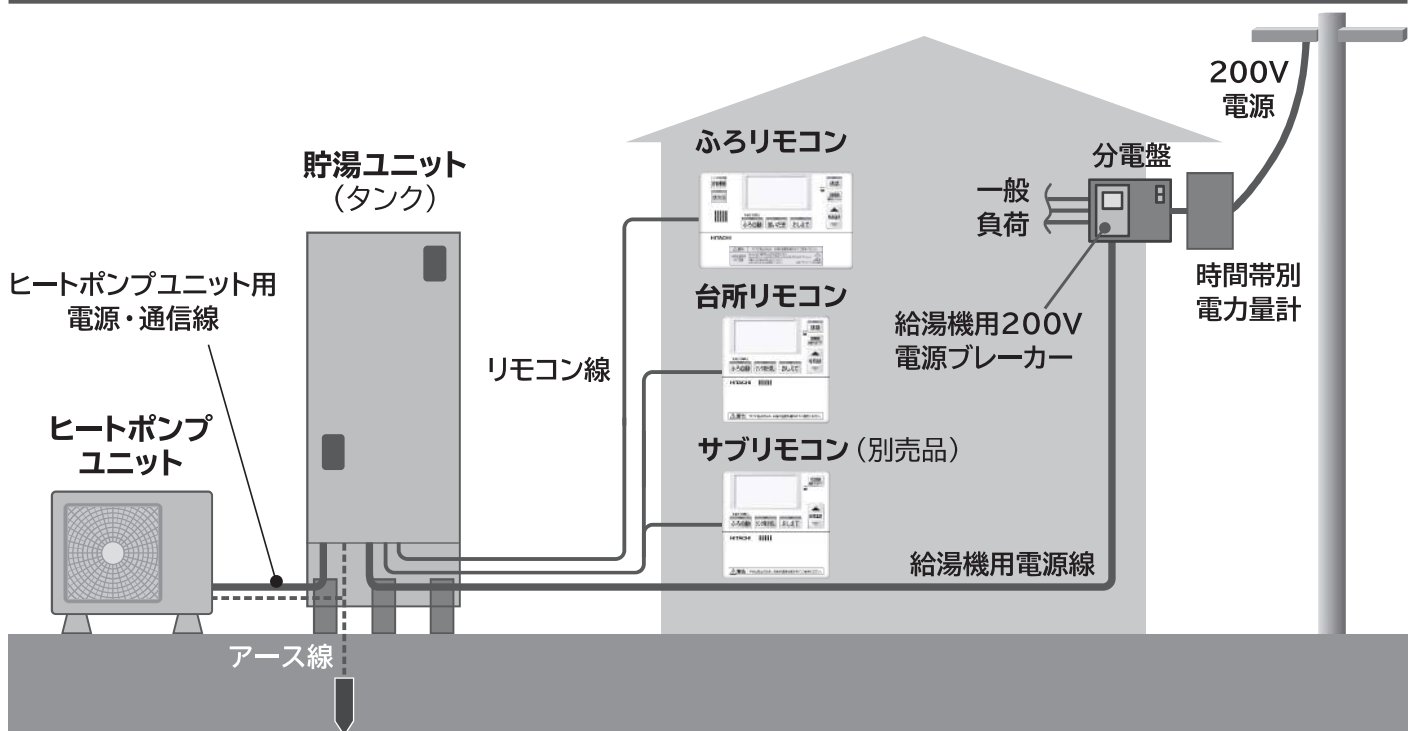
タンク排水管

沸き上げ配管
タンクの水をヒートポンプユニットでお湯に沸き上げてタンクに戻す配管です。

給湯配管
設定温度のお湯を、各所の混合水栓へ給湯する配管です。

ふろ配管
湯はり、追いだき、たし湯などをする配管です。

給水配管
水道配管です。

※タンク専用止水栓は、工事業者によって取り付けられますので、取り付け位置や形状はお客さまごとに異なります。
確認できない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

配線（例）

安全上のご注意

人身への危害、財産への損害を未然に防ぐためにお守りいただくことを、次のように区分して説明しています。
本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

危害や損害とその程度の区分

	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
	この表示の欄は、「重傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

●お守りいただく内容を絵表示で区分して説明しています。

絵表示の例

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。

据付けの確認

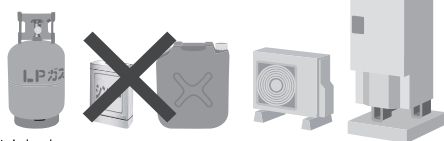
⚠警告

禁止

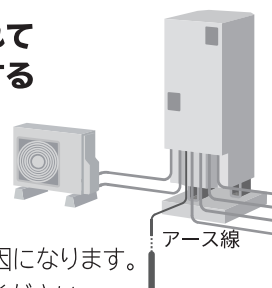
ヒートポンプユニットは屋内に設置しない

●万一冷媒（CO2）が漏れると、酸欠により死亡、または重傷事故（脳機能障害等）に至ることがあります。

禁止

ヒートポンプユニットや貯湯ユニットの近くに、ガス類や引火物を置かない

●発火の原因になります。

アース工事

アース工事がされていることを確認する

●故障や漏電のときに感電の原因になります。販売店または工事店にご確認ください。

確認

シャワー水栓は必ずサーモスタット付混合水栓を使用する

●サーモスタット混合水栓を使用しないと、やけどの原因になります。

⚠注意

禁止

ヒートポンプユニットの下に濡れて困るものを置かない

●水滴が滴下する場合があり、汚損や故障の原因になることがあります。

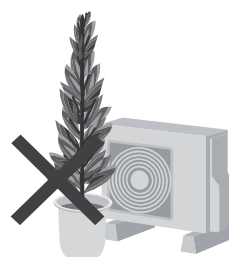
確認

ヒートポンプユニットの周囲にはものを置いたり、落ち葉などがたまらないようにする

●虫などが侵入し、発火、発煙または故障の原因になることがあります。

据付けの確認（つづき）

⚠注意

禁止

水質基準に適合した水を使用し、井戸水、地下水、温泉水は使用しない

●腐食による水漏れや配管詰まりによる機器の故障の原因になることがあります。

禁止

動植物に直接風をあてない

●動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

確認

各ユニットがアンカーボルトなどで固定されていることを確認する

貯湯ユニット・・・・・・・・・・・脚3か所
転倒防止金具1か所
（2階以上に設置する場合は天部も固定されているか確認する）
ヒートポンプユニット・・・脚4か所

●地震などにより転倒して、けがをすることがあります。

設置床面が防水処理・排水処理されていることを確認する

●水漏れが起きたときに、大きな損害につながる原因になります。

凍結防止対策がされていることを確認する ➔P.53

●正しく工事されていないと配管が破損して水漏れややけどの原因になることがあります。

ご不明の場合は、お買い上げの販売店または工事店にご確認ください。

貯湯ユニット（タンク）

転倒防止金具
（側面固定の場合もあり）

ヒートポンプユニット
アンカーボルト（4か所）

配管の凍結防止対策

貯湯ユニット
アンカーボルト（3か所）

ヒートポンプユニット

防水処理

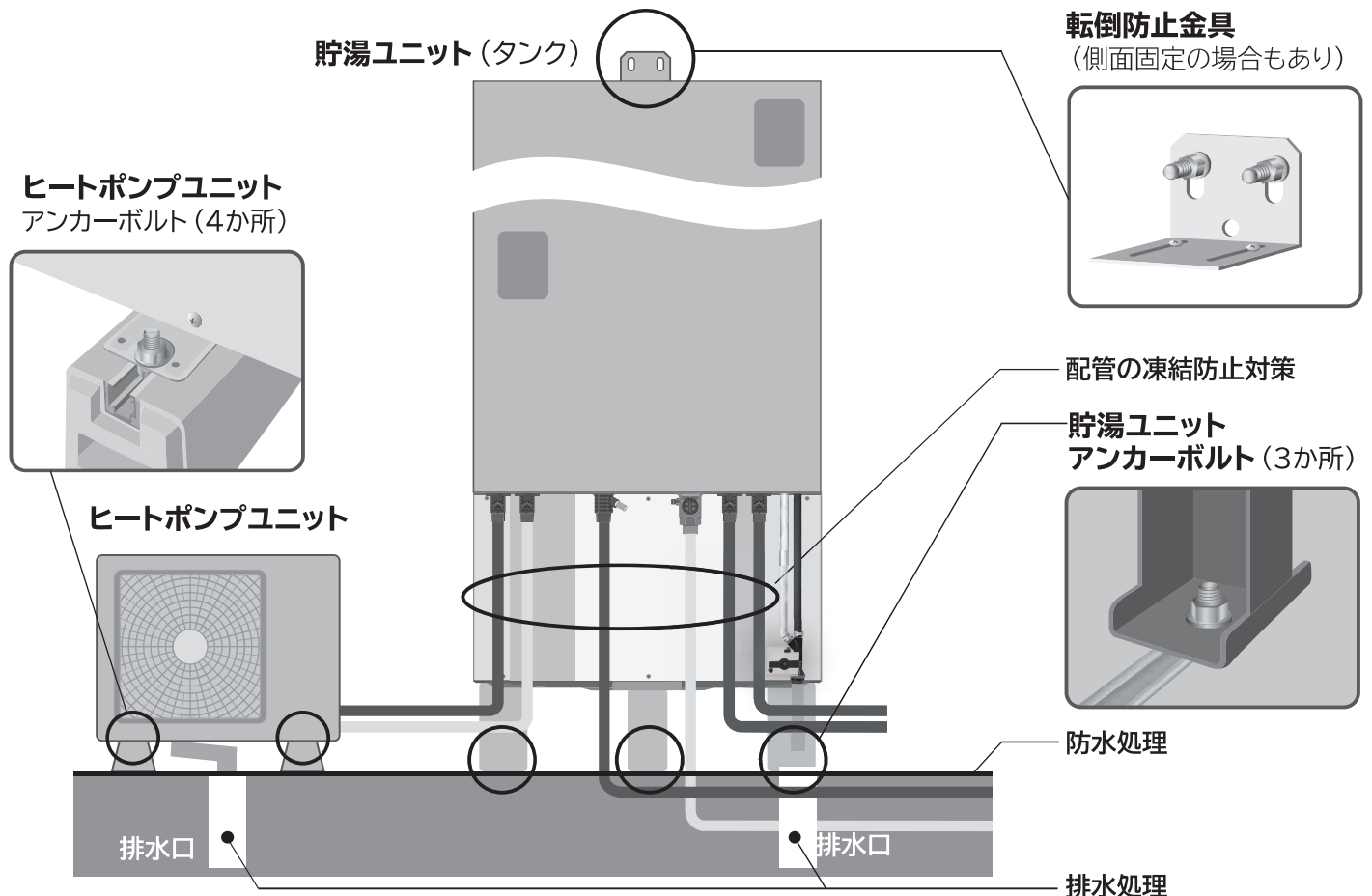
排水口

排水口

排水処理

安全上のご注意（つづき）

給湯機の使用

⚠警告

■給湯は

禁止

混合水栓のレバーやハンドル以外の部分に手を触れない

●やけどの原因になります。

お湯の使い始めは、しばらくお湯に触れない

●空気の混じった熱いお湯が飛び散り、やけどの原因になります。
特に朝の使い始めは、ご注意ください。

確認

お湯の温度を指先などで確認してから使用する

●シャワー使用時に、指先などで湯温を確かめないとやけどの原因になります。

確認

お湯を出し始める時は、必ず水を出しながらお湯を出す

➔P.22

●お湯だけ出すと、熱いお湯でやけどしたり、洗面器などが破損する原因になります。

お湯の使用後は必ずお湯側から閉める

●水側を先に閉めると、再使用時に熱いお湯が出て、やけどの原因になります。

➔P.22

給湯温度を変更するときは、ほかの場所で給湯していないことを確認してから行う

●やけどの原因になります。

停電中および復帰後にお湯を使うときは、湯温を確かめる

➔P.52

●温度調整ができずに熱いお湯が出て、やけどの原因になります。

■入浴、快泡浴は

禁止

「ふろ自動」「追いだき」「高温さし湯」「自動洗浄」時は、ふろ循環アダプターに体を近づけない

●熱いお湯が出て、やけどの原因になります。

運転中は浴そう内に潜らない

●ふろ循環アダプターに髪の毛が吸い込まれて、おぼれたり、けがの原因になります。
特に、子どもの入浴には注意してください。

ふろ循環アダプターの吸い込み口カバーがゆるんだり、外したまま運転しない。

●ふろ循環アダプターに髪の毛が吸い込まれて、おぼれたり、けがの原因になります。

禁止

運転中にふろ循環アダプターの吸い込み口をふさがない

●ふろ循環アダプター髪の毛が吸い込まれやすくなり、おぼれたり、けがの原因になります。

浴そうにお湯がないときは「追いだき」や「高温さし湯」をしない

●循環口から熱いお湯が出て、やけどの原因になります。

確認

浴そうのお湯の温度を指先などで確認してから入浴する

●入浴時に指先などで湯温を確かめないと、やけどの原因になります。

給湯機の使用（つづき）

⚠警告

■快泡浴は

禁止

次の方は使用しない

- ・医師から入浴を禁じられている方
- ・妊産婦
- ・体調の悪い方
- ・血圧の高い方
- ・心臓疾患のある方
- ・お酒を飲んでいる方
- ・睡眠薬を服用された方

●体調に異常をきたすおそれがあります。

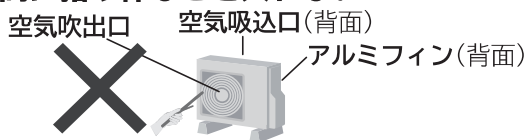
禁止

子どもや身体の不自由な方だけで入浴中の場合は運転させない。

●おぼれるなど思わぬ事故の原因になります。

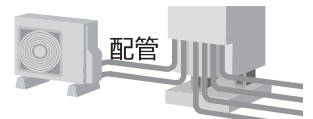
■ヒートポンプユニット、貯湯ユニット、配管などは

禁止

ヒートポンプユニットの空気吸込口（アルミフィン）や吹出口は、触ったり隙間に指や棒などを入れない

●内部でファンが回転していることがあるため、けがの原因になります。
●アルミフィンにさわると、けがの原因になることがあります。

禁止

ヒートポンプユニットの配管に手を触れない

●やけどの原因になります。

排水するタンクのお湯には手を触れない

●やけどの原因になります。

逃がし弁点検時は排水するタンクのお湯には手を触れない

●やけどの原因になります。

■漏電遮断器は

確認

月に 1 度は動作確認をする

➔P.55

●故障のまま使用すると、感電や火災の原因になります。

動作確認後は、操作カバーを閉じる

●開けたままにして、雨やごみが入ると漏電や火災の原因になることがあります。

お手入れや点検時は、漏電遮断器を「OFF」にする

●内部でファンが回転していることがあるため、けがの原因になります。

漏電遮断器は濡れた手で操作しない

●感電の原因になります。

■異常時は

異常(こげ臭いなど)時は、漏電遮断器のスイッチを「OFF」にし、販売店または工事店に連絡する

●異常のまま使用すると、火災･感電･やけどの原因になります。

■逃し弁は

確認

年に2・3度は点検をする

➔P.55

●異常のまま使用すると、タンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れの原因になることがあります。

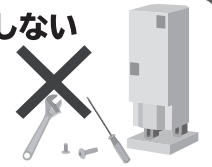
点検後は、操作カバーを閉じる

●開けたままにして、雨やごみが入ると漏電や火災の原因になることがあります。

■修理などは

禁止

分解・修理・改造・移設しない

●不備があると火災、感電、水漏れの原因となります。お買い上げの販売店または工事店に依頼してください。

貯湯ユニットの前パネルやヒートポンプユニットの電源カバーを開けない

●感電の原因になります。

■その他

確認

非常用生活用水使用時は、湯温を確かめて熱に強い容器を使用する ➔P.51

●熱いお湯（最高90℃）がでます。やけどにご注意ください。ガラス容器などは熱により割れることがあります。

安全上のご注意（つづき）

給湯機の使用（つづき）

⚠注意

■給湯は

禁止

朝一番や長期間使用していなかった時のお湯（水）は、飲用したり調理に使用しない

●朝一番やお出かけなどで長期間使用していなかった場合、お湯が出てくるまでの水（配管にたまっていた水）は、雑用水としてお使いください。

お湯に固形物や変色、濁り、異臭、異物がある場合には、飲用には使用せず、直ちにお買い上げの販売店または工事店に点検を依頼してください。

■快泡浴は

禁止

ふろ循環アダプターの吹き出し口や吸い込み口をタオルや手足などでふさがない。

●水漏れや機器の故障の原因になります。

禁止

水流を直接、目や耳にあてない。

●炎症をおこすおそれがあります。

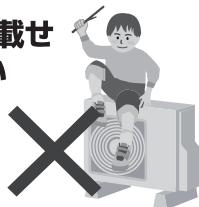
水流を身体の同じところに長時間あて続けない。

●体質によりかゆみがでることがあります。

■ヒートポンプユニット、貯湯ユニット、配管は

禁止

ユニットに乗ったり、物を載せたり、配管に力を加えない

●落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。

禁止

ヒートポンプユニットの据付台が、傷んだ状態のまま使用しない

●ヒートポンプユニットの落下や転倒につながり、けがの原因になることがあります。

確認

1か月以上使用しないときは、漏電遮断器のスイッチを「OFF」にして、貯湯ユニット、ヒートポンプユニット、配管のお湯（水）を抜く ➔P.48

●長期間使用しないと水質が変化し、飲用すると健康を害する原因になることがあります。

確認

冬季、漏電遮断器のスイッチを「OFF」にするときは、貯湯ユニット、ヒートポンプユニット、配管のお湯（水）を抜く ➔P.48

●満水のまま漏電遮断器を「OFF」にすると、配管が凍結し水漏れや故障の原因になることがあります。

■その他

禁止

高圧洗浄機などで水洗いしたり、花瓶などの水が入った容器を載せたりしない

●漏電による火災や感電の原因になることがあります。

禁止

タンク内の熱いお湯を直接排水しない

●やけどや排水管の破損の原因になることがあります。

使用上のお願いとお知らせ

時間帯別電灯契約または季節別時間帯別電灯契約の契約内容を確認する

●契約内容によって、電気料金が割安になる深夜時間帯が異なります。→P.57

ご不明の場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

深夜時間帯でのお湯の多量使用は控える

●深夜時間帯にお湯を多量に使うと、昼間時間帯でのお湯の沸き上げが増え、電気料金が割高になります。

リモコンの時刻表示が、現在時刻になっているかを月に 1 度は確認し、ずれているときは現在時刻にする →P.63

●現在時刻になっていないと、電気料金が割高になる場合があります。

蛇口やシャワーのお湯は、こまめに止める

洗っているときは止めましょう

●流しっぱなしは、タンクのお湯を多く使い、昼間時間帯でのお湯の沸き上げが増え、電気料金が割高になります。

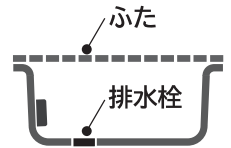
外気温が低いときは、浴そうのお湯を抜かない

●浴そうのお湯を使って、ふろ配管の凍結防止運転を自動的に行います。浴そうにお湯がないと、ふろ配管が凍結することがあります。→P.53

浴そうを洗う時の洗剤のご使用について

●強酸性の洗剤や塩素系の洗剤（カビ洗浄剤など）は機器の故障の原因になるので使用しないでください。

湯はりをするときは、排水栓をしっかり閉め、ふたをする →P.25

●排水栓の閉め忘れは、自動検知し湯はりを中止しますが、検知するまでのお湯が無駄になります。

倍速湯はりをするときは、浴そうの残り湯をすべて抜く →P.35

●残り湯があると、湯量が増える場合があります。

落雷により機器が誤動作するときは漏電遮断器のスイッチを「OFF」にする

●直ちにお買い上げの販売店または工事店に点検を依頼してください。

入浴剤のご使用について

●ご使用いただける入浴剤の例

・「バブ」「マイクロバブ」

（「バブ」、「マイクロバブ」は、花王（株）の登録商標です。）

・「バスクリン」「きき湯」

（「バスクリン」「きき湯」は、（株）バスクリンの登録商標です。）

・「バスロマン」

（「バスロマン」は、アース製薬（株）の登録商標です。）

●入浴剤をご使用する場合の注意事項

・入浴剤の使用説明書もよくご確認ください。

・「自動洗浄」を必ず「入」にしてご使用ください。→P.26

●次の入浴剤は機器の故障の原因となるので使用しないでください。

・推奨品と同じシリーズの入浴剤でもお湯に溶かしたときに、乳白色系に濁るタイプの入浴剤
（配管内の湯あかなどに付着した濁り成分が循環口のフィルター部分などに付着し、目詰まりを起こし、それが原因で誤動作を起こす場合があります。）

・推奨品以外の発泡するタイプや硫黄、酸、アルカリ、塩分を含んだものおよび、お湯の濁るタイプやとろみ系、また、固形物が溶けないタイプの入浴剤

ふろ循環アダプター吹き出し口の角度調整

●吹き出し口の角度は手で変更できます。

●角度の調整は運転停止中に行ってください。

●「ふろ自動」「追いだき」「高温さし湯」「自動洗浄」時は、吹き出し口を左または右斜め下に向けてください。熱いお湯が正面側に吹き出すのを軽減します。

●指を中に入れないでください。指が抜けなくなり、けがの原因になることがあります。

お知らせ

停電中は、「給湯」「ふろ」機能とも使用できません。 →P.52

●タンクにお湯があっても、水しか出ません。

湯はりや給湯中に、ポンプの運転音がします。

●タンクのお湯を出すためで、異常ではありません。

給湯中に給湯流量を変えたり、水道の圧力が変動すると、お湯の温度が変わることがあります。

湯はり中に給湯を使用すると、給湯のお湯の温度や流量が変わったり、湯はり時間が長くなることがあります。

リモコンの操作ボタンと表示画面

台所リモコン（サブリモコン）の操作ボタンのはたらき

ふろリモコンの操作ボタンのはたらき

浴そうのお湯の温度を上げる

・通常押し
浴そうに湯はりをする

・3秒以上長押し
半身浴用の湯はりをする

台所リモコンで「給湯温度」変更をできないようにする

浴そうに気泡を含んだ水流が発生します

スピーカー

約55℃のお湯を約25L浴そうへ入れる

タンクにお湯を沸き上げる

水を約15L、浴そうへ入れる

ふろ（湯はり）温度のお湯を約20L浴そうへ入れる

湯はり水位の設定画面を表示

ふろ（湯はり）温度の設定画面を表示

表示画面

運転や設定の内容を表示

設定の内容などをお知らせ ➔P.12

通話マイク

台所リモコンと通話

eco省エネ保温や節約サポート機能などのメニューを表示

蛇口やシャワーから出るお湯の温度を設定

メニュー画面を表示

1つ前の表示画面に戻る

メニューの選択や設定項目を決定する

メニューや設定項目を選択時間・時刻、ふろ温度・水位などを設定

浴室優先
快泡浴
半身浴（3秒押し）
ふろ自動
追いだき
おしえて
通話
マイク
eco
節約サポート
給湯温度
HITACHI
タンク沸き増し
高温さし湯（3秒押し）
ふろ温度
メニュー
さし水
たし湯
水位
決定
戻る

表示画面（台所リモコン（サブリモコン）・ふろリモコン共通）

■表示画面の内容（例）

●この表示画面は工場出荷時設定を基にした標準画面例です。表示内容は、設定や運転内容により変わります。

湯はり中 ➔P.27 湯はり運転中	保温あと200 ➔P.27 保温運転中	
倍速湯はり中 ➔P.35 倍速湯はり運転中	半身浴中 ➔P.37 半身浴湯はり運転中	
追いだき中 ➔P.29 追いだき運転中	たし湯中 ➔P.30 たし湯運転中	
さし水中 ➔P.31 さし水運転中	高温さし湯中 ➔P.32 高温さし湯運転中	
ふろ予約 ➔P.36 湯はり終了時刻予約中	凍結防止中 ➔P.53 凍結防止運転中	快泡あと10分 ➔P.33 快泡浴運転中

沸き上げ中 ➔P.59 自動沸き上げ運転中
沸き増し中 ➔P.46 タンク沸き増し運転中
使用休止中 使用休止予約 ➔P.47 沸き上げ運転予約中/休止中

お知らせ

●表示画面のバックライトは、約1分以上ボタン操作をしないと、節電のため自動的に消灯します。いずれかのボタンを押すと 再点灯します。バックライトだけを点灯させたいときは「戻る」ボタンを押してください。
●バックライトの点灯時間は変更することが出来ます。➔P.64
●表示画面の濃さ（コントラスト）は変更することが出来ます。➔P.64
●時刻表示の「:」は、バックライト点灯時は1秒間隔で点滅しますが、バックライト消灯時は点灯に変わります。

■表示画面の内容（「おしえて」ボタン操作時）

●「おしえて」ボタンを操作すると、現在の設定を表示、音声で読み上げます。（「ガイド・操作音設定」が「切」の場合は読み上げません。➔P.61）表示内容は、設定や運転内容により変わります。

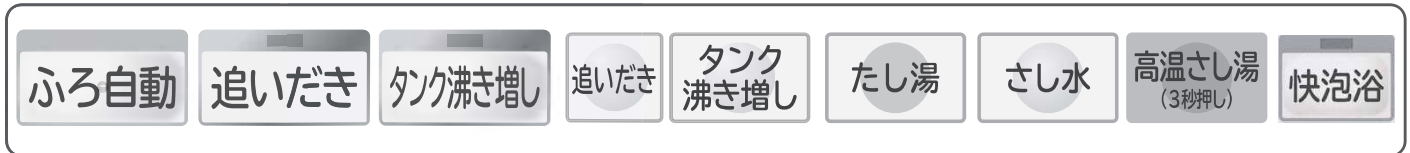
リモコンの操作ボタンと表示画面（つづき）

操作ボタンの種類と基本動作

●同じ名前のボタンは、どのリモコンでも同じ機能です。

■機能を運転するボタン

●このボタンは、1回押すと機能を運転し、運転中に押すと、運転を中止します。

ふろ自動　追いだき　タンク沸き増し　追いだき　タンク沸き増し　たし湯　さし水　高温さし湯（3秒押し）

■機能を設定するボタン

●このボタンは、1回押すと設定値が反転表示になり、設定値が変更できます。変更後約3秒間放置するか「決定」ボタンを押すと反転表示が戻り、設定が完了します。
※このボタンで設定した内容は記憶されます。

●このボタンは、約3秒以上長押しすると設定画面が表示され設定内容が変更できます。「決定」ボタンを押すと設定が完了します。
※このボタンで設定した内容は記憶されます。

（3秒押し）

●このボタンは、1回押すと機能が設定され、再度押すと設定が解除されます。
※このボタンで設定した内容は記憶されます。

●このボタンは、メニュー機能を設定するボタンです。「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を表示させ、設定したい機能を▲▼◀▶で選択し、設定します。「決定」ボタンを押すと設定が完了します。
※このボタンで設定した内容は記憶されます。
（記憶されない内容もあります）

■運転や設定内容をお知らせするボタン

●このボタンは、ボタンを押すと、設定内容や運転内容、操作方法などを音声でお知らせします。

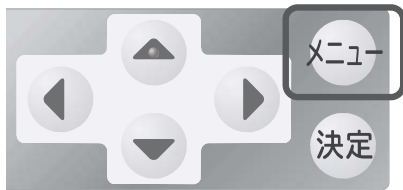
「おしえて」ボタンのランプが消灯しているときに押すと

●給湯機が運転していないときは、画面に各機能の設定内容をお知らせします。➔P.12

「おしえて」ボタンのランプが点灯しているときに押すと

●操作方法などをお知らせします。
●給湯機が次の運転しているときは、どの運転をしているのかをお知らせします。
追いだき、高温さし湯、自動洗浄

■給湯機の設定メニューを表示するボタン

●「メニュー」ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。メニュー画面には、下表のメニュー項目があります。
●メニューの表示は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでもできます。

メニュー項目		機能内容	参照ページ
ふろ	ふろ保温設定	湯はり完了後に自動で行う保温運転の運転時間の設定、保温運転を「温度と水位」または「温度のみ」に設定します。	➔P.58
	ふろ予約設定	湯はり完了時刻を予約します。	➔P.36
	倍速湯はり設定	倍速湯はり機能の設定をします。	➔P.35
	循環洗浄実行	ふろ配管洗浄の運転をします。	➔P.56
タンク	沸き上げ設定	沸き上げるお湯の量を設定します。	➔P.59
	湯切れ防止/節約設定	湯切れ防止：昼間時間帯にタンクのお湯が減ると、自動的に沸き上げるお湯の量を設定します。 節約設定　：湯切れ防止を運転させない時間帯を設定します。	➔P.60
	使用休止予約設定	給湯機の使用を休止する期間を予約します。	➔P.47
リモコン	音声案内設定	音声ガイドの内容の選択、音声ガイド、操作音量を設定します。	➔P.61
	通話機能設定	通話の音量や方法を設定します。	➔P.62
	バックライト設定	バックライトの点灯時間を設定します。	➔P.64
その他	電力契約設定	電力契約の契約番号を設定します。	➔P.57
	一括設定	給湯機を使用するにあたって必要な項目を一括設定します。	➔P.19
	出荷時設定	各設定を工場出荷時の初期状態に戻します。	➔P.65
	HPエア抜き	ヒートポンプユニットのエア抜き運転をします。 お買い上げの販売店または工事店に作業を依頼してください。	➔P.48

リモコンの操作ボタンと表示画面（つづき）

■給湯機の設定メニューを設定するボタン（設定の操作手順）

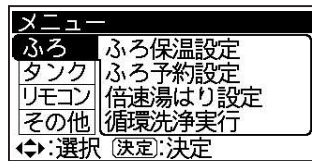
●設定は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでもできます。一方のリモコンで設定すると、もう一方のリモコンも同じ設定になります。

●ここでは、台所リモコンでの設定操作手順を、「リモコン」の「バックライト設定」を例に説明します。

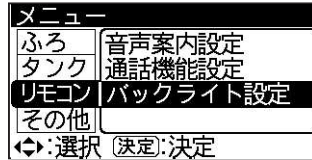
準備

1 台所リモコンの扉を開ける

2

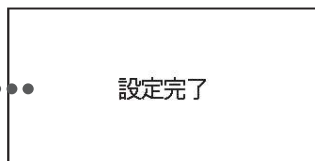
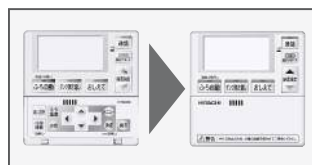
を押し、「メニュー」画面を表示させる

1

を押し、「リモコン」の「バックライト設定」を選択し

決定 を押す

バックライト設定画面になります

2

を押し、バックライトの「点灯時間」を選択し

決定 を押す

3

リモコンの扉を閉める

お知らせ

これ以降の操作手順説明では「リモコンの扉を閉める」の手順は省略します。

ご注意

扉を開閉するときは、リモコン本体と扉の隙間に指を挟まないようにご注意ください。
特に子どもには十分ご注意ください。

お知らせ

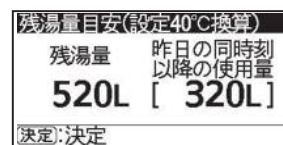
操作手順 2 の「決定」ボタンを押す前までは、

戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります

を押すと、標準画面に戻ります

タンク残湯量目盛表示の見かた

●残湯量目盛は、タンク内にある45℃以上のお湯の量の目安です。給湯や湯はりなどをするときは、残湯量目盛を確認してください。目盛が少ないときは「タンク沸き増し」ボタンを押して、目盛を増やしてからご使用ください。➔P.45

●実際に蛇口やシャワー、湯はりなどに使えるお湯の量は、タンクのお湯と水道水を混合するため、タンク内のお湯の量と異なります。
タンク内のお湯を、リモコンに設定されている給湯温度のお湯として何L使えるかが確認できますので、参考にしてください。➔P.41

●タンクのお湯が少なくなると、表示や音声でお知らせします。

■目盛表示と使えるお湯の量の目安

○:使用できます　✕:使用できません

目盛表示	タンク容量とタンク内のお湯の量の目安		使用できる・できないの目安	
	460L	370L	蛇口・シャワーからの給湯	湯はり・追いだき
	385L以上	295L以上	○	○
	225L以上	225L以上	○	○
	150L以上	150L以上	○	○
	75L以上	75L以上	○	✕
	75L未満	75L未満	○	✕
点滅	20L未満	20L未満	✕	✕
	0L	0L	✕	✕

お知らせ

●目盛は、蛇口やシャワー、湯はりなどでお湯を使わなくても、自然放熱などで少なくなる場合があります。
●目盛が全て表示されている場合でも、「湯切れ防止」を設定していると「沸き上げ」する場合があります。
●目盛は約45℃以上のお湯の量を表示しています。
目盛が表示していても給湯温度の設定が高い(たとえば48℃)場合は、その設定より低い温度(たとえば46℃)のお湯が出る場合があります。
●7時～23時で目盛が1目盛点灯から点滅に変わるとき、「タンクのお湯が少なくなりました」の音声でお知らせします。その後の使用量に応じて「タンク沸き増し」を行ってください。➔P.45
●深夜時間帯の沸き上げ運転中にお湯を使用した場合、満タンまで沸き上げができない場合がありますが、異常ではありません。

システム型式とタンク容量

システム型式	タンク容量
BHP-FV46PD	460L
BHP-FV37PD	370L

エコキュートの上手な使いかたポイント

■上手にお湯を沸き上げる

エコキュートは、日々のお湯の使用量を自動的に学習し、その学習結果をもとに、深夜時間帯にお湯を沸き上げ、タンクにためますが、「沸き上げ設定」で、多めに沸き上げるか、少なめに沸き上げるかを選ぶことができます。

より省エネで経済的にご使用いただくためのポイントを紹介します。

まずは、少なめに沸き上げる「おまかせ節約」に設定して使用します。 ➔P.59

●「おまかせ節約」は、昨日までの7日間の平均使用量を沸き上げる設定です。

●工場出荷時は「おまかせ節約」が設定されています。 おしえて を押し、リモコンの表示を確認してください。

ときどき使用湯量目安、残湯量目安、使用実績を確認します。 ➔P.41

●いつもに比べてお湯を使い過ぎていないか、いつものペースでお湯を使うとタンクのお湯が不足しないかを調べます。

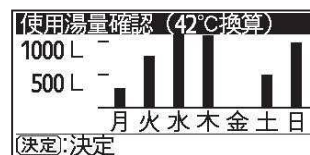
●「使用湯量目安」は、本日これまで使ったお湯の量と、昨日と昨日までの6日間の平均使用湯量の目安で、同時刻と1日分を表示します。
使用湯量は、リモコンの給湯温度設定値で換算しています。

使用湯量目安(設定40℃換算)

	15:23	1日分
本日	290L	–
昨日	480L	800L
週平均	500L	850L

決定:決定

●「残湯量目安」は、本日これから使えるお湯の量の目安です。現在の残湯量と昨日の同時刻以降に使ったお湯の量を表示します。
残湯量は、リモコンの給湯温度設定値で換算しています。

●「使用実績」は、昨日までの7日間の日々のお湯の使用量を表示します。
給湯温度42℃のお湯として換算しています。

▶ タンクのお湯が足りそうなときは、「おまかせ節約」のまま使用します

●お湯がたくさん余りそうなときは、「湯切れ防止設定」を「切」にします。 ➔P.60

▶ タンクのお湯が、足りなくなりそうなときは、「タンク沸き増し」ボタンを押してお湯を沸き上げます。 ➔P.45

1時間で沸き上げるお湯(約40℃)の量の目安

約120L(冬季)~約240L(夏季)

台所リモコン　タンク沸き増し
ふろリモコン　タンク沸き増し

▶ タンクのお湯が、頻繁に足りなくなるときは、「おすすめ設定」を確認して、設定を変更します。 ➔P.42

●「おすすめ設定」は、「沸き上げ」と「湯切れ防止」のおすすめ設定をお知らせします。現在の設定(黒地に白文字)におすすめマークが付いていないときは、おすすめマークの付いた設定に変更します。

●お湯の使いかたが変わったときは、再度「おすすめ設定」を確認します。

おすすめ設定
沸き上げ設定
おすすめ
おまかせ節約　おまかせ多め
⇕:選択 決定:決定

■上手に機能を使い、上手にお湯を使う

エコキュートにはいろいろな機能があります。上手に使い、上手に節約しましょう。

「沸き上げ設定」を「おまかせ節約」に設定すると、無駄がないよう少なめに沸き上げます。 →P.59

お湯の量が十分で沸き上げが必要ない場合は、「湯切れ防止設定」を「切」にしましょう。

●無駄な沸き上げを行わず節約につながります。 →P.60

最後にお湯を使う時間が決まっている場合、「湯切れ防止」の「節約設定」を有効にすることをおすすめします。

●設定した時刻以降の「湯切れ防止」による沸き上げを休止し、深夜時間帯に沸き上げることで電気料金が節約できます。 →P.60

旅行などで不在となるときは、「使用休止予約」で沸き上げの休止を設定しましょう。

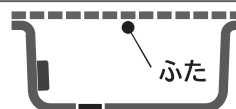
●蛇口やシャワーなどでお湯を1日使わなくても、タンクのお湯の温度が自然放熱などの影響で下がるため、自動的に沸き上げを行いますが、「使用休止」中は沸き上げを行わず、節約につながります。 →P.47

蛇口やシャワーは出しっぱなしにせず、こまめに止めましょう.

入浴時刻に合わせて湯はりをしましょう。できるだけ続けて入浴して、保温時間を短くしましょう。

●「追いだき」などの回数が少なくなり、タンクのお湯の節約につながります。

入浴していないときは、浴そうのふたはきちんと閉めましょう。

●わずかな隙間からでも熱が漏れ無駄につながります。

→P.25

浴そうのお湯を温めるときは、「高温さし湯」を使いましょう。

●「ふろ自動」や「追いだき」よりもタンクのお湯を節約できます。

ふろリモコン

→P.32

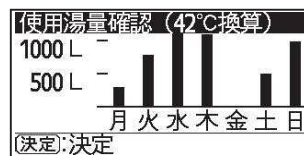
浴そうのお湯は、昨日の残り湯を沸かし直すより、新たに湯はりしましょう。

●タンク内の温度低下が大きく、湯切れしやすくなります。

「使用湯量目安」や「残湯量目安」、「使用実績」を確認し、節約の目安にしましょう。

使用湯量目安(設定40℃換算)

	15:23	1日分
本日	290L	–
昨日	480L	800L
週平均	500L	850L

決定:決定

→P.41

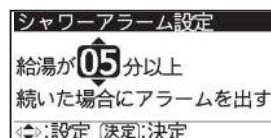
普段と異なるお湯の使い方をする(お湯を多く使用する)場合

<例> (1) 2人で使用していたが、盆、正月に子どもが帰省してお湯の使用量が増える
(2) 前日よりも急にお湯の使用量が増える

●タンク残湯目盛を確認し、お湯が不足する可能性がある場合、「タンク沸き増し」をします。 →P.16 →P.45

●沸き上げ設定を「おまかせ多め」に変更する、または「湯切れ防止」設定を「全量」へ変更します。 →P.59 →P.60

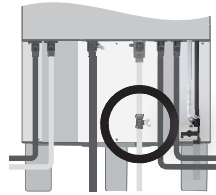
シャワーアラームを設定してシャワーの使用時間と使用量を確認し、お湯を使い過ぎないようにしましょう。

シャワーアラーム設定
給湯が 05 分以上
続いた場合にアラームを出す
⇕:設定 決定:決定

→P.43

はじめてご使用のときの確認と設定

給湯機とリモコンの確認

1 給湯機が使える状態になっているかを確認する

1. 貯湯ユニットのタンク専用止水栓が「開」になっているか？ ➔P.4
2. 貯湯ユニットのタンクが満水になっているか？ ➔P.55
3. 200V電源ブレーカーのスイッチが「ON」になっているか？ ➔P.4
4. 貯湯ユニットの漏電遮断器のスイッチが「ON」になっているか？ ➔P.3

タンク専用止水栓は、工事により取付位置が違うため、ご不明の場合は、お買い上げの販売店、または工事店にお問い合わせください。

逃がし弁のレバーを上げて、タンク排水管から水が連続で出たら満水です。

2 リモコンが使える状態になっているかを確認する

1. 表示画面に表示が出ているか？
2. 表示画面にバックライトが点灯するか？

を押すと点灯します

3. 表示画面が見にくくないか？

見にくい場合は、コントラストレベルを調整します。➔P.64

14:00 eco 浴室優先
ふろ 40℃ 給湯 40℃ タンク

表示が出ていない、バックライトが点灯しない場合は、お買い上げの販売店または、工事店にお問い合わせください。

バックライトは、約1分間ボタンを押さないと、自動的に消灯します。

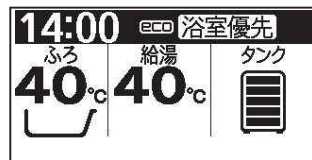
3 リモコンの表示内容を確認する

1. 時刻表示が現在時刻になっているか？

現在時刻になっていないときは、現在時刻にします。➔P.63

2. 残湯量目盛が表示されているか？

表示が右のような状態の場合はお湯が使えません。➔P.16

台所リモコンの「タンク沸き増し」ボタンを押して沸き上げを行い、目盛を増やします。➔P.43

時刻表示が現在時刻とずれていると、電気料金が割高になる場合があります。

「音声ガイド」機能

リモコンには「音声ガイド」機能があり、設定内容などを音声でお知らせします。

ガイド内容には「しんせつ」「標準」「切」のモードがあります。
本取扱説明書は、工場出荷時設定の「しんせつ」モードで説明しています。

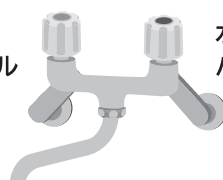
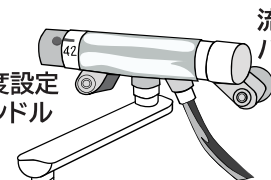
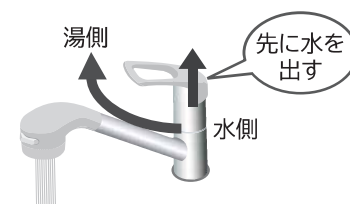
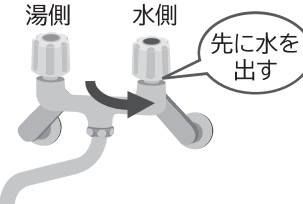
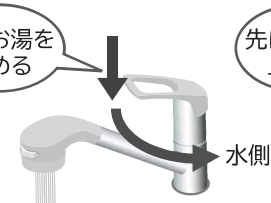
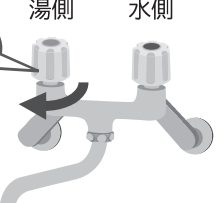
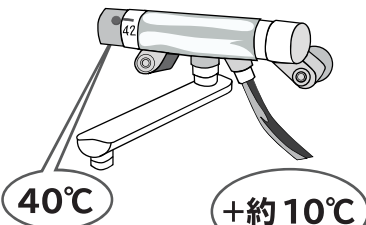
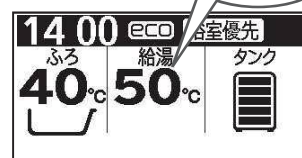
給湯機・リモコンに必要な項目の一括設定

- ●給湯機を使用するためには、右記の項目の設定が必要です。
- ●ここでは右記項目を連続で設定できる「一括設定」の操作手順を説明します。
  各項目の設定内容の詳細は、各項目詳細説明ページをご覧ください。
- ●給湯温度やふろ温度、ふろ水位の設定は、給湯機をお使いになりながら設定してください。
- ●設定は台所リモコン（サブリモコン）ふろリモコンのどちらでもできます。一方のリモコンを設定すると、もう一方のリモコンも同じ設定状態になります。

湯はり完了音設定	湯切れ防止設定
自動洗浄設定	節約設定
循環洗浄時期表示設定	ふろ保温時間設定
快泡浴時間設定	音声ガイド設定
快泡浴設定	ガイド・操作音量設定
追いだき設定	日付設定
電力契約設定	時刻設定
沸き上げ設定	

準備 リモコンの扉を開け、 ボタンを押す

次ページ 1 へ続く

1
を押し、「その他」の
「一括設定」を選択し
決定
を押す
湯はり完了音設定画面になります
メニュー
ふろ
タンク
リモコン
その他
電力契約設定
一括設定
出荷時設定
HPエア抜き
:選択 決定:決定
2
を押し、「湯はり完了音」
を選択し
決定
を押す
自動洗浄設定画面になります
湯はり完了音設定
メロディ1
メロディ2
メロディ3
チャイム
:選択 おしえて:再生 決定:決定
[おしえて]ボタンを押すと
選択している完了音を再生
します。
3
を押し、「自動洗浄」の「切」
「入」を選択し
➔P.26
決定
を押す
循環洗浄時期表示設定画面になります
自動洗浄設定
切
入
:選択 決定:決定
4
を押し、「循環洗浄時期表示
設定」の「切」「入」を選択し
➔P.56
決定
を押す
快泡浴時間設定画面になります
循環洗浄時期表示設定
切
入
:選択 決定:決定
5
を押し、「快泡浴時間」を
選択し
決定
を押す
快泡浴設定画面になります
快泡浴時間設定
5分
10分
15分
20分
30分
切
:選択 決定:決定
「切」を選択すると快泡浴
運転を行いません。
6
を押し、「快泡浴中の保温運転」
の「切」「入」を選択し
➔P.34
決定
を押す
追いだき設定画面になります
快泡浴設定
快泡浴中の保温運転
切
入
:選択 決定:決定
「高速追いだき」は「追いだ
き」に比べ、循環する流量を
増やして追いだきする時間
を短縮します。
7
を押し、「追いだき設定」を
選択し
➔P.29
決定
を押す
電力契約設定画面になります
追いだき設定
追いだき
高速追いだき
:選択 決定:決定
電力会社との契約内容に
合った「契約番号(日立固
有の番号)」を設定します。
違った番号を設定すると、
電気料金が割高になる場
合があります。
8
を押し、電力の「契約番号」を
設定し
➔P.57
決定
を押す
沸き上げ設定画面になります
電力契約設定
契約番号:
04
:設定 決定:決定
タンクに沸き上げるお湯の
設定です。
使いはじめは、
深夜時間帯の「沸き上げ
量」は「おまかせ節約」に
設定
昼間時間帯の「沸き上げ
量」は「少量」に設定
しばらく使い、タンクのお
湯の過不足に応じて、設
定を見直します。
9
を押し、深夜時間帯の「沸き
上げ量」を設定し
➔P.59
決定
を押す
湯切れ防止設定画面になります
沸き上げ設定
おまかせ節約
おまかせ多め
:選択 決定:決定
次ページ 10 へ続く

はじめてご使用のときの確認と設定（つづき）

10

◀ ▶ を押し、昼間時間帯の「湯切れ防止」の「沸き上げ量」を選択し ➔P.60

決定 を押す　節約設定画面になります
「切」を選択した場合は、ふろ保温時間設定画面になります

湯切れ防止/節約設定
湯切れ防止設定
切　少量　全量
昼間にも沸き上げます
◀▶:選択 決定:決定

タンクに沸き上げるお湯の設定です。
使いはじめは、
深夜時間帯の「沸き上げ量」は「おまかせ節約」に設定
昼間時間帯の「沸き上げ量」は「少量」に設定
しばらく使い、タンクのお湯の過不足に応じて、設定を見直します。

11

◀ ▶ を押し、「節約設定」を選択し ➔P.60

決定 を押す
- 「しない」「おまかせ」を選択した場合は、ふろ保温時間設定画面になります。
- 「手動設定」を選択した場合は、時刻設定入力画面になります。

湯切れ防止/節約設定
節約設定
しない　手動設定　おまかせ
◀▶:選択 決定:決定

お湯を最後に使用する時間が決まっている場合は、節約のため「手動設定」または「おまかせ」を設定します。決まっていない場合は「しない」を設定してください。

12

▲▼ を押し、「時刻」を設定し ➔P.60

決定 を押す
ふろ保温時間の設定画面になります。

湯切れ防止/節約設定
22:00 から7:00まで
湯切れ防止を休止する
▲▼:設定 決定:決定

設定した時刻から湯切れ防止運転を休止します。お湯を最後に使用する時刻を設定します。

13

▲▼ を押し、保温運転の「時間」を設定し ➔P.58

決定 を押す
音声ガイドの選択画面になります

ふろ保温時間設定
0.0 時間
▲▼:設定 決定:決定

湯はり後の「保温」の運転時間を設定します。
入浴終了に合った時間を設定して省エネしましょう。
「保温」運転しない場合は、「0.0」時間に設定します。

14

◀ ▶ を押し、「音声ガイド」のモードを選択し ➔P.61

決定 を押す
ガイド・ブザー音量の設定画面になります

音声ガイド設定
しんせつ　標準　切
◀▶:選択 決定:決定

「音声ガイド」のモードを設定します。
はじめてお使いのときは、給湯機の動作状態やリモコンの操作方法などをお知らせする「しんせつ」モードが便利です。

15

▲▼ を押し、ガイド・操作音設定の「音量」を設定し ➔P.61

決定 を押す
日付設定の設定画面になります

ガイド・操作音量設定
▲▼:設定 決定:決定

（切）（小）（標準）（大）
設定に対応した音量でお知らせします。

16

◀ ▶ を押し、「年」「月」「日」を選択しながら ➔P.63

▲▼ を押し、現在年月日を設定し

決定 を押す
時刻設定画面になります

日付/時刻設定
日付設定
2014年 10月 10日
◀▶:選択 ▲▼:設定 決定:決定

17

◀ ▶ を押し、「時」「分」を選択しながら ➔P.63

▲▼ を押し、現在時刻を設定し

決定 を押す ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●▶
自動で標準画面に戻ります

日付/時刻設定
時刻設定
10:00
◀▶:選択 ▲▼:設定 決定:決定

設定完了

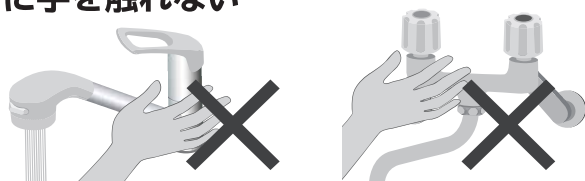
混合水栓（蛇口）の種類と正しい使いかた

●ご家庭の各給湯場所の混合水栓(蛇口)には下表のような種類があります。それぞれの特徴をよく理解して、正しく、安全にお使いください。

種類	シングルレバー	ツーハンドル	サーモスタット付
外観	レバー	湯側ハンドル　水側ハンドル	流量ハンドル　温度設定ハンドル
操作のしかた	レバーを上下させて流量調節を、レバーを左右に操作して温度を調節する。	湯側、水側それぞれのハンドルを回して、温度、流量の調節する。	温度設定ハンドルを回し、温度を設定、流量ハンドルを回して流量を調節する。
使用場所	シャワーのない台所流しや洗面台の混合水栓に向いている。		浴室のシャワー付混合水栓は、この水栓がおすすめです。
正しい使いかた	■給湯するときは 先に水を出してから、ゆっくりとお湯を出し、適温にする。 湯側　先に水を出す　水側 湯側　水側　先に水を出す 先にお湯を出すと、ほかの場所で設定温度を変更している場合もあり、高温のお湯が出たり、飛び散ることがあります。 ■給湯を止めるときは 先にお湯を止めてから、水側にする。 先にお湯を止める　水側 先にお湯を止めてから、水を止める。 湯側　水側　先にお湯を止める		混合水栓設定の温度のお湯を出す場合は、リモコンの設定温度を約10℃高くする。 42　40℃　+約10℃ 14 00 eco 浴室優先　ふろ 40℃　給湯 50℃　タンク ※サーモスタット付混合水栓は、給湯機からのお湯に水を混ぜて設定温度のお湯にする構造です。そのため混合水栓と給湯機の設定温度が同じ場合は混合水栓からのお湯の温度は低くなります。

⚠警告

禁止

給湯時は、レバーやハンドル以外の部分に手を触れない

高温のお湯の使用時や使用直後は、熱くなっており、やけどするおそれがあります。

■適度な流量で使う

●流量が少ないと、温度が不安定になったり、水が出たりします。
●流量が多かったり、2ヶ所で同時に使うと、温度が低くなることがあります。その場合は、混合水栓を少し閉めてください。

■給湯中の次のような操作は、操作後に設定温度のお湯になるまでにしばらく時間がかかることがあります。

設定温度の変更 ／ 流量の変更 ／ 給湯を止めたあとすぐの再給湯

「給湯」を使う

台所や洗面所などの蛇口からお湯を使う

1 給湯温度を確認する
（この表示は40℃が設定されています）

●給湯温度を変えるときは

浴室優先 が表示されてるときは
・ふろリモコンだけで給湯温度が変えられます ➔P.11

浴室優先 が表示されていないときは
・どのリモコンでも給湯温度が変えられます

を押す

給湯温度の設定範囲
低温（水温）、35℃～48℃(1℃刻み)、50℃、55℃、60℃

2 混合水栓（蛇口）を開く
先に水を出し、ゆっくりとお湯を出す ➔P.22
指先などで温度を確かめてから使う

浴室でシャワーを使う

1 浴室優先 が表示されていることを確認する
表示されていないときは、「浴室優先」を設定する ➔P.24

2 給湯温度を確認する
（この表示は40℃が設定されています）

●給湯温度を変えるときは

ふろリモコンの 給湯温度 を押す

給湯温度の設定範囲
低温（水温）、35℃～48℃(1℃刻み)、50℃、55℃、60℃

3 シャワーを出す
先に水を出し、ゆっくりとお湯を出す ➔P.22
指先などで温度を確かめてから使う

お知らせ
給湯中は表示画面に給湯中のマークが表示します。

ご注意
「浴室優先」が表示されていない場合の給湯温度の変更は、浴室でシャワーを使っていないことを確認してから行ってください。

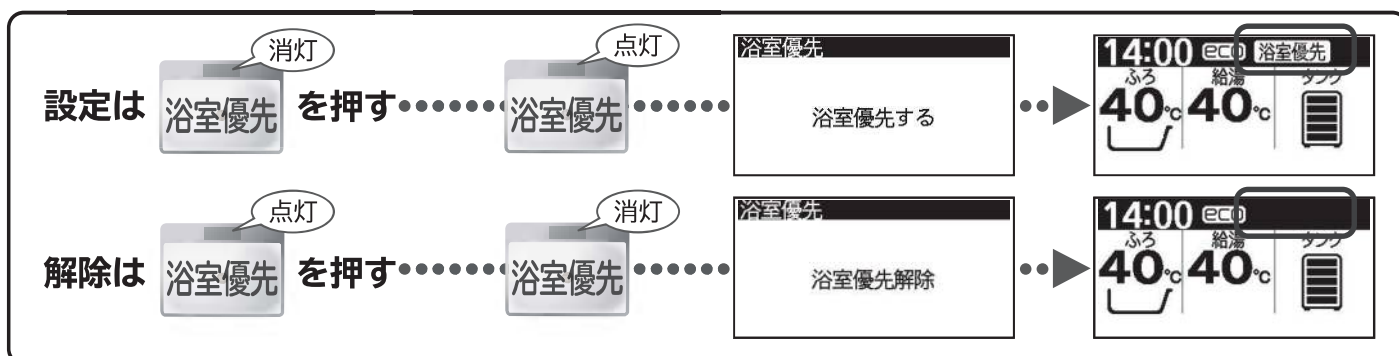
給湯温度の設定が50℃・55℃・60℃の場合
やけどに注意していただくために下のような音声と表示でお知らせします。

ご注意
シャワー使用時は、安全のため「浴室優先」を設定してください。シャワー使用中に台所リモコンやサブリモコンで給湯温度の変更されることを防ぎます。

お知らせ
シャワーアラームを設定しておくとシャワーの使用時間とお湯の使用量が確認できます。
➔P.43

「浴室優先」と「チャイルドロック」の使いかた

■浴室優先

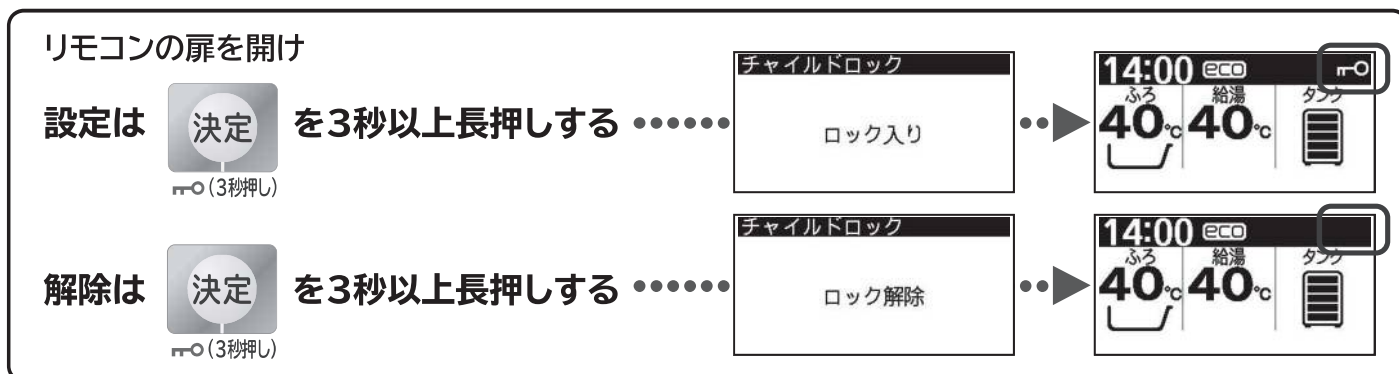
●「浴室優先」は、浴室でシャワー使用中にシャワーの温度が変更されるのを防ぐため、ふろリモコン以外のリモコンでは給湯温度やふろ温度の変更をできないようにするための機能です。（工場出荷時は「浴室優先」が設定されています）
●浴室でシャワーを使うときは安全のために「浴室優先」を設定してください。台所リモコン（サブリモコン）で給湯温度を変更する場合は「浴室優先」を解除してください。
●設定・解除はふろリモコンで行います。

お知らせ

●「浴室優先」が設定されているときに台所リモコン（サブリモコン）の「給湯温度」ボタンを押すと、音声と表示で、「浴室優先中」をお知らせします。
●「浴室優先」を設定や解除しても給湯温度やふろ温度は変わりません。

浴室優先中

音声 浴室優先が設定されています

■チャイルドロック

●「チャイルドロック」は、入浴している人（特に子ども）が設定温度などを変更することを防ぐため、ふろリモコンの操作をできないようにするための機能です。（工場出荷時は「チャイルドロック」は設定されていません）
●設定・解除は台所リモコン（サブリモコン）で行います。

ご注意

「チャイルドロック」を設定すると、「浴室優先」は解除されます。台所リモコン（サブリモコン）で「給湯温度」を変更するときは、浴室でシャワーを使っていないことを確認してください。

お知らせ

「チャイルドロック」が設定されているときに、ふろリモコンの操作ボタンを押すと、音声と表示で「チャイルドロック中」をお知らせします。

「ふろ」を使う

湯はりから、ふろ自動運転後までの操作・運転流れ

	操作・運転の流れ	参照ページ
準備	**次の項目の確認・設定をします。** ●ふろ温度（標準画面） ●ふろ水位（おしえて画面） ●ふろ配管の「自動洗浄」（おしえて画面）	→P.26
	●「保温」運転の内容	→P.58
	浴そうの「排水栓」と「ふた」をします。 ふた ふろ循環アダプター 排水栓	
「ふろ自動」運転 「湯はり」運転	ふろ自動 **を押す** ●「自動湯はり」運転がはじまります。 「自動湯はり」運転中の表示 **警告** **湯はり中は入浴しない** 禁止 高温のお湯が出て、やけどするおそれがあります。 ●設定された温度と水位に湯はりされると、「自動湯はり」運転は自動的に終了します。 **「自動湯はり」運転が終了すると、入浴ができます**	→P.27 →P.28
「保温」運転	**「保温」運転が設定されていると、自動的に「保温」運転に切り替わります。** 「保温」運転の残り時間表示 「保温」運転中の表示 ●「保温」運転中は、設定された温度と水位を保つ運転を自動的に行います。 ●保温運転時間が終了すると、「保温」運転（「ふろ自動」運転）は自動的に終了します。 ●「保温」運転中に入浴が終了したときは、「保温」運転（「ふろ自動」運転）を中止してください。タンクのお湯の節約につながります。	
「ふろ自動」運転終了後	**ふろ配管の「自動洗浄」運転** ●「自動洗浄」が設定されていると、浴そうのお湯を排水したときに、ふろ循環アダプターの上付近までお湯が減ると約2分後に約8Lの水（お湯）をふろ配管に流し、自動洗浄します。洗浄中は、ふろ循環アダプターから水（お湯）がでます。 「自動洗浄」運転中の表示	→P.26
	ふろ配管の「凍結防止」運転 ●冬季は、浴そうのお湯を残しておきます。外気温が下がると、浴そうのお湯でふろ配管の「凍結防止」運転を自動的に行います。 「凍結防止」運転中の表示	→P.53

「ふろ温度」「水位」「自動洗浄」の確認・設定のしかた

■「ふろ温度」「水位」

●浴そうに湯はりするお湯の温度と水位の設定です。
●設定は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでもできます。一方のリモコンを設定すると、もう一方のリモコンも同じ設定状態になります。

ふろ温度を確認する

（工場出荷時は40℃が設定されています）

●ふろ温度を変えるときは
リモコンのふたを開け

を押し
を押す

ふろ温度の設定範囲 ⇒ 低温（水温）、
35℃～48℃(1℃刻み)

水位を確認する

標準画面で おしえて を押す。
（工場出荷時は水位5が設定されています）

●水位を変えるときは
ふろリモコンのふたを開け

水位 を押し
を押す

水位の設定範囲 ⇒ レベル1～レベル12の
12段階(1段階約3cm)
（数値が大きくなるほど水位が高くなります。）

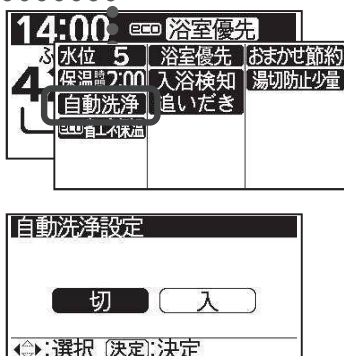
■「自動洗浄」

●「ふろ自動」運転終了後、浴そうのお湯を排水したときに、ふろ配管の洗浄運転を自動的に行うようにする設定です。
●「自動洗浄」が設定されていると、浴そうのお湯を排水したときに、ふろ循環アダプターの上付近までお湯が減ると約2分後に約8Lの水(お湯)をふろ配管に流し、自動洗浄します。洗浄中は、ふろ循環アダプターから水(お湯)がでます。

自動洗浄を確認する

標準画面で おしえて を押す。
（工場出荷時は「自動洗浄」を行うように設定されています）

●解除するときは

「一括設定」の「自動洗浄設定」で「切」を設定します。 →P.20

お知らせ
自動洗浄は、「ふろ自動」ボタンを押して湯はりした場合に運転します。
混合水栓（蛇口）から直接湯はりした場合は運転しません。

「ふろ」を使う（つづき）

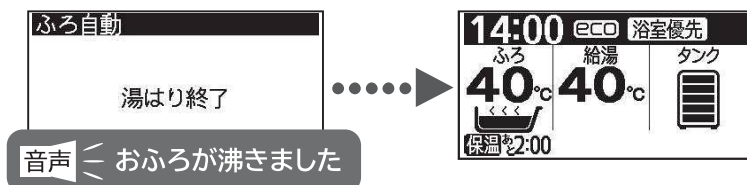
「ふろ自動（湯はりと保温）」運転の操作と運転内容

●「ふろ自動」運転による、「湯はり」・「保温」運転の操作と表示の内容です。
●湯はりには「標準湯はり」と「倍速湯はり」の2種類の湯はり方法があります。（「倍速湯はり」の方法 ➔P.35）
●運転は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでもできます。一方のリモコンを運転すると、もう一方のリモコンも同じ運転状態になります。

浴そうの準備をします ➔P.28

ふろ自動 を押します

●ボタンのランプが点灯、音声と表示でお知らせし、「自動湯はり」をはじめます。

●湯はり中は表示画面に 湯はり中 が表示されます。
・湯はり時間を短縮できる「倍速湯はり」機能があります。➔P.35
●設定された温度と水位に湯はりされると、自動的に「湯はり」運転を終了します。

「湯はり」運転が終了すると、入浴ができます

■「保温」運転

●工場出荷時は、温度と水位を保つ、2時間「保温」運転が設定されています。
●「保温」運転が設定されていると、自動的に「保温」運転に切り替わり、表示画面に（保温マーク）と運転の残り時間が表示されます。
（保温運転内容の設定は ➔P.58）

●「保温」運転中は、設定された温度と水位を保つために、「追いだき」運転と、「たし湯」運転を自動的に行います。
●保温運転時間が終了すると、「保温」運転（「ふろ自動」運転）は自動的に終了します。
●「保温」運転（「ふろ自動」運転）終了後、表示画面の（保温マーク）は（浴そうマーク）に変わります。

ふろ自動
運転終了

●保温運転時間が残っていても、入浴が終了したときは、「保温」運転を中止してください。タンクのお湯の節約になります。

運転を中止するときは ふろ自動 を押す

排水栓の閉じ忘れがあると、湯はり運転を自動的に中止し、下記の点検表示でお知らせします。➔P.67

ふろ栓確認
メニューボタンを３秒以上
長押しすると点検表示を
解除できます。
決定:決定

お知らせ

湯はり中に「給湯」を使うと、湯はり時間が長くなったり、一時的に湯はりを中断することがあります。

「自動湯はり」は、湯はりしたお湯の温度や水位を確認するため、一時的に湯はりを中断することがあります。

タンクのお湯の温度が低い場合、残湯量目盛があっても、設定温度・水位に湯はりされない場合があります。そのときは音声でお知らせしますので、「タンク沸き増し」をしてください。➔P.45

夏季など水温が高い場合、低い温度・水位設定で湯はりすると、設定水位より高い水位に湯はりされる場合があります。

お願い

「保温」運転中は、浴そうのお湯を多量にくみ出したり、抜いたりしないでください。浴そうのお湯がふろ循環アダプター付近まで下がると下記が表示され、運転を中止することがあります。➔P.67

ふろ栓確認
メニューボタンを３秒以上
長押しすると点検表示を
解除できます。
決定:決定

お知らせ

保温運転終了後に、浴そうのお湯をくみ出したりして、お湯がふろ循環アダプター付近まで下がると、自動洗浄運転する場合があります。

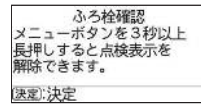
■浴そうの準備のしかた

●浴そうに残り湯があっても、「自動湯はり」は、設定温度・水位に湯はりできますが、次のようにしてください。

冬季の昨日の残り湯など、温度の低い残り湯は、完全に抜いてから湯はりしてください。タンクのお湯が節約できます。
※タンクのお湯をたくさん使う（湯温が下がる）ので湯切れの原因になることがあります。
※タンク内の温度が低くなり、途中で湯はりが停止することがあります。
※残湯量目盛が十分あっても、タンクのお湯の沸き上げ運転を開始する場合があります。

残り湯の水位が、ふろ循環アダプター上端付近の場合は、アダプター下端付近まで残り湯を抜いてください。
※湯はり運転が正常に動作しないことがあります。

●浴そうの排水栓は、しっかりと閉じ、ふたをしてください。

排水栓の閉じ忘れがあると、湯はり運転を自動的に中止し、点検表示でお知らせします。点検表示が表示された場合は、排水栓を閉じ、点検表示を標準画面に戻し、再度湯はりをしてください。 ➔P.67

ふろ栓確認
メニューボタンを３秒以上長押しすると点検表示を解除できます。
決定:決定

を押す

■入浴のしかた

●入浴は、次のようにすると、タンクのお湯が節約できます。

湯はり後はすぐ入浴しましょう。	間隔をあまり空けずに入浴しましょう。	入浴していないときはふたを閉めましょう。

●入浴するときは、次のことに注意して入浴してください。

⚠警告

禁止

ふろ循環アダプターに体を近づけたりしない

●熱いお湯が出ることがあり、やけどの原因になります。

運転中は浴そう内に潜らない

●ふろ循環アダプターに髪の毛が吸い込まれて、おぼれたり、けがの原因になります。
特に子どもの入浴には注意してください。

禁止

ふろ循環アダプターの吸い込み口カバーがゆるんだり、外したままで運転しない。

●ふろ循環アダプターに髪の毛が吸い込まれて、おぼれたり、けがの原因になります。

運転中にふろ循環アダプターの吸い込み口をふさがない。

●ふろ循環アダプターに髪の毛が吸い込まれて、おぼれたり、けがの原因になります。

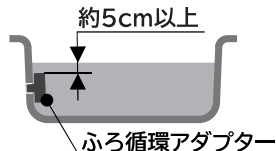
確認

浴そうのお湯の温度を指先などで確認してから入浴する

●入浴時に指先などで湯温を確かめないと、やけどの原因になります。

■「ふろ自動」運転終了後の自動運転

●「ふろ自動」運転で湯はりされたお湯を排水すると、ふろ配管のお手入れをする「自動洗浄」運転を自動的に行います。
「自動洗浄」運転後、表示画面は に変わります。（「自動洗浄」の設定が「切」の場合も、お湯を排水すると に変わります。）

●冬季など、外気温が下がると、ふろ配管に浴そうのお湯を自動循環させて凍結を防ぎます。
冬季は、浴そうのお湯を、ふろ循環アダプター上端より約5cm以上残しておいてください。 ➔P.53

⚠警告

「自動洗浄」中は浴そうに入らない
ふろ循環アダプターから出るお湯に触れない

14:00 eco 浴室優先
ふろ 40℃ 給湯 40℃ タンク
自動洗浄中

※熱いお湯が出ることがあり、やけどするおそれがあります。

「ふろ」を使う（つづき）

「追いだき」

●浴そうに湯はりされたお湯の温度を上げます。

■「追いだき」のしくみ

●湯はりされたお湯を、タンクのお湯の高温部の追いだき熱交換器を通して循環させて温めます。
●「追いだき」をすると、タンクのお湯の熱をたくさん使うためタンクのお湯の温度が下がり、使えるお湯の量が少なくなります。

■自動「追いだき」

●「保温」運転中は、湯はりされたお湯の温度が、設定されたふろ温度より下がると、自動的に「追いだき」を行い、設定ふろ温度まで温めます。

■手動「追いだき」

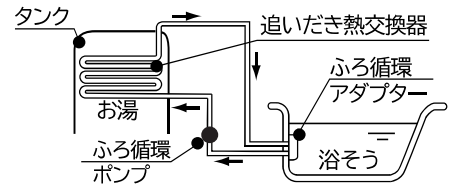
●「保温」運転中や運転終了後に「追いだき」ボタンを押すと「追いだき」を行います。
●運転は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでもできます。一方のリモコンを運転すると、もう一方のリモコンも同じ運転状態になります。
●追いだき時間を短縮できる「高速追いだき」機能があります。➔P.20

⚠警告

禁止

ふろ循環アダプターに近づかない
※熱いお湯が出て、やけどの原因になります。

⚠注意

確認

「高速追いだき」機能は、「追いだき」機能より、熱いお湯の出る量が増えます

準備

台所リモコン（サブリモコン）の扉を開ける
（ふろリモコンの場合は不要です。）

1

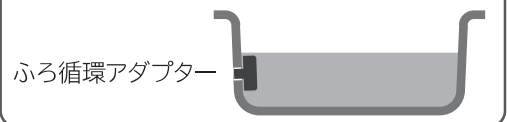
追いだき または、追いだき を押す

●ボタンのランプが点灯（ふろリモコンのみ）、音声と表示でお知らせし「追いだき」をはじめます。

音声 追いだきを開始します
熱いお湯が出ます
ご注意ください

「追いだき」には、ふろ循環アダプター上端以上の水位が必要です

ふろ循環アダプター

「追いだき」運転のはじめは、配管に残っている水が出ます。
運転中にふろ循環アダプターから泡や音が出ることがあります。

●お湯の温度により、次の運転をして、自動的に終了します。

湯はりされたお湯の温度	手動「追いだき」運転の内容
設定ふろ温度より低いとき	設定ふろ温度になるまで運転
設定ふろ温度より高いとき	約2℃高くなるまで運転

●ボタンのランプが消灯（ふろリモコンのみ）、音声と表示でお知らせします。

音声 追いだきを終了しました

中止

運転を中止するときは 追いだき または、追いだき を押す

●ボタンのランプが消灯（ふろリモコンのみ）、音声と表示でお知らせします。

音声 追いだきを中止します

お知らせ

「追いだき」はタンクのお湯をたくさん使います。長時間や頻繁な「追いだき」は控えましょう。

冷めた残り湯の沸かし直しには「高温さし湯」か、新たに「湯はり」することをおすすめします。

保温運転時間は短めに設定し、早めに入浴が終ったら、保温運転を中止しましょう。

残湯量目盛が表示されていてもタンクに60℃以上のお湯がないと、「追いだき」ができなかったり、途中で停止することがあります。その時は「タンク沸き増し」をしてください。➔P.45

「追いだき」を多く使いたいときは沸き上げ設定を「おまかせ多め」湯切れ防止設定を「少量」または「全量」に設定することをおすすめします。➔P.59

タンク内のお湯の温度が低く「追いだき」ができないときは、画面に「追いだきできません」が表示します。その時は「タンク沸き増し」をしてください。➔P.45

「たし湯」

●浴そうに湯はりされたお湯に、設定されたふろ温度のお湯を入れます。

■自動「たし湯」

●「保温」運転中は、湯はりされたお湯の水位が設定された水位より下がると、自動的に「たし湯」行い、設定水位にします。
（保温機能の設定が「温度のみ」の場合は行いません）

■手動「たし湯」

●「保温」運転中や保温運転終了後にふろリモコンの「たし湯」ボタンを押すと、ふろ温度のお湯を約20L入れる運転を行います。

準備 ふろリモコンの扉を開ける

1

を押す

●音声と表示でお知らせし「たし湯」をはじめます。

●お湯を約20L入れると自動的に終了し、音声と表示でお知らせします。

中止 運転を中止するときは

を押す

●音声と表示でお知らせします。

⚠警告

禁止

ふろ循環アダプターに近づかない

※熱いお湯が出て、やけどの原因になります。

お知らせ

「たし湯」運転のはじめは、配管に残っている水が出ます。

運転中にふろ循環アダプターから泡や音が出ることがあります。

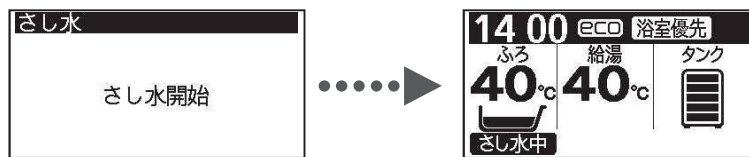
「ふろ」を使う（つづき）

「さし水」

●浴そうに湯はりされたお湯の温度を下げます。
●ふろリモコンの「さし水」ボタンを押すと、水を約15L入れる運転を行います。

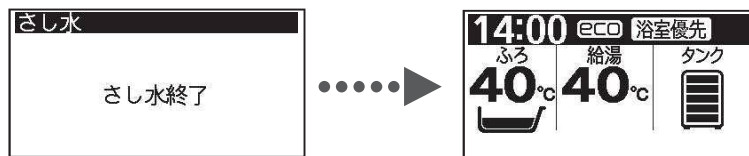
準備 **ふろリモコンの扉を開ける**

1 さし水 **を押す**

●音声と表示でお知らせし「さし水」をはじめます。

音声 さし水を開始します

●水を約15L入れると自動的に終了し、音声と表示でお知らせします。

音声 さし水を終了しました

中止 **運転を中止するときは** **を押す**

●音声と表示でお知らせします。

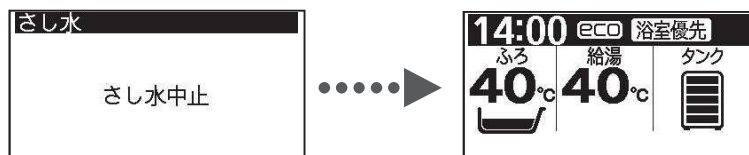
音声 さし水を中止します

ご注意

「さし水」運転のはじめは、配管に残っている熱いお湯が出る場合があります。

お知らせ

運転中にふろ循環アダプターから泡や音が出ることがあります。

給湯使用中に「さし水」を行うと、給湯の温度や流量が変わることがあります。

「高温さし湯」

●浴そうに湯はりされたお湯の温度を上げます。
●ふろリモコンの「高温さし湯」ボタンを約3秒以上長押しすると、約55℃のお湯を約25L入れる運転を行います。

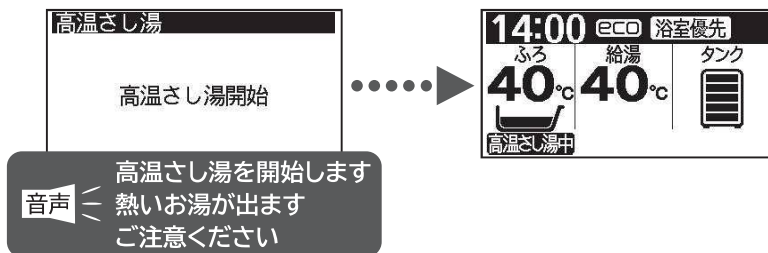
準備 ふろリモコンの扉を開る

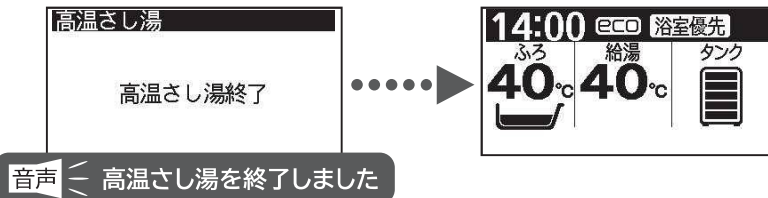
1 高温さし湯（3秒押し） **を約3秒以上長押しする**

●音声と表示でお知らせし「高温さし湯」をはじめます。

●約55℃のお湯を約25L入れると自動的に終了し、音声と表示でお知らせします。

高温さし湯を終了しました

中止 **運転を中止するときは** 高温さし湯（3秒押し） **を押す**

●音声と表示でお知らせします。

音声 高温さし湯を中止します

⚠警告

ふろ循環アダプターに近づかない
※熱いお湯が出て、やけどの原因になります。

お知らせ

「高温さし湯」運転のはじめは、配管に残っている水が出ます。

運転中にふろ循環アダプターから泡や音が出ることがあります。

給湯使用中に「高温さし湯」を行うと、給湯の温度や流量が変わることがあります。

残湯量目盛が表示されていてもタンクのお湯の温度が低い場合
・約55℃より低い温度のお湯を入れることがあります。
・「高温さし湯」ができなかったり途中で停止することがあります。

「給湯」と「高温さし湯」は同時にできません。
・給湯中に「高温さし湯」する場合
⇒「給湯」が終了してから「高温さし湯」が動作します。
・「高温さし湯」中に給湯する場合
⇒「高温さし湯」を中断し、「給湯」が終了してから再開します。

「ふろ」を使う（つづき）

「快泡浴」

●浴そうに湯はりされたお湯を循環させながら外気を混入させ、ふろ循環アダプターの吹き出し口から気泡を含んだ水流が発生します。

●快泡浴を運転するときは、次のことに注意してください。特に子どもの入浴には注意してください。

⚠警告

禁止

次の方は使用しない

・医師から入浴を禁じられている方
・妊産婦
・体調の悪い方
・血圧の高い方
・心臓疾患のある方
・お酒を飲んでいる方
・睡眠薬を服用された方
※体調に異常をきたすおそれがあります。

運転中は浴そう内に潜らない

※ふろ循環アダプターに髪の毛が吸い込まれ、おぼれるなど思わぬ事故の原因になります。
特に子どもの入浴には注意してください。

禁止

ふろ循環アダプターの吸い込み口カバーがゆるんだり、外したまま運転しない。

※ふろ循環アダプターに髪の毛が吸い込まれ、おぼれるなど思わぬ事故の原因になります。

運転中にふろ循環アダプターの吸い込み口をふさがない。

※ふろ循環アダプターに髪の毛が吸い込まれやすくなり、おぼれるなど思わぬ事故の原因になります。

子どもや身体の不自由な方だけで入浴中の場合は運転させない。

※おぼれるなど思わぬ事故の原因になります。

⚠注意

禁止

ふろ循環アダプターの吹き出し口や吸い込み口をタオルや手足などでふさがない。

※水漏れや機器の故障の原因になります。

禁止

水流を直接、目や耳にあてない。

※炎症をおこすおそれがあります。

水流を身体の同じところに長時間あて続けない。

※体質によりかゆみがでることがあります。

■快泡浴は、別売品の専用のふろ循環アダプターが必要です。

●快泡浴用の別売品の専用のふろ循環アダプターでない場合は、快泡浴はできません。
快泡浴用のふろ循環アダプターを使用しない場合や快泡浴を使用しない場合は、快泡浴時間設定を「切」にしてください。 →P.20

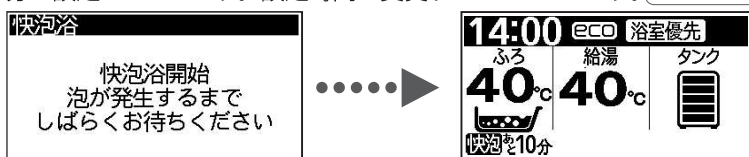
■ふろ循環アダプター吹き出し口の角度調整

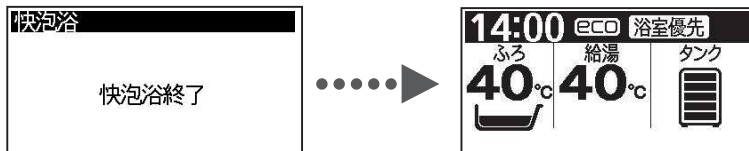
●吹き出し口は角度を変更できます。手で動かして、お好みの角度に調整してください。

・運転停止中に行ってください。
・指を中に入れないでください。
指が抜けなくなり、けがの原因になることがあります。

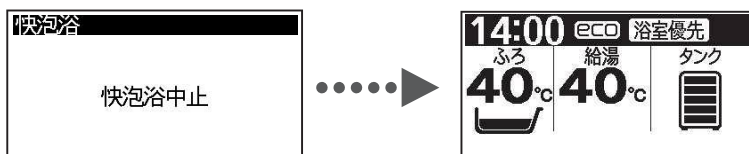
準備 リモコンの表示画面に があることを確認する

1 快泡浴 を押す

●音声と表示でお知らせし「快泡浴」をはじめます。
表示画面に と運転の残り時間が表示されます。工場出荷時は10分に設定されています。設定時間は変更することができます。→P.20

音声 快泡浴を開始します

●設定時間が経過すると自動的に終了し、音声と表示でお知らせします。

音声 快泡浴を終了しました

中止 運転を中止するときは 快泡浴 を押す

●音声と表示でお知らせします。

音声 快泡浴を中止します

ご注意

「快泡浴」運転のはじめは、配管に残っている熱いお湯や冷たい水が出る場合がありますので、ご注意ください。「熱いお湯がでますご注意ください」と発声することがあります。

ふろ循環アダプターの吹き出し口から出る水流が、吹き出し口周囲に当たって水流の妨げにならないように角度を調整してください。

お知らせ

蛇口から直接湯はりした場合は、快泡浴運転ができない場合や「ふろ栓確認」を表示することがあります。→P.67

運転中にふろ循環アダプターから音が出ることがあります。

快泡浴運転中は保温運転をしません。浴そうお湯の温度が冷めないように保温運転しながら快泡浴運転をすることもできます。

→P.20

保温運転は、タンク内のお湯の熱を利用しています。このため、タンク内の温度が低い場合は、保温運転を「入」にしていても保温されない場合があります。

ふろ循環アダプターをタオルや手足などでふさいだ場合、運転を停止したり、「ふろ栓確認」が表示されることがあります。→P.67

ふろ保温中に「快泡浴」ボタンを押すと、快泡浴をすぐに中止することがあります。

快泡浴運転中に製品を保護するため、水流がが弱くなったり、強くなったり変動することがありますが異常ではありません。

高温さし湯や追いだきを使用した後、「快泡浴」ボタンを押すと、快泡浴をすぐに中止することがあります。

いろいろな「湯はり」のしかた

「倍速湯はり」

●湯はり時間が標準湯はりの約半分になる「湯はり」運転です。一度設定すると設定は記憶されます。
●設定と運転は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでもできます。一方のリモコンを設定・運転すると、もう一方のリモコンも同じ設定・運転状態になります。

準備 リモコンの扉を開け、ボタンを押す

1 を押し、「ふろ」の「倍速湯はり設定」を選択し

を押す

倍速湯はり設定画面になります

2 を押し、「倍速湯はり設定」の「倍速湯はり」を選択し

を押す

自動で標準画面に戻ります

3 「ふろ温度」「水位」を確認・設定する →P.26

ふろ温度の設定範囲 ⇒ 低温（水温）、35℃～48℃(1℃刻み)
水位の設定範囲 ⇒ レベル1～レベル12の12段階(1段階約3cm)

4 浴そうの準備をする

1 浴そうの残り湯を抜く
残り湯がふろ循環アダプターより下の場合は、湯量が増えることがあります。

2 排水栓を閉じ、ふたをする

5 ふろ自動 を押す

●ボタンのランプが点灯、音声と表示でお知らせし「倍速湯はり」をはじめます。

音声 倍速湯はりを開始します

これ以降の運転内容は「自動湯はり」と同じです →P.27

解除 「倍速湯はり」の解除は **2** の操作で「標準湯はり」を設定します

お知らせ

湯はり中に「給湯」を使うと、湯はり時間が長くなったり、一時的に湯はりを中断することがあります。

タンクのお湯の温度が低い場合、残湯量目盛があっても、設定温度・水位に湯はりされない場合があります。そのときは音声でお知らせしますので、「タンク沸き増し」をしてください。 →P.45

表示と音声で湯はり終了をお知らせした後、しばらくは湯はり温度を確認するために、浴そうのお湯を循環します。

湯はり終了後ふろ配管内の空気を浴そうに出すため、ポンプが運転します。

夏季など水温が高い場合、低い温度・水位設定で湯はりすると、設定水位より高い水位に湯はりされる場合があります。

タンクのお湯が少ないときは、湯はり時間が長くなります。

ご注意

●リモコンの浴そうマークが残り湯ありの場合（残り湯の量がふろ循環アダプターより上にある場合）は、自動的に水量を確認する「標準湯はり」に切り替わります。

●残り湯の量がふろ循環アダプターより下の場合は、湯量が増える場合があります。

排水栓の閉じ忘れがあると、湯はり運転を自動的に終了し、下記の点検表示でお知らせします。 →P.67

ふろ栓確認
メニューボタンを3秒以上長押しすると点検表示を解除できます。
決定:決定

「予約湯はり」

●「自動湯はり」または「倍速湯はり」運転の予約機能で、予約した時刻に湯はりを終了させて、入浴できるようにします。
●予約は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでもできます。一方のリモコンで予約すると、もう一方のリモコンも同じ予約状態になります。

準備 **リモコンの扉を開け、**

1

●18時30分に湯はり終了する予約例です。

 を押し、「ふろ」の「ふろ予約設定」を選択し

決定 **を押す**
ふろ予約設定画面になります

2

 を押し、

予約時刻の「時」と「分」を設定する

ふろ予約設定
現在時刻: 10:00
予約時刻: 18:00
:選択 :設定 決定:決定

ふろ予約設定
現在時刻: 10:00
予約時刻: 18:30
:選択 :設定 決定:決定

3

を押す ●音声と表示でお知らせし「湯はり」が予約されます。

設定完了

10:00 eco 浴室優先
ふろ 40℃ 給湯 40℃ タンク
ふろ予約

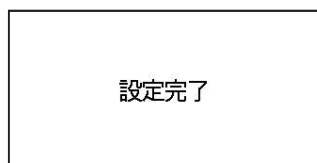
音声 ふろ予約を設定しました

お願い

リモコンに表示されている時刻を基準に予約されます。リモコンの時刻が現在時刻になっていることを確認してください。

お知らせ

リモコンに表示されている時刻から30分以内の予約はできません。下の表示でお知らせします。

ふろ予約設定
30分以内の予約は
できません
ふろ自動を押してください
戻る:戻る

リモコンに表示されている時刻より前の時刻の予約は、翌日の予約になります。

水圧の変動などにより、湯はり終了時刻が予約時刻とずれる場合があります。

予約時刻は記憶されません。ご使用のつど設定してください。

予約時刻の確認・変更・取消しは
1 の操作をする

ふろ予約設定
予約中: 19:20
継続 変更 取消
:選択 決定:決定

◀ ▶ **を押し、「継続」「変更」「取消」のいずれかを選択し**

継続	決定 を押す	**設定完了を音声と表示でお知らせ**
変更		**2 3 の操作で時刻を再設定する**
取消		**設定取消しを音声と表示でお知らせ**

いろいろな「湯はり」のしかた（つづき）

「半身浴湯はり」

●半身浴用に、自動で水位1で湯はりし、3時間の保温運転をします。
・水位1は、ふろ循環アダプター上端から約5cm上が目安で、変更できません。
・保温運転時間の変更はできません。
●運転は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでもできます。一方のリモコンで運転すると、もう一方の リモコンも同じ運転状態になります。

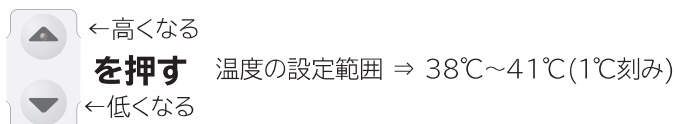
準備 **浴そうのお湯をすべて抜き、排水栓を閉じ、ふたをする**

1 半身浴（3秒押し） ふろ自動 **を約3秒以上長押しする**

（この表示は39℃が設定されています）

半身浴設定温度
39℃
⇔:設定 決定:決定

設定温度を変えるときは

←高くなる
を押す 温度の設定範囲 ⇒ 38℃～41℃(1℃刻み)
←低くなる

2 決定 **を押す**

●「ふろ自動」ボタンのランプが点灯、音声と表示でお知らせし、湯はりをはじめます。

音声 半身浴運転を開始します

●設定温度のお湯が湯はりされると、自動的に湯はり運転を終了します。

湯はりが終了すると、入浴ができます

■「保温」運転

●自動的に3時間の「保温」運転に切り替わります。

●「保温」運転中は、表示画面に と「保温」運転の残り時間が表示されます。

これ以降の運転内容は「自動湯はり」と同じです →P.27

お知らせ

リモコンの浴そうマークが残り湯ありの場合（残り湯の量がふろ循環アダプターより上にある場合）は、「半身浴湯はり」はできません。

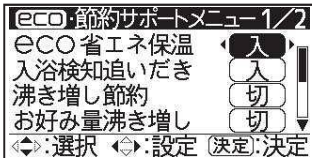
「半身浴湯はり」の予約湯はりはできません。

湯はり中に「給湯」を使うと、湯はり時間が長くなったり、一時的に湯はりを中断することがあります。

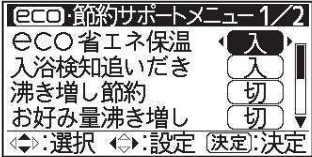
お願い

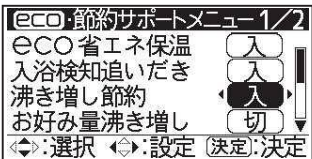
「保温」運転中は、浴そうのお湯をくみ出したり、抜いたりしないでください。浴そうのお湯がふろ循環アダプター付近まで下がると下記が表示され、運転を中止することがあります。 →P.67

ふろ栓確認
メニューボタンを3秒以上長押しすると点検表示を解除できます。
決定:決定

「eco・節約サポート」機能の使いかた

●「 eco・節約サポート」機能には、省エネなど節約につながる次の8つの機能があります。

機　能　項　目	機　能　内　容	詳細頁
eco省エネ保温	保温運転中の自動「追いだき」運転の回数を、お湯の温度の下がり具合を学習して、減らすようにします。	→P.39
入浴検知追いだき	保温運転中の自動「追いだき」運転を、浴そうのお湯に人が入ったときに運転するようにします。	
沸き増し節約	「湯切れ防止」運転を、給湯機がタンクのお湯が足りると判断したきに、運転しないようにします。	→P.40
お好み量沸き増し	「タンク沸き増し」ボタンにより沸き増す量を、5段階から選べるようにします。	
使用湯量目安/残湯量目安	使ったお湯の量と、タンクに残っているお湯の量をお知らせします。	→P.41
おすすめ設定	お湯の使用状況を学習し、「沸き上げ」のおすすめ設定モードをお知らせします。また、「湯切れ防止」の設定の確認ができます。	→P.42
シャワーアラーム	シャワーを使った時間と、シャワーに使ったお湯の量を表示し、設定した時間を超えたときにアラームでお知らせします。	→P.43
上手な使いかた	節約につながる上手な使いかたを表示します。	→P.42

●設定は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでもできます。一方のリモコンで設定すると、もう一方のリモコンも同じ設定状態になります。

1

を押す

2

を押し、機能を選択する

を押し、「入」または「切」を設定

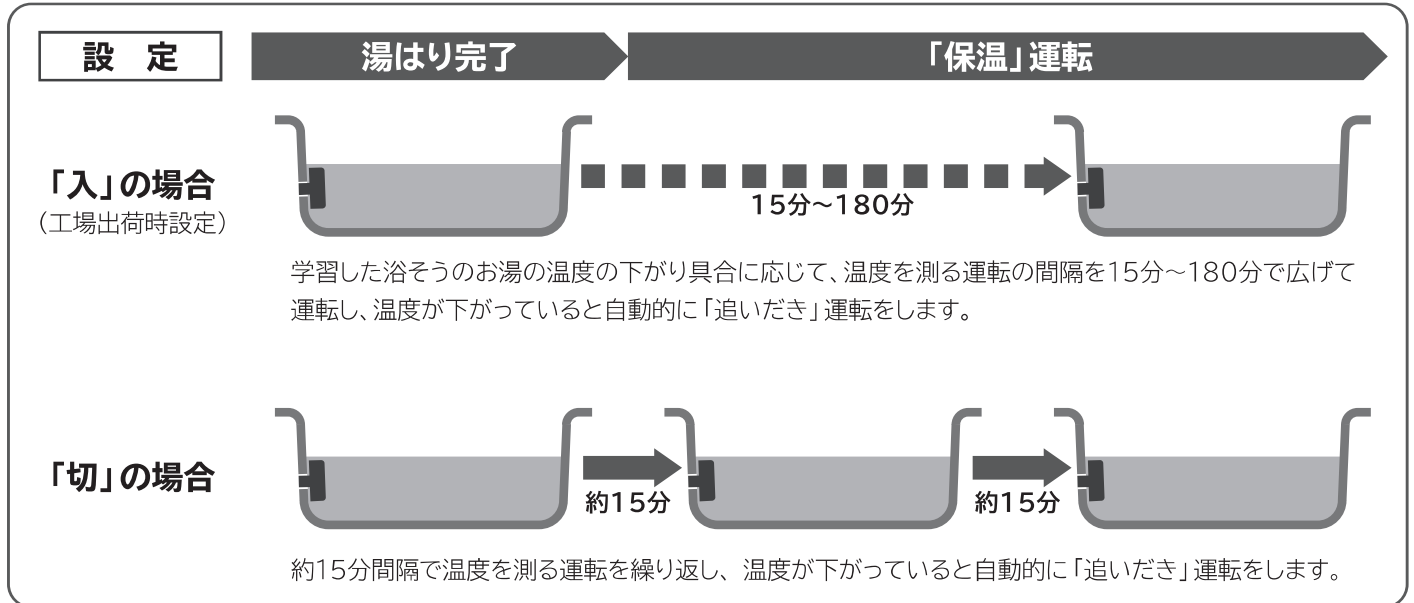
を押す

標準画面に戻ります。

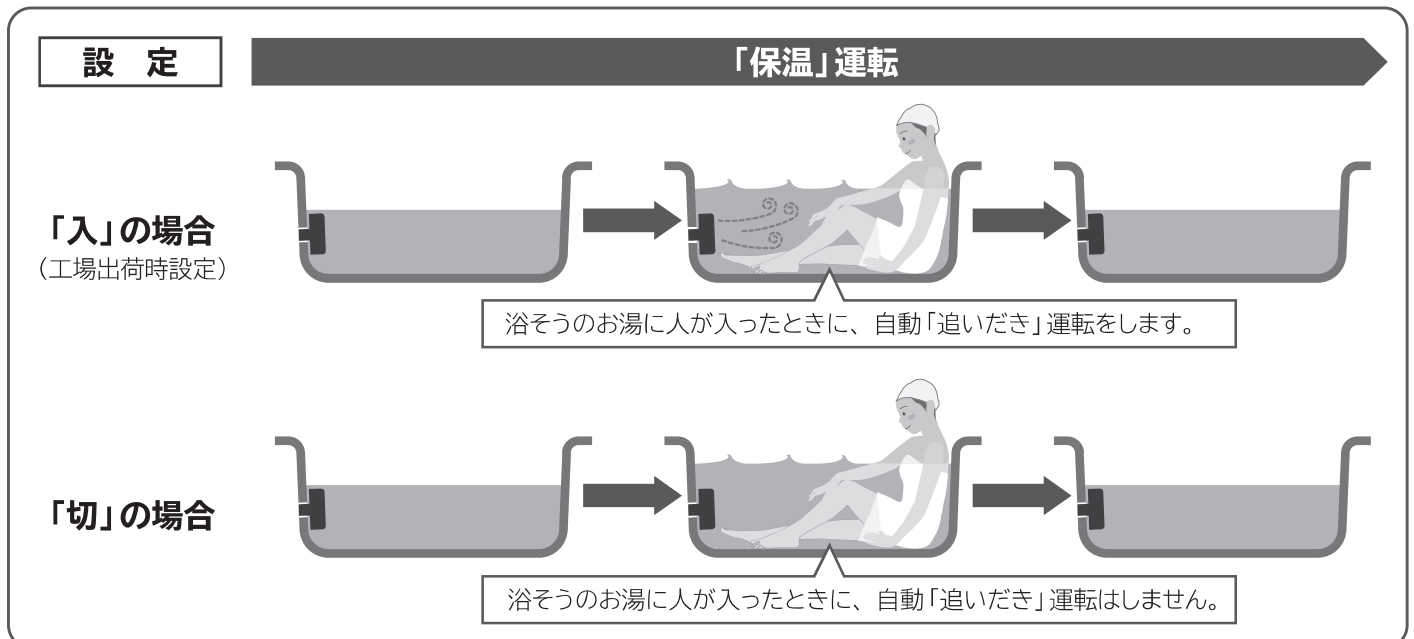
この4機能の設定操作手順は、各機能の説明ページで説明しています

「eco・節約サポート」機能の使いかた（つづき）

eco省エネ保温

●前回の「保温」運転中の浴そうのお湯の温度の下がり具合を学習し、自動「追いだき」運転の回数を減らすようにして、省エネをします。工場出荷時は「入」に設定されています。

お知らせ
●「保温時間設定」が0時間の場合、保温動作はしません。 ➔P.58
●「eco省エネ保温」設定を「入」に設定すると、標準画面に eco を表示します。

入浴検知追いだき

●「保温」運転中に浴そうのお湯の温度が下がると運転する自動「追いだき」運転を、浴そうのお湯に人が入ったときに運転するようにします。工場出荷時は「入」に設定されています。

お知らせ
●入浴検知は、水位の上昇を見ています。そのため、子どもの入浴は検知できないことがあります。
●追いだき運転の開始直後に、ふろ循環アダプターから冷めたお湯が出てくる場合がありますが、ふろ配管内の冷めたお湯ですので異常ではありません。
●「保温時間設定」が0時間の場合、「入浴検知追いだき」は追いだき動作しません。

沸き増し節約

●給湯機が昨日までの7日間のお湯の使用量を学習し、タンクのお湯が深夜時間帯まで足りると判断した場合、「湯切れ防止」が設定されていても、昼間時間帯には「湯切れ防止」運転を行わないようにして電気代を節約します。工場出荷時は「切」に設定されています。

お知らせ

●急な来客などでお湯を多く使う場合は、「タンク沸き増し」ボタンを押して沸き上げてください。➔P.45

●「入」に設定すると、「湯切れ防止／節約設定」は「おまかせ」に設定されます。➔P.60

●「入」から「切」に設定すると「湯切れ防止／節約設定」は「しない」に設定されます。➔P.60

お好み量沸き増し

●「タンク沸き増し」ボタンを押して沸き上げを行うとき➔P.45、必要なお湯の量だけを選んで沸き上げることによって電気代を節約します。工場出荷時は「切」に設定されています。

※1　残湯量表示は変わりません。
※2　タンク内に十分お湯があるときは、沸き増しできないことがあります。

「eco・節約サポート」機能の使いかた（つづき）

使用湯量目安／残湯量目安

●いつもに比べてお湯を使い過ぎていないか、いつものペースでお湯を使うとタンクのお湯が不足しないかなどを確認できます。
タンクのお湯が“足りる・足りない”などの目安として、またお湯の節約にお役立てください。

使用湯量目安

使用湯量目安(設定40℃換算)

	15:23	1日分
本日	290L	−
昨日	480L	800L
週平均	500L	850L

決定:決定

0時00分〜15時23分に使ったお湯の量

0時00分〜23時59分に使ったお湯の量

残湯量目安

使用湯量確認

数値は、リモコンの給湯温度設定値で換算した目安表示です。
10L単位で表示しています。

給湯温度42℃のお湯として換算した目安表示です。

準備

を押す

1

を押し、「使用湯量目安／残湯量目安」を選択し

決定 **を押す**
使用湯量目安画面になります

2

今日これまでに給湯で使ったお湯の量を表示します。

使用湯量目安確認後

決定 **を押す**
残湯量目安画面になります

3

今タンクにあるお湯が、設定給湯温度のお湯として何L給湯できるかを表示します。

残湯量目安確認後

残湯量目安(設定40℃換算)
残湯量 昨日の同時刻以降の使用量
520L [320L]
決定:決定

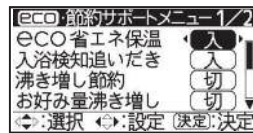
使用湯量確認画面になります

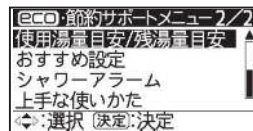
4

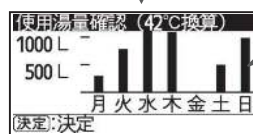
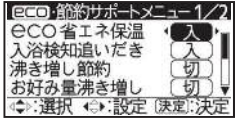
昨日までの7日間の日々のお湯の使用量を表示します。

使用湯量確認後

標準画面に戻ります

14:00 eco 浴室優先
ふろ 40℃ 給湯 40℃ タンク

お知らせ

表示値は、タンクのお湯と水の温度から、給湯温度設定値、または42℃のお湯に換算しているためタンクのお湯の温度を一定としたとき、水温が高い夏のほうが、使えるお湯の量は多くなります。

「使用湯量目安」の数値には、「追いだき」で使用した熱量と、混合水栓の水側の水量は含んでいません。

「残湯量」を増やしたい場合は、「タンク沸き増し」ボタンを押して、タンクにお湯を沸き上げてください。→P.45

「使用湯量確認」のグラフには、「追いだき」で使用した熱量も含んでいます。

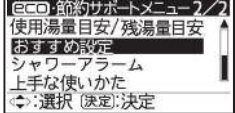
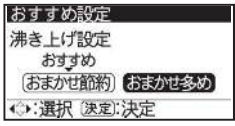
おすすめ設定

●自動的にタンクに沸き上げるお湯の量を設定した「沸き上げ設定」と「湯切れ防止設定」→P.59 が、現在のお湯の使いかたに合った設定になっているか確認できます。頻繁にお湯が足りなくなる、いつもお湯が余る、お湯の使いかたが変わったなど、設定を見直したいときに確認してください。

準備 節約サポート を押す

eco 節約サポートメニュー1/2
eco省エネ保温 入
入浴検知追いだき 入
沸き増し節約 切
お好み量沸き増し 切
:選択 :設定 決定:決定

1 を押し、「おすすめ設定」を選択し

eco 節約サポートメニュー2/2
使用湯量目安/残湯量目安
おすすめ設定
シャワーアラーム
上手な使いかた
:選択 決定:決定

決定 を押す
沸き上げ設定画面になります

2 を押し、「沸き上げ設定」を選択し

おすすめ設定
沸き上げ設定
おすすめ
おまかせ節約 おまかせ多め
:選択 決定:決定

決定 を押す
湯切れ防止設定画面になります

3 を押し、「湯切れ防止設定」を選択し

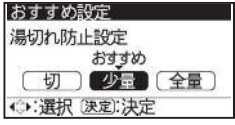
おすすめ設定
湯切れ防止設定
おすすめ
切 少量 全量
:選択 決定:決定

決定 を押す

設定完了

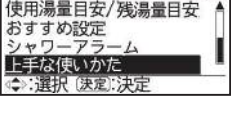
14:00 eco 浴室優先
ふろ 40℃ 給湯 40℃ タンク

お願い

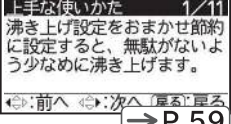
設定後、お湯の使いかたなどに変化があると、お湯が不足したり、余ったりすることがあります。
この場合は、再度「おすすめ設定」を確認してください。

黒地に白文字の表示が現在の設定、「おすすめ」が付いた表示がおすすめの設定です。

「湯切れ防止設定」のおすすめは「少量」を表示します。

上手な使いかた

●機能やお湯の上手な使いかたのポイントを表示します。お湯を沸き上げる電気代の節約や、お湯の節約などにお役立てください。

を押す

1 を押し、「上手な使いかた」を選択し

を押す
上手な使いかた1/11画面になります

2 を押し、
見たい画面を選択
画面は11画面あります

上手な使いかた 1/11
沸き上げ設定をおまかせ節約に設定すると、無駄がないよう少なめに沸き上げます。
:前へ :次へ 戻る:戻る
→P.59

標準画面に戻ります

上手な使いかた 2/11
お湯の量が十分で沸き上げが必要ない場合は、湯切れ防止設定を切ることをおすすめします。
:前へ :次へ 戻る:戻る
→P.60

上手な使いかた 3/11
お湯を使う最終時間が深夜時間帯直前のときは、湯切れ防止節約設定がおすすめです。
:前へ :次へ 戻る:戻る
→P.60

上手な使いかた 4/11
旅行などで不在となるときは、使用休止予約で沸き上げの休止設定ができます。
:前へ :次へ 戻る:戻る
→P.47

上手な使いかた 5/11
お湯は出しっぱなしにせず、蛇口やシャワーをこまめに止めましょう。
:前へ :次へ 戻る:戻る

上手な使いかた 6/11
入浴時間に合わせて湯はりをしましょう。また、できるだけ続けて入浴して、保温時間を短くしましょう。
:前へ :次へ 戻る:戻る
→P.28

上手な使いかた 7/11
お湯が冷めるので、入浴していないときは、浴そうにふたをしましょう。
:前へ :次へ 戻る:戻る
→P.28

上手な使いかた 8/11
浴そうのお湯を温めるときは、高温さし湯がおすすめです。タンクに蓄えた熱を効率的に使えます。
:前へ :次へ 戻る:戻る
→P.32

上手な使いかた 9/11
浴そうのお湯は、前日の残り湯をそのまま沸かし直すと湯切れしやすくなります。新たに入れる方がおすすめです。
:前へ :次へ 戻る:戻る
→P.28

上手な使いかた 10/11
使用湯量目安は、節約の目安にもなります。蛇口やシャワーをこまめに止めることが節約につながります。
:前へ :次へ 戻る:戻る
→P.41

上手な使いかた 11/11
シャワーアラームを設定して給湯の使用時間と使用量を確認すれば、お湯の使いすぎに注意することができます。
:前へ :次へ 戻る:戻る
→P.43

「eco・節約サポート」機能の使いかた（つづき）

シャワーアラーム

●浴室のシャワーや蛇口（台所）の連続使用時間と使用量が確認できます。また、あらかじめ設定した連続使用時間を越えると、アラームでお知らせします。お湯の使用量節約にお役立てください。
工場出荷時は、設定使用時間は「5分」、シャワーアラームは「しない」に設定されています。

設定	内容
「ふろ・台所」	ふろと台所リモコンに表示する
「ふろ」	ふろリモコンだけに表示する
「しない」	どのリモコンにも表示しない

「しない」を選択し、「決定」ボタンを押すと「標準画面」に戻り、ここで設定は完了します。

シャワーアラーム画面表示中に、給湯温度を確認・設定するときは

「浴室優先」が設定されているときは、台所リモコン（サブリモコン）での給湯温度設定はできません。

お知らせ

食洗器を使用すると、シャワーアラーム画面が表示される場合があります。

シャワーアラーム画面表示中に、標準画面に戻す（シャワーアラームを中止する）ときは

シャワーアラームを設定すると

給湯流量が4L/分以上の連続使用で、給湯（使用）量が基準量を越えるとシャワーアラーム画面が表示されます。画面には、給湯使用時間と給湯（使用）量が表示され、連続使用が停止されるまで、加算表示されます。
【基準量（L）=設定使用時間×4L】
<例>　設定使用時間5分の場合　基準量=5分×4L=20L

給湯の連続使用が設定使用時間を越えると、次のアラーム音でお知らせします。
（アラーム音でお知らせ中はバックライトが点滅します。）

設定使用時間（5分）経過時点：「ピー」

設定使用時間（5分）+2分経過時点：「ピーピー」

設定使用時間（5分）+4分経過時点：「ピーピーピー」

以降、連続使用が停止されるまで、2分経過ごとに「ピーピーピー」でお知らせします。

連続使用が約10秒間以上停止されると、シャワーアラームを終了します。（シャワーアラーム画面は約3秒間以上停止すると、標準画面に戻りますが、給湯使用を再開すると、シャワーアラーム画面が継続して表示されます。）

シャワーアラーム画面表示中に 戻る を押すと、シャワーアラームを終了し、標準画面に戻ります。

お知らせ

設定使用時間は
バックライトの点滅とアラーム音を、最初に出す時間です。

シャワーアラーム画面は
リモコンの給湯温度を高く設定するほど表示されにくくなります。

浴室でシャワーを使用していない場合でも、台所や洗面所などで給湯を連続使用すると表示される場合があります。また、給湯の流量が少ないとき、最初少ない給湯流量で給湯し、途中から湯量を増やしたときは、表示されないことがあります。→P.75

点検表示→P.67が表示されているときは、表示されません。

使用時間は
給湯開始からの給湯連続使用時間です。

複数の混合水栓で連続給湯された場合は、最後に給湯が停止されたときまでの時間になります。

使用量は
貯湯ユニットから出たお湯の量です。混合水栓の水側の水量は含みません。

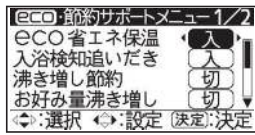
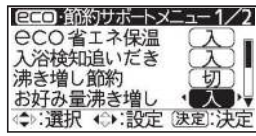
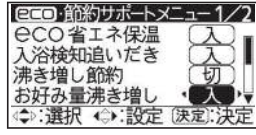
複数の混合水栓で連続給湯された場合は、合計の値になります。

シャワーアラーム画面表示中のボタン操作は
「給湯温度」と「戻る」ボタン以外のボタン操作はできません。給湯温度を確認・設定したいときは→P.43

「タンク沸き増し」のしかた

●残湯量目盛（タンクのお湯の量）が少ないときに、湯はりなどタンクのお湯を多く使いたい場合など、残湯量目盛を増やす（タンクにお湯を沸き上げる）のが「タンク沸き増し」ボタンです。

●「タンク沸き増し」には、ボタンを1回押すと5目盛まで沸き増す「お好み量沸き増し「切」」と、希望の目盛まで沸き増す「お好み量沸き増し「入」」があります。（工場出荷時はお好み量沸き増し「切」に設定されています）

※1　残湯量表示は変わりません。
※2　タンク内に十分お湯があるときは、沸き増しができないことがあります。

「お好み量沸き増し」の「入」・「切」設定のしかた

●設定は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでもできます。一方のリモコンで設定すると、もう一方のリモコンも同じ設定状態になります。

「タンク沸き増し」運転のしかた

●「タンク沸き増し」運転は、「お好み量沸き増し」の「切」「入」設定に応じた操作をします。
●運転は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでもできます。一方のリモコンで運転すると、もう一方のリモコンも同じ運転状態になります。

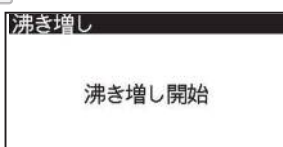
「お好み量沸き増し」が「切」設定の場合

タンク沸き増し または、タンク沸き増し を押す

●音声と表示でお知らせし、「タンク沸き増し」運転をはじめます。

沸き増し
沸き増し開始

音声 沸き増しを開始します

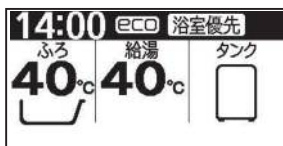
14:00 eco 浴室優先
ふろ 40℃ 給湯 40℃ タンク
沸き増し中

お願い

タンクのお湯が頻繁に足りなくなる場合は、深夜時間帯の「沸き上げ」設定を確認し、「おまかせ節約」になっているときは「おまかせ多め」に設定を変更してください。

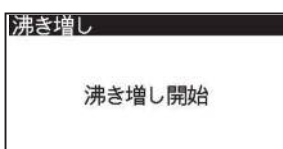
→P.59

「お好み量沸き増し」が「入」設定の場合

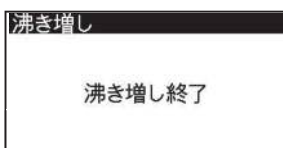
※タンク残湯量がない状態から残湯量3目盛まで沸き上げる場合の例です。

タンク沸き増し または、 を、希望の残湯量目盛が点滅するまで繰り返し押す

「タンク沸き増し」ボタンを押すごとに、残湯量目盛の点滅が増えます。5つ目の目盛が点滅した状態からさらにボタンを押すと、最初の目盛表示に戻ります。
この状態で「決定」ボタンを押すと、「タンク沸き増し」運転がはじまります。

しばらく放置すると、目盛の点滅が点灯に変わり、沸き増し運転がはじまります

●音声と表示でお知らせします。

沸き増し
沸き増し開始

音声 沸き増しを開始します

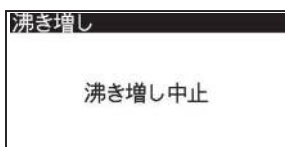
●設定目盛まで沸き増すと自動的に終了し、表示でお知らせします。

沸き増し
沸き増し終了

お知らせ

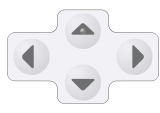
タンク内に十分お湯があるときは沸き増し運転をしないことがあります。

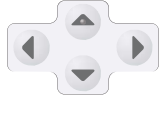
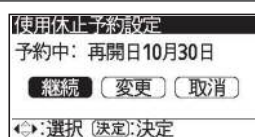
昼間時間帯の「タンク沸き増し」運転は、電気料金が割高になります。

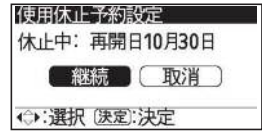
運転の中止は タンク沸き増し または タンク沸き増し を押す

●音声と表示でお知らせし、「タンク沸き増し」運転を中止します。

沸き増し
沸き増し中止

音声 沸き増しを中止します

「使用休止」予約のしかた

●旅行などである期間お湯を使わないことが分かっている場合は、「使用休止」予約をおすすめします。
●蛇口やシャワーなどでお湯を1日使わなくても、タンクのお湯の温度が自然放熱などで下がるため、自動的に沸き上げを行いますが、「使用休止」中は沸き上げを行わず、節約につながります。
●「使用休止」中も気温が低くなると、凍結による機器の破損を防ぐため、沸き上げる場合があります。
●休止できる日数は1日～31日間で、最大6か月先の月まで予約できます。
●予約は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでもできます。一方のリモコンで予約すると、もう一方のリモコンも同じ予約状態になります。

次の設定手順は、10月20日から使用を休止し、10月30日にお湯の使用を再開する場合です。
この設定では、29日の深夜時間帯から自動的に沸き上げを再開し、30日朝（深夜時間帯終了後）にはお湯が使えます。

4 休止日と再開日を確認後

ご注意
冬季、気温が低くなるときは「使用休止」をしないでください。
タンクや配管が凍結し、故障の原因になります。

予約中は 使用休止予約 を表示
休止中は 使用休止中 を表示
休止期間が終了すると表示は消えます。

お知らせ
休止中は「変更」操作はできません。

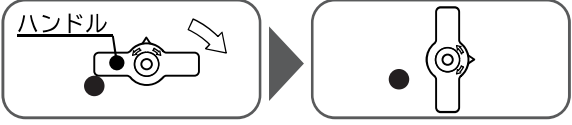
給湯機の運転停止と再運転のしかた

●給湯機を1か月以上使わないときは、タンクや配管のお湯（水）の劣化や、無駄な沸き上げをしないように、給湯機の運転を停止させ、タンクや配管のお湯（水）を抜いておきます。
●給湯機周囲の外気温が0℃以下になると、タンク排水栓が凍結している場合があります。凍結している場合は無理に操作しないでください。破損の原因になります。

運転停止と再運転のしかた

貯湯ユニットに取り付いている脚（配管）カバーのねじを外し、カバーを外して作業し、作業終了後は、カバーを取り付けてください。

⚠警告

配管やお湯に手を触れない

※高温になっている場合があり、やけどのおそれがあります。

1 タンク内の温度を下げる

1 混合水栓（蛇口）を開きお湯を出す
- タンクの排水時に熱湯が排水されることを防止するためにタンク内のお湯を出します。

2 混合水栓（蛇口）を閉める
- 蛇口からぬるい水が出てきたら、蛇口をしめます。（排水温度は45℃以下にしてください。）

2 タンクや配管のお湯（水）を抜く

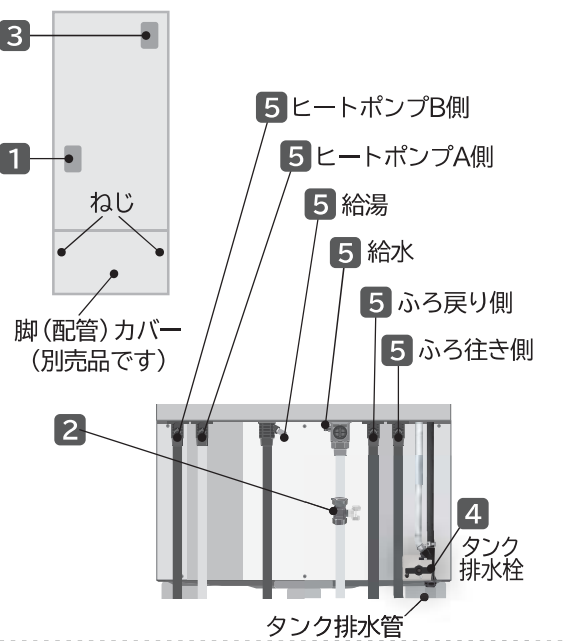
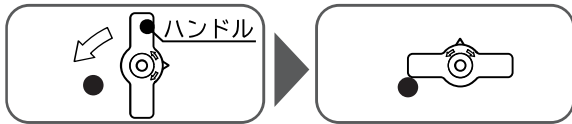
1 漏電遮断器のスイッチを「OFF」にする

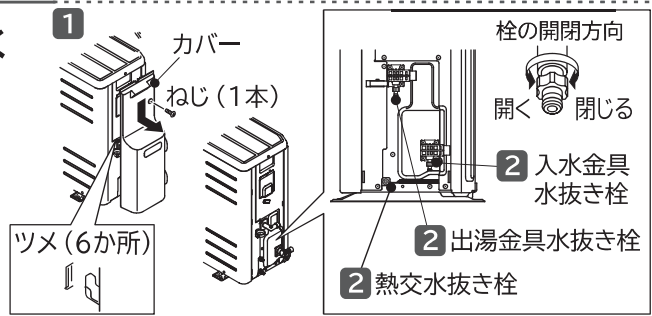
2 タンク専用止水栓を閉じる
- タンク専用止水栓の位置が分からない場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

3 逃し弁のレバーを上げる

4 タンク排水栓のハンドルを右に回し、排水する。

- タンクの排水は、満タンの場合約60分～90分かかります。

5 水抜き栓（6か所）を開き、お湯（水）を抜く

3 ヒートポンプユニットの配管のお湯（水）を抜く

1 カバーを外す
- プラスドライバーを使用してねじ（1本）を外し、カバーをツメ（6箇所）が外れるまで下方へスライドさせて外します。

2 水抜き栓（3か所）を開き、お湯（水）を抜く

4 タンク排水栓と各水抜き栓を閉じる

タンク排水管と各水抜き栓からお湯（水）が出なくなったら
- 貯湯ユニットのタンク排水栓のハンドルを左に回し、元の位置に戻す。

- 貯湯ユニットの水抜き栓（6か所）を閉じる。
- ヒートポンプユニットの水抜き栓（3か所）を閉じ、カバーを取り付ける。

お願い

水抜き終了後、タンク排水栓、各ユニットの水抜き栓が閉まっていることを確認してください。

凍結のおそれの高い地域の場合、水抜き作業はお買い上げの販売店または工事店に依頼してください。（作業は有償になります）
本ページの水抜きでは、配管の一部に水が残り、凍結を完全に防ぐことはできず、部品故障のおそれがあります。

5 再運転のしかた

給湯配管の空気抜きが必要のため、お買い上げの販売店または工事店に作業を依頼してください。（作業は有償になります）

「通話（インターホン）」の使いかた

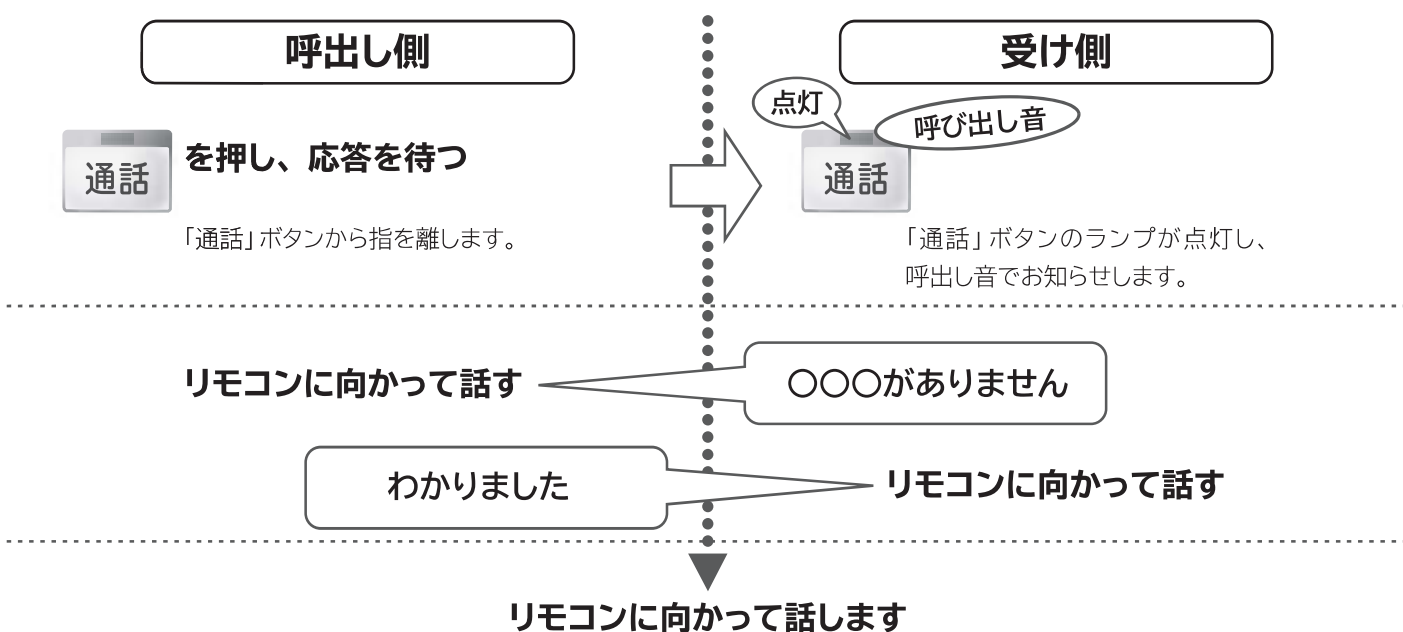
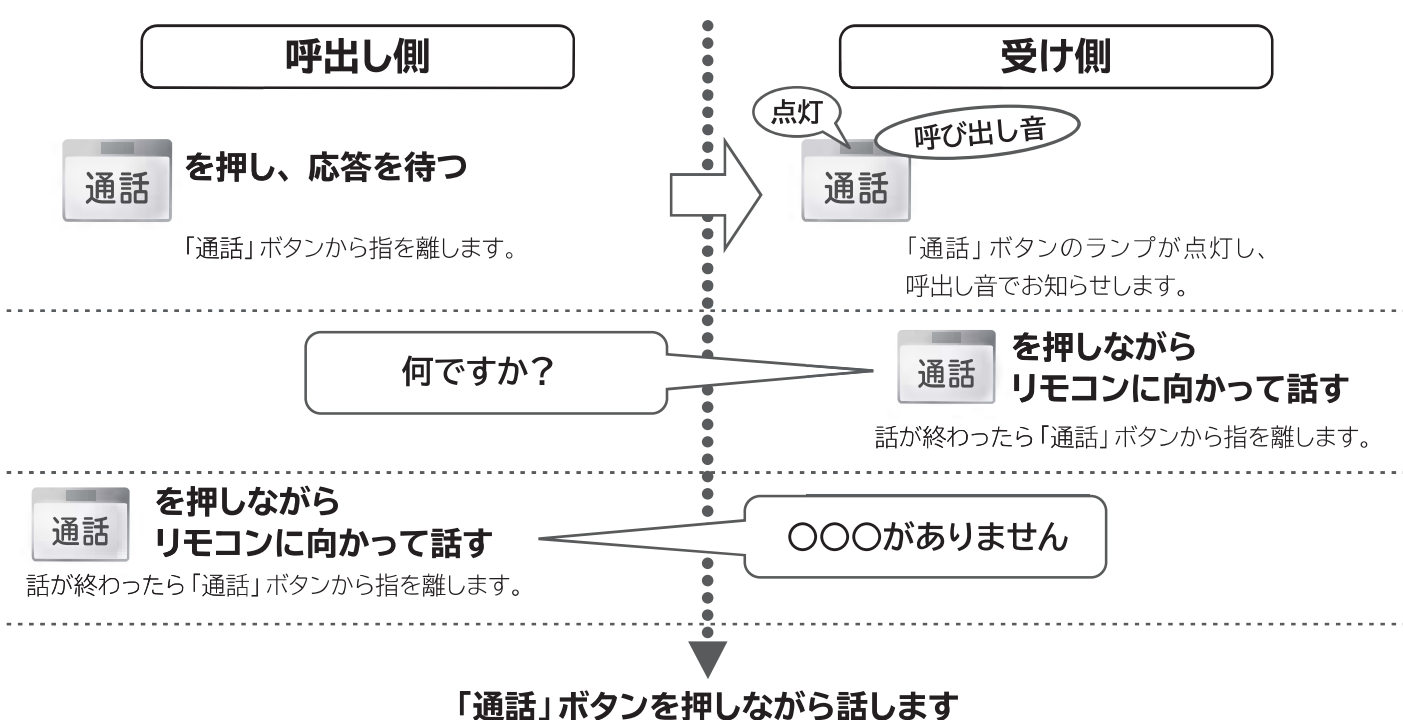
●ふろリモコンと台所リモコンの間で通話ができます。（サブリモコンには通話機能はありません）
●通話方法は次の2種類あります。工場出荷時は「ハンズフリー（「通話」ボタンを押さずに通話）」に設定されています。通話がうまくできないときは、「プレストーク（「通話」ボタンを押しながら通話する）」に切り替えてください。切り替え方法は →P.62 をご覧ください。

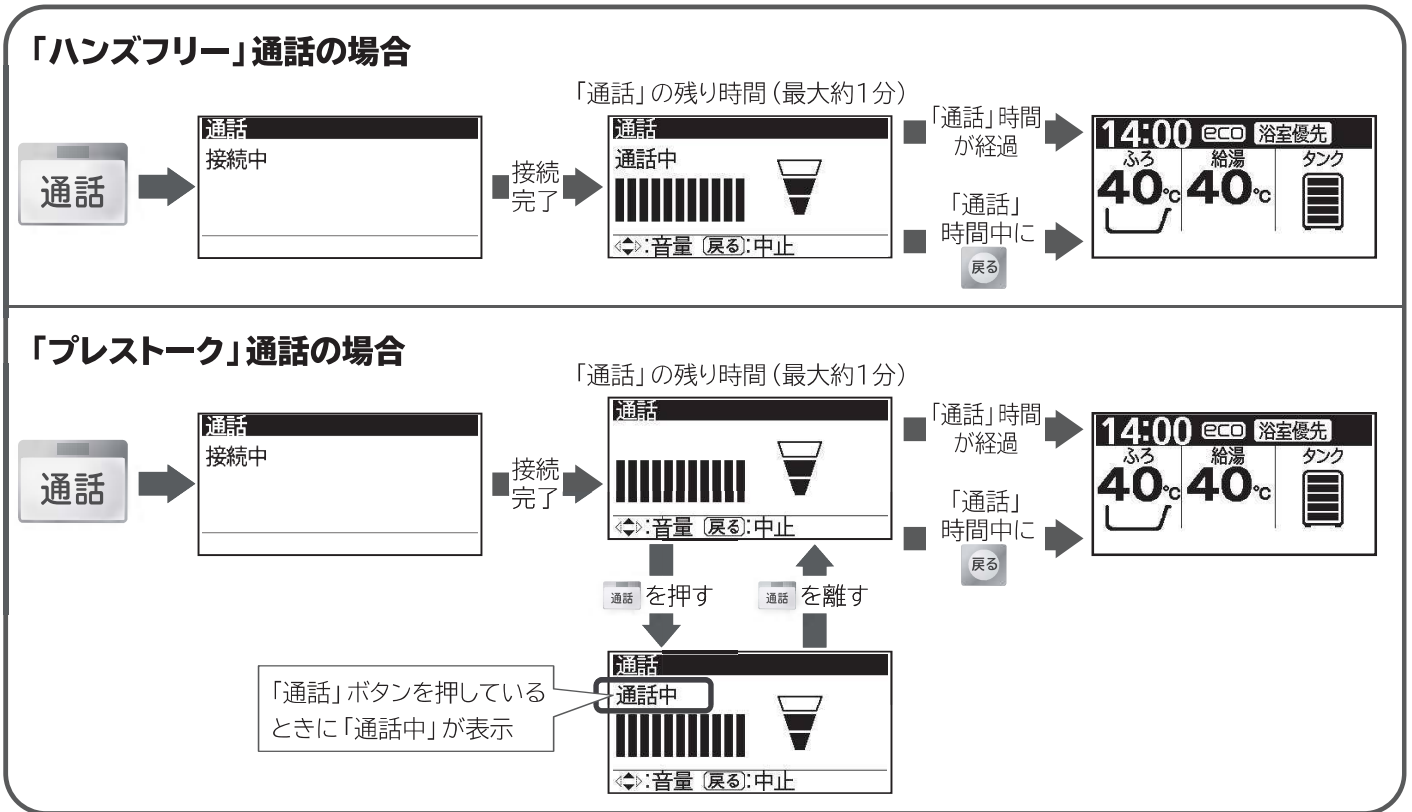
お知らせ　「湯切れ確認」表示中 →P.16 、「点検表示」表示中 →P.67 、お湯の出しかたお知らせ表示中 →P.68 は、通話（インターホン）は使用できません。その場合、「通話が開始できません。時間をおいて再度押してください。」が表示されます。

「ハンズフリー」通話

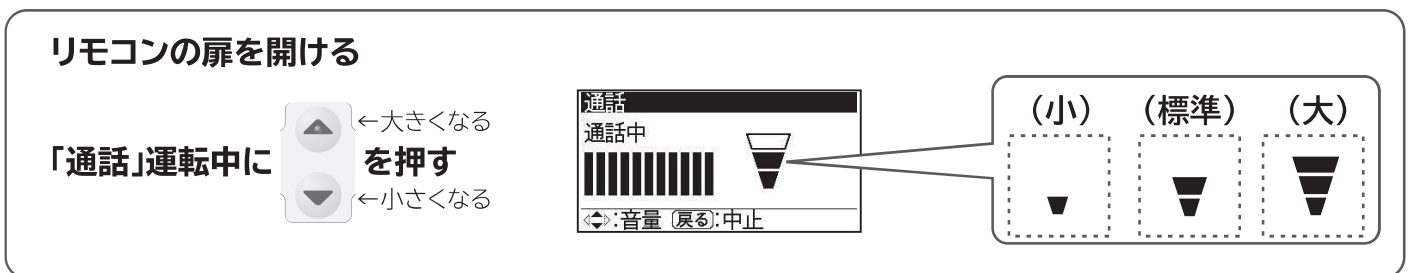
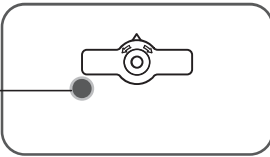
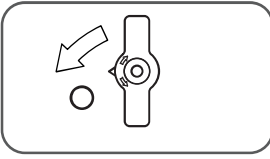
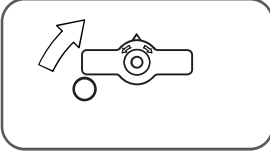
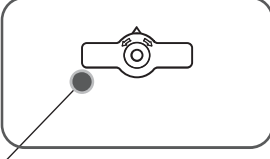
リモコンに向かって話します

「プレストーク」通話

「通話」ボタンを押しながら話します

■通話中のリモコン表示画面は「通話」画面になります。

呼出すために「通話」ボタンを押すと、リモコンの標準画面は「接続中」に切り替わり、相手側のリモコンと接続完了後、通話運転の残り時が目盛で表示されます。「通話」時間がなくなると、自動的に「通話」を終了し、標準画面に戻ります。「通話」時間が残っていても、「戻る」ボタンを押すと「通話」は終了します。

■通話中は、表示画面のバックライトを消灯します。

■通話の音量は「通話中」に変更できます。

音量は、リモコンごとに設定します。それぞれのリモコンで設定してください。

お知らせ

- 会話は、リモコンから30cm位離れて行ってください。離れすぎ、近づけすぎ、声が大きいなどの場合、相手のリモコンの会話が途切れたり、音が割れて聞き取りにくくなる場合があります。
- リモコンの取り付け状態や環境により、キーンという大きな音（ハウリング）が発生する場合があります。その場合は次の方法を試してください。
  ① 音量を「標準」または「小」に下げて使用する。
  ② 通話方法を「プレストーク」に変更し、通話するときは同時に「通話」ボタンを押して会話せず、交互に「通話」ボタンを押して通話する。

タンクのお湯（水）の非常時使用のしかた

●万一の災害時などは、タンクのお湯を非常用生活用水と使用することができます。
●飲用はできません。やむを得ない場合は、沸騰させてから飲用してください。
なお、固形物や変色、濁り、異臭、異物があった場合には、雑用水として使用してください。

貯湯ユニットに取り付いている脚（配管）カバーのねじを外し、カバーを外して作業し、作業終了後は、カバーを取り付けてください。

1 漏電遮断器のスイッチを「OFF」にする

2 タンク専用止水栓を閉じる

• タンク専用止水栓の位置が分からない場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

3 逃し弁のレバーを上げる

4 取水ホースの先端を熱に強い容器で受ける

• 熱湯（最高90℃）が出る場合があります。

5 タンクのお湯（水）を出す

1 ねじを取り外す

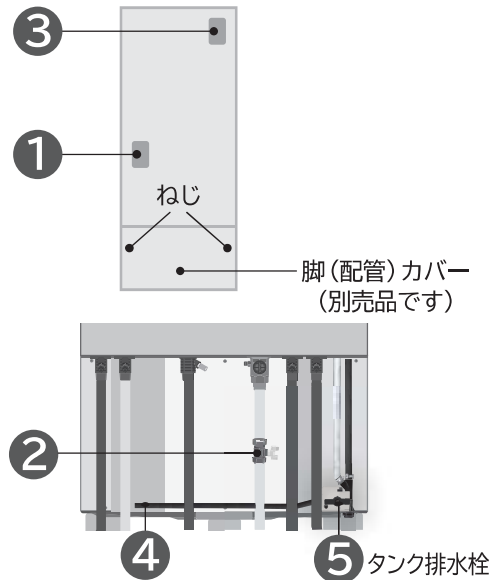
2 ハンドルを左側に回しお湯（水）を出す

3 お湯（水）を止めるときはタンク排水栓を右に回し、元の位置に戻す

4 お湯（水）の使用が終わったときは、ねじを取り付ける

警告

配管やお湯に手を触れない

※高温になっている場合があり、やけどのおそれがあります。

お願い

取水ホースから出るお湯（水）の最初は湯アカなどが含まれている場合があります。しばらく流し捨ててからお使いください。

お湯の使用が終わったときは、タンク排水栓ハンドルを「通常」に戻し、ねじを取り付けてください。

給湯機として再び使用するときは、給湯配管の空気抜きが必要のため、お買い上げの販売店または工事店に作業を依頼してください。（作業は有償になります）

給湯機周囲の外気温が0℃以下になると、タンク排水栓が凍結している場合があります。凍結している場合は無理に操作しないでください。破損の原因になります。

警告

非常用生活用水使用時は湯温を確めて熱に強い容器を使用する

●熱いお湯（最高90℃）が出ます。やけどにご注意ください。
●ガラス容器などは熱により割れることがあります。

停電したときの使いかた

■停電中

●リモコン表示画面が消え、運転中の機能は運転停止します。なお各機能の設定内容は記憶されています。
●「給湯」「ふろ」機能とも使えません。また混合水栓から出るお湯（水）は次のようになります。
●停電中に混合水栓を開けると、タンクにお湯があっても、水しかでません。

■停電復帰時

●リモコン表示画面の時刻と各設定内容を確認します。
・正しい現在時刻が表示され、温度や水位などの設定が停電前と変わっていなければ、そのままお使いになれます。
・時刻表示が現在時刻とずれていると、電気料金が割高になる場合がありますので、現在時刻に合わせてください。
●停電前に運転していた機能は、停電が復帰しても自動的には再運転しません。再度運転したい場合は、運転したい機能のボタンを押して運転してください。

お願い 「湯はり」運転中に停電した場合、停電が復帰しても自動的には再運転しません。「湯はり」運転を再開する場合は、浴そうのお湯を全部抜いてから、「ふろ自動」ボタンを押してください。

断水したときの使いかた

■断水中

●断水したときは、「タンク専用止水栓」を閉じてください。

ご注意 「タンク専用止水栓」を開けたままにすると、次のような原因になります。
・断水が復帰したときに、濁った水がタンクに給水され、お湯が濁ったり、貯湯ユニットのフィルター（ストレーナ）が目詰まりして、お湯の出が悪くなります。
・タンクに空気が入り、設定温度のお湯が出なかったり、お湯の温度が安定しなくなります。

●すべての混合水栓を閉じておいてください。
●タンクに給水されないため、タンクにお湯があっても、「給湯」「ふろ」機能、お湯、水とも使えません。

お知らせ タンクのお湯を非常用生活用水として使用することができます。

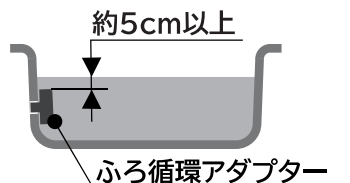
■断水復帰時

●断水が復帰したときは、次の確認をしてから、「タンク専用止水栓」を開けて、使用を再開してください。
・混合水栓を水側を開けて、水の濁りや空気の混ざりがなくなったことを確認する。
・断水復帰直後は水圧が低い場合があります。水圧が高くなったことを確認する。

凍結防止のしかた

●各配管に保温工事がされていても、給湯機周囲の外気温が0℃以下になると、配管が凍結し、配管や給湯機が破損することがあります。寒冷地だけでなく、暖かい地域でも凍結することがありますので、凍結防止は必ず行ってください。

■ふろ配管・循環ポンプの凍結防止策

浴そうのお湯を、ふろ循環アダプター上端より約5cm以上残しておく

●給湯機周囲の外気温が0℃以下になると、ふろ配管や循環ポンプの凍結を防ぐために、浴そうのお湯を使い「凍結防止」運転を自動的に行います。

●浴そうにお湯がない場合、リモコンに表示し音声（7時～23時）でお知らせします。

●「凍結防止」運転中は、リモコンに 凍結防止中 を表示します。

ご注意

浴そうにお湯がない場合、循環ポンプは運転しますが、ふろ配管の凍結防止はできませんのでご注意ください。なお、循環ポンプを運転するため、ふろ配管に残っているお湯（水）が、ふろ循環アダプターから出て「ゴボゴボ」音がします。

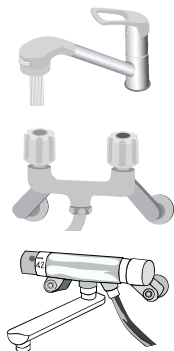
冬季は「凍結防止」運転を行うため、「ふろ自動」運転終了後に入浴すると、ふろ循環アダプターからい冷めたお湯が出てくる場合があります。

■給水配管、給湯配管の凍結防止策

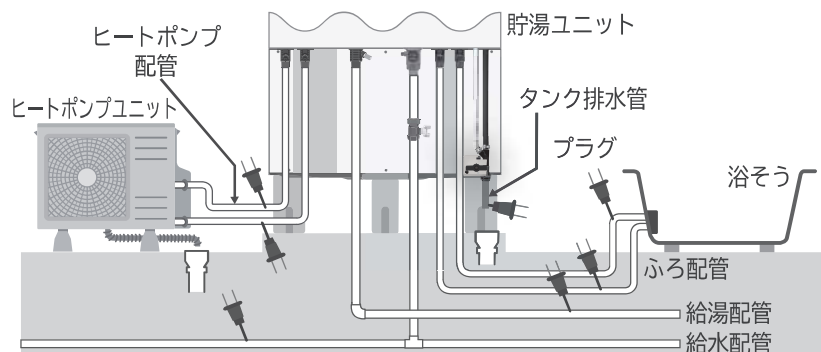
給湯温度を「低温」に設定してから、混合水栓を、わずかに水が出る（1分間に 200cc：コップ1杯分）ように開けておく

シングルレバーの場合は、レバーを水側と湯側の中間位置にして開けます。

ツーハンドルの場合は、水側と湯側のハンドルを同じ程度に開けます。

サーモスタット付の場合は、混合水栓の温度設定を40℃前後して、ハンドルを開けます。

■配管全体の凍結防止策

凍結防止ヒーターを使う

凍結防止ヒーターがある場合は、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。

お願い

配管が凍結した場合は、タンク専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店または工事店へ連絡してください。

凍結しない季節になったときは、凍結防止ヒーターのプラグをコンセントから抜いてください。

お手入れと確認・点検

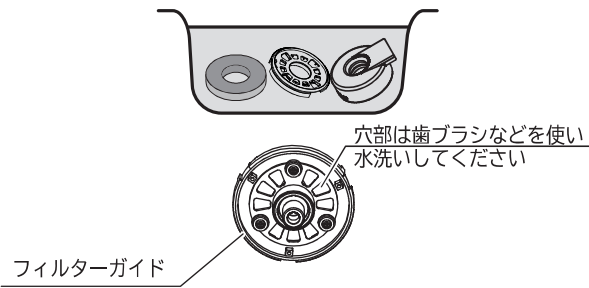
ふろ循環アダプター・・・・・湯はりごとにお手入れ

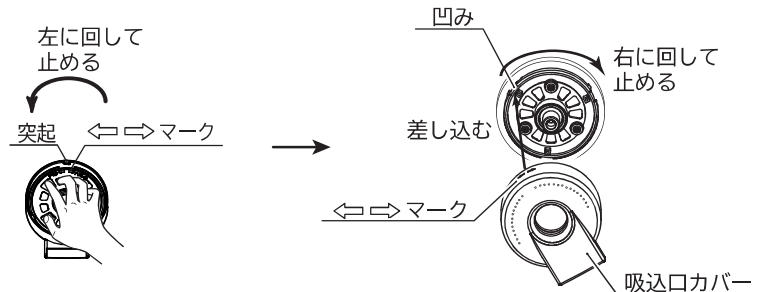
●ふろ循環アダプターが汚れていると、湯はりなどの機能が正しく動作しなかったり、汚れが浴そうに流れ出たりすることがあります。こまめにお手入れしてください。

1 **浴そうのお湯を排水したあとに、ふろ循環アダプターの吸込口カバーを左に回し取り外す**

2 **吸込口カバーの中にあるフィルター押さえを右に回して引っ張り、フィルターを取り外す**

3 **汚れを洗い流す**

- 吸込口カバー（網目部分も含む）、フィルター押さえ、フィルターを洗面器などに入れ水洗いする。汚れが取りにくい場合は、歯ブラシなどで洗う。
- フィルターガイドも歯ブラシなどを使い水洗いする。

4 **元通りに取り付ける**

- フィルターを吸込口カバーの中に入れ、フィルター押さえの ⇦⇨ マークと吸込口カバーの突起に合わせて取り付け、左へ回す。
- 次に吸込口カバーの ⇦⇨マークをフィルターガイドの凹みに合わせ差し込み、カチッと音がするまで右に回し取り付ける。
- 吸込口の位置が下になるように微調整する。

※吸込口の位置が下になるように微調整してください。

リモコン・・・・・こまめにお手入れ

●リモコンの表面は、湯アカや石けんカスで汚れ、時間経過とともに落ちにくくなります。こまめにお手入れしてください。

乾いた布や水に濡らした布を硬く絞って拭く

- 汚れが落ちにくい場合は、台所用中性洗剤をお湯で薄め布に含ませて拭き取ってください。

ご注意

「台所用中性洗剤以外の洗剤」や「ベンジン」「シンナー」などを使用しないでください。
※リモコンの変形、変色の原因になります。

シャワーなどで水洗いしないでください。
※リモコンの故障の原因になります。

時刻表示・・・・・月に1度は確認

●リモコンの時刻表示が現在時刻になっていないと電気料金が割高になる場合があります。月に1度は確認してください。

時刻表示を現在時刻にする ➔P.63

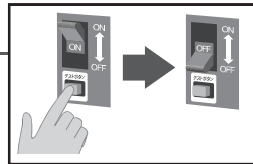
お手入れと確認・点検（つづき）

漏電遮断器・・・・・月に1度は動作を確認

●万一漏電したときに電気を切る安全装置です。動作を月に1度は確認してください。確認後は操作カバーを閉じてください。開けたままの使用は、漏電や感電の原因になります。

1 「テストボタン」を押し、スイッチが「OFF」になることを確認する。

2 スイッチを「ON」に戻す

⚠警告

動作確認

漏電遮断器の動作確認する

故障のまま使用すると感電や火災の原因になります。

お願い 「テストボタン」を押しても「OFF」にならない場合は、200V電源ブレーカーを「OFF」にして、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

逃し弁・・・・・年に2～3度は動作を確認

●「沸き上げ」や「沸き増し」時のタンクのお湯の膨張水を排出し、タンク内の圧力上昇を防ぐ安全装置です。

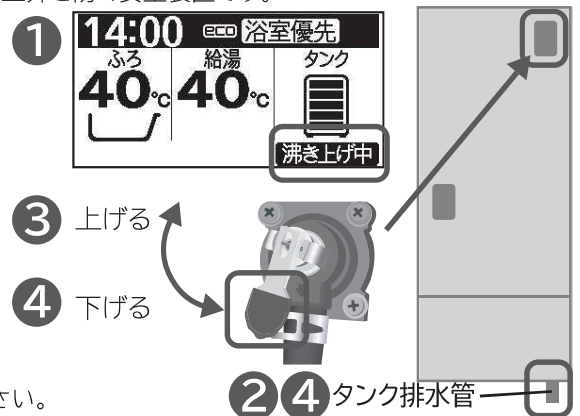
1 表示画面に 沸き上げ中 または 沸き増し中 が表示されていないことを確認する

2 タンク排水管からお湯が出ていないことを確認する

3 逃し弁のレバーを上げ、タンク排水管からお湯が出ることを確認する

4 逃し弁のレバーを下げ、タンク排水管からお湯が出ないことを確認する

・お湯が止まらない場合は、レバーを２～3回上げ下げしてください。

⚠警告

やけど注意

逃がし弁点検時はタンク排水栓に触れない

・やけどの原因になります。

お知らせ

●「沸き上げ」または「沸き増し」中に、少量のお湯を排水するのは正常な動作です。

タンク・・・・・年に2～3度は排水を実施

●タンク内底部には、使用にともない、湯アカなどの沈でん物がたまります。タンクのお湯（水）を排水して除去してください。

1 漏電遮断器のスイッチを「OFF」にする

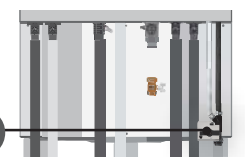
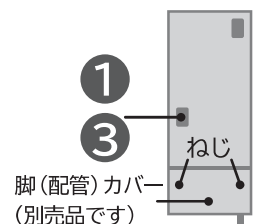
2 タンク排水栓のハンドルを右側に回し、約2分間排水し、元の位置に戻す

3 漏電遮断器のスイッチを「ON」にする

貯湯ユニットに取り付いている脚（配管）カバーのねじを外し、カバーを外して作業し、作業終了後は、カバーを取り付けてください。

お願い

給湯機周囲の外気温が0℃以下になるとタンク排水栓が凍結している場合があります。凍結している場合は無理に操作しないでください。破損の原因になります。

⚠警告

やけど注意

お湯に手を触れない

・排水時は熱湯が出る場合がありやけどの原因になります。

ふろ追いだき配管・・・湯はりごとに自動洗浄、半年に1度は循環洗浄

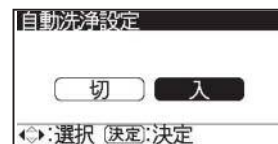
●ふろ追いだき配管は、湯アカなどの汚れがたまるため、お手入れ（洗浄）が必要です。
　次の2つの洗浄でお手入れしてください。

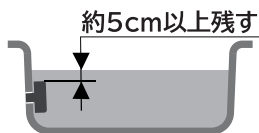
自動洗浄・・・・・浴そうのお湯の排水時に自動的に洗浄します

●リモコンで「一括設定」の「自動洗浄設定」で「入」を設定します。（工場出荷時は自動洗浄設定は「入」に設定されています）
　設定されていることを確認してください。

→P.20

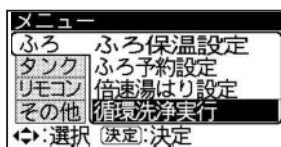
水位 5 | 浴室優先 | おまかせ節約
保温 2:00 | 入浴検知 | 湯切防止少量
自動洗浄 | 追いだき

「自動洗浄」設定マーク

循環洗浄・・・・・半年に1度は、市販の洗浄剤を入れた浴そうのお湯で洗浄します

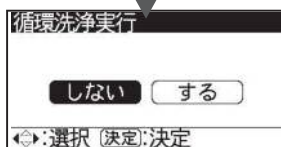
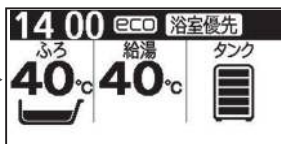
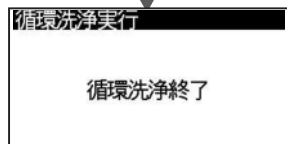
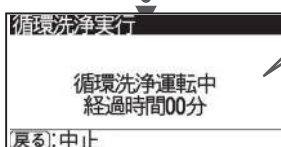
●浴そうのお湯をふろ循環アダプター上端より約5 cm以上残します。
●残したお湯に洗浄剤を入れます。（使用量や使いかたなどは、洗浄剤の説明に従ってください）

推奨洗浄剤	
商品名	ジャバ（1つ穴用）
発売元	ジョンソン株式会社

準備 リモコンの扉を開け、 ボタンを押す

1

を押し、「ふろ」の「循環洗浄実行」を選択し

決定 を押す
「循環洗浄実行」画面になります

2

◀ ▶ を押し、「する」を選択し

決定 を押す
循環洗浄がはじまります

循環洗浄終了後は、浴そうのお湯を排水して、浴そうを掃除してください。洗浄剤が浴そうに付着しています。

ご注意
循環洗浄を運転すると、タンクのお湯の温度が下がります。お湯をたくさん使う予定があるときは、お湯を使い終わったあとに循環洗浄を行ってください。

お知らせ
循環洗浄を行っても、汚れが落ちない場合があり、風呂循環アダプターから汚れが出てくることがあります。もう一度、循環洗浄を行ってください。

循環洗浄は、約10分間浴そうのお湯をふろ追いだき配管を循環させます。その後約3分間水道水を注水し、すすぎを行います。

リモコンで「一括設定」の「循環洗浄時期表示設定」を「入」にすると、循環洗浄時期に（給湯機を設置した日から半年に1回）リモコンに案内を表示します。
→P.20

ふろ追いだき配管を洗浄する時期になりました。
取扱説明書にしたがい、
ふろ追いだき配管の
循環洗浄をしてください。
決定:決定

配管全体・・・・・・・・・年に1度は点検

●水やお湯が漏れていないか、保温材が傷んでいないかを点検してください。　特に集合住宅（マンション）での水やお湯の漏れは、階下に被害を及ぼします。

給湯機の設定

時間帯別電灯契約の「契約番号」の設定

●この給湯機が契約されている「時間帯別電灯契約の名称」または「季節別時間帯別電灯契約の名称」に対応した「契約番号」を設定します。（工場出荷時は「04」が設定されています）

■契約番号と時間帯別電灯契約、季節別時間別電灯契約の時間帯の概要（2014年9月現在）

●各契約の内容詳細については、各電力会社にお問い合わせください。

●時間帯の名称のグラフの上の数字は時刻です。Aゾーン、Bゾーン、Cゾーンの用語は、説明のための日立独自用語で、電力会社が定めたものではありません。

電力会社	時間帯別電灯契約の名称	契約番号
北海道電力	ドリーム8、ドリーム8エコ（深夜時間帯22時～6時）	07
	ドリーム8、ドリーム8エコ（深夜時間帯23時～7時）	08
	ドリーム8、ドリーム8エコ（深夜時間帯24時～8時）	09
	eタイム3	12
東北電力	やりくりナイト8	00
	ピークシフト季節別時間帯別電灯	10
	やりくりナイト10、やりくりナイトS	06
東京電力	おトクなナイト8	00
	電化上手	02
	おトクなナイト10	06
中部電力	タイムプラン	00
	Eライフプラン	04
北陸電力	エルフナイト8	00
	エルフナイト10プラス	05
	エルフナイト10	06
関西電力	時間帯別電灯	00
	はぴeタイム	02
	季時別電灯PS	10
中国電力	エコノミーナイト	01
	ファミリータイム	03
四国電力	電化Deナイト、得トクナイト	00
	ピークシフト型時間帯別電灯	10
九州電力	時間帯別電灯（8時間型）	00
	季時別電灯	05
	時間帯別電灯	06
	ピークシフト電灯	11
沖縄電力	時間帯別電灯	00
	Eeらいふ	02

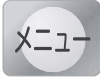
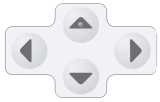
契約番号	時間帯の名称
00	0 深夜時間帯 Aゾーン 7 昼間時間帯 Bゾーン 23 深夜 24
01	0 深夜時間帯 Aゾーン 8 昼間時間帯 Bゾーン 23 深夜 24
02	0 深夜時間帯 Aゾーン 7 朝晩・リビング Bゾーン 10 昼間時間帯 Cゾーン 17 朝晩・リビング Bゾーン 23 深夜 24
03	0 深夜時間帯 Aゾーン 8 朝晩・リビング Bゾーン 10 昼間時間帯 Cゾーン 17 朝晩・リビング Bゾーン 23 深夜 24
04	0 深夜時間帯 Aゾーン 7 朝晩・リビング Bゾーン 9 昼間時間帯 Cゾーン 17 朝晩・リビング Bゾーン 23 深夜 24
05	0 深夜時間帯 Aゾーン 8 朝晩・リビング Bゾーン 10 昼間時間帯 Cゾーン 17 朝晩・リビング Bゾーン 22 深夜 24
06	0 深夜時間帯 Aゾーン 8 昼間時間帯 Bゾーン 22 深夜 24
07	0 深夜時間帯 Aゾーン 6 昼間時間帯 Bゾーン 16 ピーク Cゾーン 18 昼間時間帯 Bゾーン 22 深夜 24
08	0 深夜時間帯 Aゾーン 7 昼間時間帯 Bゾーン 16 ピーク Cゾーン 18 昼間時間帯 Bゾーン 23 深夜 24
09	0 深夜時間帯 Aゾーン 8 昼間時間帯 Bゾーン 16 ピーク Cゾーン 18 昼間時間帯 Bゾーン 24
10	（7月1日～9月30日）0 深夜時間帯 Aゾーン 7 昼間時間帯 Bゾーン 13 ピーク Cゾーン 16 昼間時間帯 Bゾーン 23 深夜 24
	（10月1日～翌6月30日）0 深夜時間帯 Aゾーン 7 昼間時間帯 Bゾーン 23 深夜 24
11	（7月1日～9月30日）0 深夜時間帯 Aゾーン 8 昼間時間帯 Bゾーン 13 ピーク Cゾーン 16 昼間時間帯 Bゾーン 22 深夜 24
	（10月1日～翌6月30日）0 深夜時間帯 Aゾーン 8 昼間時間帯 Bゾーン 22 深夜 24
12	0 深夜時間帯 Aゾーン 8 昼間時間帯 Bゾーン 13 ピーク Cゾーン 18 昼間時間帯 Bゾーン 22 深夜 24

●設定は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでもできます。一方のリモコンで設定すると、もう一方のリモコンも同じ設定状態になります。

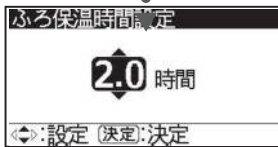
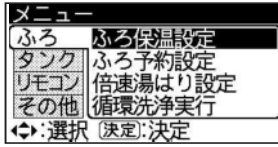
お願い

契約番号の設定が誤っていると、電気料金が割高になる場合があります。契約内容をよく確かめて設定してください。

なお、この契約番号は日立独自の番号で、電力会社が定めたものではありません。

「保温」運転内容の設定

●設定は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでもできます。一方のリモコンで設定すると、もう一方のリモコンも同じ設定状態になります。

保温時間設定

●湯はり運転が終了すると、自動的に切り替わる「保温」運転の運転時間の設定です。
●0.5時間（30分）刻みで6.0時間まで設定できます。（工場出荷時は「2.0時間」が設定されています）

保温機能設定

●「保温」運転の運転内容の設定です。
●「温度・水位」または「温度のみ」が設定できます。（工場出荷時は「温度・水位」が設定されています）

「保温」運転時間の設定範囲
0.5時間（30分）刻みで
6.0時間までです。

お願い

ジェットバスなどで水位が安定しない場合は、「温度のみ」に設定してください。

お知らせ

浴そうのお湯の温度は配管の長さや浴そうの放熱などにより設定されたふろ温度より低くなる場合があります。

給湯機の設定（つづき）

タンクに自動的に沸き上げるお湯の量の設定

沸き上げ設定

●**深夜時間帯に自動的にタンクに沸き上げるお湯の量の設定です。**下の「沸き上げ設定の目安」を参考に設定してください。（工場出荷時は「おまかせ節約」が設定されています）

沸き上げ設定の目安

沸き上げ設定	沸き上げ内容と設定の目安
おまかせ節約（約65～90℃）	昨日までの7日間の平均使用量に応じた湯量を深夜時間帯に沸き上げます。お湯の余りが少なくなるように、少なめに沸き上げる節約設定です。 ●**お湯の使用量が少ない場合の設定です。** ※まずはこの設定で使い、頻繁にお湯が不足（湯切れ）する場合は「おまかせ多め」に設定を変更してください。
おまかせ多め（約70～90℃）	昨日までの7日間の最大使用量に応じた湯量を深夜時間帯に沸き上げます。お湯が不足（湯切れ）しにくいように、多めに沸き上げる設定です。 ●**お湯の使用量が多い場合の設定です。** ※頻繁にお湯が余る場合は「おまかせ節約」に設定を変更してください。

お湯の使用量が多く深夜時間帯だけでは沸き上げできない場合は、「Bゾーン時間帯」→P.57 でも沸き上げを行います。

温度は、ヒートポンプユニットで沸き上げるお湯の温度です。

タンクにたまるお湯の温度は、タンクまでの配管の長さ・保温状態や外気温などにより、この温度より低くなります。

「追いだき」を多く使う場合は「おまかせ多め」に設定してください。

「追いだき」はタンクのお湯を多く使うため「おまかせ節約」設定では「追いだき」ができなくなる場合があります。

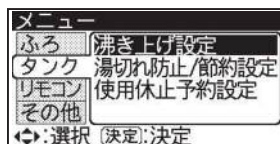
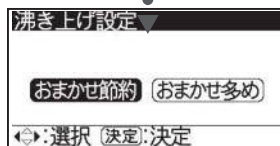
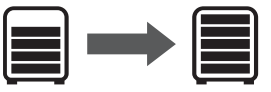
「おまかせ多め」設定でも「追いだき」ができなくなる場合は「タンク沸き増し」ボタンを押して沸き上げをしてください。→P.46

「Bゾーン時間帯」での「沸き上げ」は次のように運転します。

・残湯量目盛の上から2目盛が消灯するころに運転をはじめます。→P.16
そのため「湯切れ防止」・「少量」が設定されている場合でも、「湯切れ防止」運転より先に運転します。

・「湯切れ防止」が「切」に設定されている場合は、運転しません。→P.60

●設定は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでもできます。一方のリモコンで設定すると、もう一方のリモコンも同じ設定状態になります。

準備 リモコンの扉を開け、メニューボタンを押す

お知らせ

自動沸き上げ運転中は、表示画面に 沸き上げ中 が表示します。

14:00 eco 浴室優先 ふろ 40℃ 給湯 40℃ タンク 沸き上げ中

湯切れ防止/節約設定

●湯切れ防止は、昼間時間帯にタンクのお湯が減ると、自動的に沸き上げるお湯の量の設定です。
●下表を参考に設定してください。（工場出荷時は「少量」が設定されています）

設定の目安	お湯の使用量が少ない ⟷ お湯の使用量が多い		
設定	切	少量	全量
運転の内容	「湯切れ防止」運転しません	タンクの残湯量が少なくなると、追加でお湯を約75L増やします 残湯量目盛イメージ	タンクのお湯を約75L使うと、お湯の量を満タンまで増やします 残湯量目盛イメージ

お知らせ

残湯量目盛は、タンクのお湯の温度を検知して表示しているため、目盛が多く表示されている場合でも「湯切れ防止」運転を行うときがあります。

●節約設定は、「湯切れ防止」を設定したとき、残湯量が少なくなっても、設定した時刻から翌日のBゾーン開始時刻まで「湯切れ防止」運転を休止して、電気料金を節約する設定です。朝7時から設定できます。（工場出荷時は「しない」が設定されています）
●設定は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでもできます。一方のリモコンで設定すると、もう一方のリモコンも同じ設定状態になります。

●既に設定されている内容を反転表示します。
●湯切れ防止設定を「切」にすると「湯切れ防止」機能ははたらきませんので、湯切れする可能性があります。
●「切」を選択し、「決定」ボタンを押すと「標準画面」に戻り、ここで設定は完了します。

●既に設定されている内容を反転表示します。
●「おまかせ」と「沸き増し節約 →P.40」は同じ機能です。「おまかせ」に設定すると「沸き増し節約」も「入」に設定されます。
●「しない」「おまかせ」を選択し、「決定」ボタンを押すと「標準画面」に戻り、ここで設定は完了します。

●設定は「7：00」から30分刻みで設定できます。
●時刻を設定するとその時刻以降は翌日のBゾーン開始時刻まで「湯切れ防止」機能は、はたらきませんので湯切れする可能性があります。

給湯機の設定（つづき）

音声案内の設定

●音声ガイド内容・音量は、リモコンごとに設定します。

音声ガイド内容設定

●音声ガイドする範囲の設定です。（工場出荷時は「しんせつ」が設定されています）

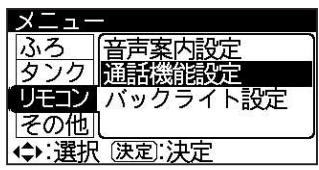
ガイド・操作音量設定

●音声ガイドや操作音量（ボタンを押したときに鳴る）の音量設定です。（「おしえて」ボタンでのガイドの音量も含みます）
●消音（音なし）、小、標準、大が設定できます。（工場出荷時は「標準」が設定されています）

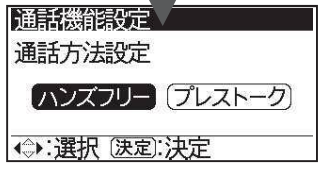
設定	ガイド内容
しんせつ	操作方法ガイド 機能運転ガイド 設定内容ガイド 運転停止ガイド 安全に関わるガイド
標準	運転停止ガイド 安全に関わるガイド
切	ガイドなし

（切）（小）（標準）（大）

設定に対応した音量でお知らせします。

お知らせ

同じ音量でも深夜など雑音が少ない環境では大きく聞こえたり、雑音が多い昼間は聞き取りにくくなることがあります。

通話（インターホン）機能の設定

●台所リモコンとふろリモコンの間での通話の音量と通話方法が設定できます。（サブリモコンには通話機能がありません）
工場出荷時は「標準」「ハンズフリー」が設定されています。
●音量はリモコンごとに設定します。

お知らせ

「音量」の設定は、通話中にもできます。
→P.50

通話
通話中
:音量 戻る:中止

給湯機の設定（つづき）

現在年月日・現在時刻の設定

●給湯機を使用するにあたっては、現在年月日と現在時刻の設定が必要です。
●この設定は、深夜時間帯の運転、日々のお湯の使用量に応じた量のお湯を沸かす運転、予約運転など、いろいろな機能を正しく運転するための設定です。
●設定は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでもできます。一方のリモコンを設定すると、もう一方のリモコンも同じ設定状態になります。

ご注意

リモコンの時刻表示が現在時刻になっていないと電気料金が割高になる場合があります。
月に1度は確認してください。

現在年月日と現在時刻の設定

●台所リモコン（サブリモコン）には、「日付時刻」ボタンがあり、少ない操作で時刻の設定ができます。
台所リモコン（サブリモコン）で設定すると、ふろリモコンも同じ設定状態になります。

準備 台所リモコンの扉を開け
（サブリモコン）

1 日付時刻（3秒押し）を約3秒以上長押しする

14:00 eco 浴室優先 ふろ 給湯 タンク 40℃ 40℃

「日付設定」画面になります

2 を押し、「年」「月」「日」を選択しながら、現在日付を設定し

日付/時刻設定
日付設定
2014年 10月 10日
:選択 :設定 決定:決定

決定 を押す

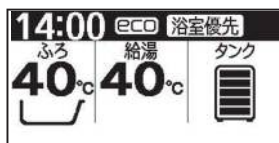
「時刻設定」画面になります

3 を押し、「時」「分」を選択しながら、現在時刻を設定し

日付/時刻設定
時刻設定
14:00
:選択 :設定 決定:決定

決定 を押す

設定完了

14:00 eco 浴室優先 ふろ 給湯 タンク 40℃ 40℃

お知らせ

ふろリモコンから日付/時刻を設定する場合は、「一括設定」で行います。→P.19

バックライト点灯時間の設定

●この設定は、リモコンボタン操作時に点灯するバックライトの点灯時間の設定です。
●設定は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンで別々に設定できます。

表示画面の見やすさ調整（コントラストレベル設定）

●表示画面の見やすさは、リモコン設置場所の明るさや温度などによって変わります。見にくい場合は、コントラストレベルの設定を変更してください。
●表示画面のコントラストレベルは、リモコンごとに設定します。それぞれのリモコンの表示画面で設定してください。

給湯機の設定（つづき）

工場出荷時設定

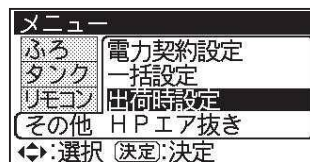
●下表の設定項目を工場出荷時の設定にします。

設定項目	工場出荷時設定	説明頁
給湯温度	40℃	→P.23
ふろ温度	40℃	→P.26
ふろ水位	5	
倍速湯はり	切	→P.35
ふろ保温時間	2:00	→P.58
保温機能	温度・水位	
湯はり完了音	メロディー1	→P.20
自動洗浄	入	→P.26
沸き上げ	おまかせ 節約	→P.59
湯切れ防止	少量	→P.60
節約設定	しない	
ふろ予約	なし	→P.36
チャイルドロック	切	→P.24
浴室優先	入	
半身浴温度	38℃	→P.37
電力契約番号	04	→P.57
使用休止予約	なし	→P.47
使用休止予約の休止日	なし	
使用休止予約の再開日	なし	
循環洗浄時期表示設定	切	→P.56

設定項目	工場出荷時設定	説明頁
音声ガイド（台所リモコン）	しんせつ	→P.61
音声ガイド（ふろリモコン）	しんせつ	
音声ガイド（サブリモコン）	しんせつ	
ガイド･操作音量（台所リモコン）	標準	→P.61
ガイド･操作音量（ふろリモコン）	標準	
ガイド･操作音量（サブリモコン）	標準	
コントラスト（台所リモコン）	レベル8	→P.64
コントラスト（ふろリモコン）	レベル8	
コントラスト（サブリモコン）	レベル8	
通話音量（台所リモコン）	標準	→P.62
通話音量（ふろリモコン）	標準	
通話方法	ハンズフリー	
eco省エネ保温	入	→P.39
入浴検知追いだき	入	
沸き増し節約	切	→P.40
お好み量沸き増し	切	
シャワーアラーム設定	しない	→P.43
バックライト設定	1分	→P.64
快泡浴時間設定	10分	→P.20
快泡浴中の保温運転	切	→P.20
追いだき設定	追いだき	→P.20

準備 リモコンの扉を開け、 ボタンを押す

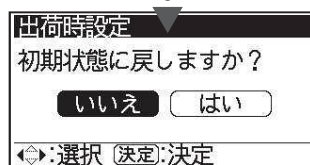
1 を押し、「その他」の「出荷時設定」を選択し

メニュー
ふろ　電力契約設定
タンク　一括設定
リモコン　出荷時設定
その他　ＨＰエア抜き
:選択 決定:決定

決定 を押す

「出荷時設定」画面になります

2 を押し、「はい」を選択し

決定 を押す

出荷時設定
初期状態に戻しますか？
いいえ　はい
:選択 決定:決定

「いいえ」を選択して「決定」を押すと、現在の設定を継続します。

設定完了

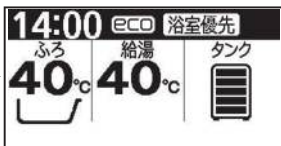
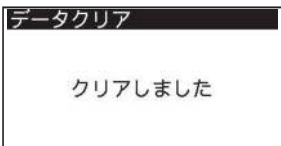
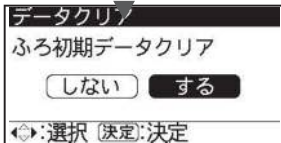
再起動します
しばらくお待ちくだ

14:00 eco 浴室優先
ふろ 40℃ 給湯 40℃ タンク

お願い 工場出荷時の設定に戻したあとは、「一括設定」を行ってからご使用ください。
→P.20

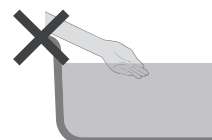
ふろ水位データの再設定

●おふろのお湯があふれる、水位が安定しないときに行ってください。
再設定しても、水位が安定しない場合は、お買い上げの販売店または「修理コールセンター」にご連絡ください。

ふろ水位データの消去

ふろ水位データ再設定

●ふろ水位データの再設定は、最初の湯はりの時に行います。→P.27
●浴そうにお湯（水）がない状態で湯はりを行ってください。
●その際、浴そうの形状を確認しながら湯はりするため、湯はり時間がかかります。

ご注意

● ふろ水位再設定の湯はり中、浴そうの水に触れないでください。触れると水位が正常に設定できないおそれがあります。

お困りのときは

リモコンにこんな表示が表示されたときは

●点検が必要になった場合、各リモコンに点検表示が表示され、バックライトが点滅します。

お客様で処置していただく点検表示

●下記の点検表示が表示された場合は、お客様で処置できますので、点検・処置をしてください。

点検表示と現象		原因	処置	再運転
点検　Er15 取扱説明書の指示に従い処置してください。メニューボタンを３秒以上長押しすると点検表示を解除できます。 決定:決定 点検　Er23 取扱説明書の指示に従い処置してください。メニューボタンを３秒以上長押しすると点検表示を解除できます。 決定:決定 ふろ栓確認 メニューボタンを３秒以上長押しすると点検表示を解除できます。 決定:決定	「湯はり」ができない	断水している	断水復帰を待つ	点検表示を解除（標準画面に戻す）し、再度「湯はり」をする
		タンク専用止水栓が閉じている	タンク専用止水栓を開けるもしくは全開する	
		ふろ循環アダプターのフィルターが目詰まりしている	ふろ循環アダプターのフィルターを掃除する	
		浴そうの排水栓が開いている	浴そうの排水栓を閉じる	
ふろ栓確認 メニューボタンを３秒以上長押しすると点検表示を解除できます。 決定:決定	保温運転中「たし湯」をしても水位が増えない	浴そうのお湯を多量にくみ出すなどで、お湯の水位が、ふろ循環アダプター上端より下がった	点検表示を解除（標準画面に戻す）し、「ふろ自動」運転で湯はりをする	
ふろ栓確認 メニューボタンを３秒以上長押しすると点検表示を解除できます。 決定:決定	保温運転中の「追いだき」ができない		点検表示を解除（標準画面に戻す）し、「たし湯」して、ふろ循環アダプター上端までお湯をいれてから、再度「追いだき」をする	
		ふろ配管内に空気がたまっている	点検表示を解除（標準画面に戻す）し、「たし湯」をして、配管内の空気を出してから、再度「追いだき」をする	
		半身浴湯はりの保温運転中に水位がふろ循環アダプター付近まで下がった	点検表示を解除（標準画面に戻す）し、「たし湯」して、ふろ循環アダプター上端までお湯をいれてから、再度「追いだき」をする	
ふろ栓確認 メニューボタンを３秒以上長押しすると点検表示を解除できます。 決定:決定	快泡浴ができない	ふろ循環アダプターのフィルターが目詰まりしている	ふろ循環アダプターのフィルターを掃除する	点検表示を解除（標準画面に戻す）し、再度「湯はり」をする
		浴そうの排水栓が開いている	浴そうの排水栓を閉じる	
		浴そうのお湯を多量にくみ出すなどで、お湯の水位が、ふろ循環アダプター上端より下がった	点検表示を解除（標準画面に戻す）し、「ふろ自動」運転で湯はりをする	

点検表示の解除（標準画面に戻す）のしかた

●解除は台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでもできます。一方のリモコンを解除すると、もう一方のリモコン も同じ解除状態になります。

準備 リモコンの扉を開ける

1

点検　Er15
取扱説明書の指示に従い処置してください。メニューボタンを３秒以上長押しすると点検表示を解除できます。
決定:決定

を押す

2 メニュー を3秒以上長押しする

お知らせ

処置しても、なお点検表示が出る場合や該当する原因がない場合は、お買い上げの販売店または「修理コールセンター」にご連絡ください。

お買い上げの販売店、または「修理コールセンター」に連絡していただく点検表示

●下記の点検表示が表示された場合は点検が必要なため、お買い上げの販売店、または「修理コールセンター」にご連絡ください。

点検表示の例

点検　Er01
お買い上げの販売店、
または修理コールセンターに
連絡してください。
決定:決定　◁◇▶:次へ

点検　Er11
本体の電源スイッチを一度
切り、再び入れると点検表示
を解除できます。
決定:決定　◁◇▶:次ページ

点検　Er14
ご使用を控え、お買い上げの
販売店、または修理コール
センターに連絡して
ください。
決定:決定　◁◇▶:次ページ

点検表示	点検必要箇所	点検表示の解除方法	点検表示解除後の給湯機使用
Er　01～14	貯湯ユニット関係	点検表示内容に従い解除（標準画面に戻す）する	お買い上げの販売店、または「修理コールセンター」にご連絡ください。 →P.77
Er　16～22			
Er　24～99			
HE　01～16、19	ヒートポンプユニット関係	「メニュー」ボタンを３秒以上長押し、解除（標準画面に戻す）する	
HE　22～44			
HE　17、20、21	ヒートポンプ配管関係		
C−09			

お知らせ

販売店がリモコンに連絡先の登録を行っている場合は、点検表示画面のときに ▶ を押すと、連絡先画面が表示されます。

点検　Er11
本体の電源スイッチを一度
切り、再び入れると点検表示
を解除できます。
決定:決定　◁◇▶:次へ

▶ を押す

点検　Er11
販売店名:
○○デンキ
電話番号:
１２３４−５６７−８９０
決定:決定　◀◇▷:前ページ

お湯の出しかたお知らせ表示

●タンクのお湯の熱で水道水を温め、設定給湯温度のお湯を作るしくみのため →P.2 タンクのお湯や水道水の温度が低い、給湯流量が多過ぎるなどで、設定給湯温度のお湯が出ないときに表示します。蛇口を絞り給湯流量を少なくすると設定給湯温度のお湯が出る場合があります。

お知らせ表示	現象	お知らせ表示の解除方法
お湯の出しすぎで給湯温度が低くなっています。蛇口を絞ってください。 決定:決定	給湯されるお湯の温度が低い	蛇口を絞り設定給湯温度のお湯が出る、または「決定」ボタンを押すと標準画面に戻ります

お困りのときは（つづき）

お問い合わせ項目もくじ

よくあるお問い合わせ

タンク排水管からお湯が出ている
⇒沸き上げ中はお湯が出ます。 →P.70

ヒートポンプ排水管から水が出ている
⇒沸き上げ中は水が出ます。 →P.70

ヒートポンプユニットが昼間時間帯に運転している
⇒お湯が不足しないように沸き上げを行っています。「湯切れ防止」が設定されていると、運転する場合があります。 →P.70

混合水栓を開けても、すぐにお湯が出ない
⇒給湯配管内の残留水が先に出ます。 →P.71

シャワーや蛇口からのお湯の温度が低い
⇒配管の放熱などで、設定温度にならない場合があります。 →P.71

サーモスタット混合水栓で設定した温度のお湯が出ない
⇒リモコンの給湯温度を、サーモスタット混合水栓の設定温度より約10℃高くしないと、サーモスタット混合水栓の設定温度のお湯は出ません。 →P.71

「追いだき」運転が途中で停止する
⇒ふろ循環アダプターのフィルターが目詰まりすると、途中で停止します。 →P.73

入浴中、ふろ循環アダプターから水が出る、ゴボゴボ音がする
⇒入浴中に凍結防止が運転されると、水が出て、ゴボゴボ音がします。 →P.73

浴そうのお湯が青く見える
⇒浴そうや光の色の加減によって青く見える場合があります。 →P.73

浴そうや洗面器に青い線が付く
⇒銅配管から溶出するわずかな銅イオンが、石けん成分と反応して付くことがあります。 →P.73

リモコンの表示画面が薄い、濃い、縦線が入る
⇒設置場所の明るさや温度などによって見にくくなる場合があります。 →P.74

深夜時間帯終了時に残湯量目盛が5目盛表示されていない
⇒お湯の使用量が少ないときや、深夜時間帯にお湯を多く使用すると、5目盛表示されない場合があります。 →P.75

こんなときには、修理を依頼される前に確認を

	こんなときは	確認事項と処置方法
1 貯湯ユニット（タンク）	タンク排水管からお湯が出ている	沸き上げ中（リモコンに 沸き上げ中 または 沸き増し中 が表示されている）ではありませんか？ ⇒沸き上げ中である：正常な動作です。沸き上げ中は、タンク内の水がお湯になるときに膨張した分を排水します。深夜時間帯での沸き上げでは、通常約 10L ～ 20L を排水します。 ⇒沸き上げ中でない：「逃し弁」の点検を行ってください。 ➔P.55 14:00 eco 浴室優先 ふろ 40℃ 給湯 40℃ タンク 沸き上げ中
	タンク沸き増しを行うと、残湯量目盛が一気に増えるまたはすべて点灯する	正常な動作です。残湯量目盛は、45℃以上のお湯の量を表示するようになっています。このため、タンクのお湯の温度が45℃に近いときにタンク沸き増しを行うと、短時間でタンクのお湯の温度が45℃を超えるため、残湯量目盛が一気に増えます。タンクの温度状態によっては、全点灯することがあります。
2 ヒートポンプユニット	昼間時間帯に運転している	湯切れ防止が設定（リモコンに「湯切れ防止少量」または「湯切れ防止全量」が表示されている）されていませんか？ ⇒正常な動作です。設定されていると、残湯量目盛が全て点灯していてもタンクのお湯の減り具合により、自動的にヒートポンプを運転し、沸き上げを行います。 ➔P.60 水位 5 浴室優先 おまかせ節約 保温時間 2:00 入浴検知 湯切防止少量 自動洗浄 追いだき eco省エネ保温
		正常な動作です。冬季など外気温が低いとき、凍結防止のため、自動的にヒートポンプを運転し、沸き上げを行います。
	深夜時間帯になっても運転しない	正常な動作です。深夜時間帯終了時刻に合わせて沸き上がるように、沸き上げ（ヒートポンプ運転）開始時刻を調整する（ピークシフト機能）ためです。
	深夜時間帯終了時刻より早く運転が止まる	正常な動作です。タンクの残湯量が多い場合は、深夜時間帯終了時刻より早く、ヒートポンプ運転（沸き上げ）を終了することがあります。
	ヒートポンプ排水管から水が出る	正常な動作です。ヒートポンプ運転（沸き上げ）中は、空気中から熱を吸収するときに結露した水を排水します。
	底面から水が漏れている	ヒートポンプ排水管に折れ曲がり、つぶれ、先端の持ち上がりなどがあると、底面から水が漏れます。折れ曲がり、つぶれ、先端の持ち上がりをなくしてください。
		外気の温度や湿度によっては、底面に結露することがあり、この水が漏れることがあります。
	ヒートポンプユニットの外板や設置面が濡れている	外気の温度や湿度によっては、ヒートポンプユニットの外板に結露することがあります。また、この水が落ちて設置面が濡れることがあります。
	蒸発器に霜が付き白くなる	正常な現象です。冬季に運転すると、蒸発器（アルミ部分）に霜が付くことがあります。 蒸発器
	運転、停止を繰り返す	正常な運転です。冬季に運転すると、蒸発器（アルミ部分）に霜が付くことがあり、この霜を取り除くための運転です。
	音がする	正常な動作です。ヒートポンプ運転（沸き上げや凍結防止運転）中は、お湯を沸かすためのコンプレッサーやファンの運転音がします。また外気の温度が低い冬季は、コンプレッサーやファンを高速運転するため運転音が大きくなる場合があります。
	使用休止中なのに運転する	正常な動作です。冬季など外気温が低いとき、凍結防止のため、自動的にヒートポンプを運転し、沸き上げを行います。

お困りのときは（つづき）

こんなときには、修理を依頼される前に確認を

	こんなときは	確認事項と処置方法
3 給湯	お湯が出ない お湯の出が悪い	タンク専用止水栓が閉じていませんか？ ⇒タンク専用止水栓を開けてください。 ➔P.4
		断水していませんか？　水圧が低くありませんか？ ⇒断水が復帰するのを待ってください。（復帰後しばらくは水圧が低い場合があります）
		配管が凍結していませんか？ ⇒お買い上げの販売店または工事店へ連絡してください。
		混合水栓を開いてもなかなかお湯が出ないのは、給湯配管内にある残留水が先に出るためです。 ⇒残留水が出切るとお湯になりますので、少しお待ちください。
		給水継手部ストレーナが詰まっている。 ⇒お買い上げの販売店または工事店へ連絡し、給水ストレーナの清掃を依頼してください。（有償です）
	設定した給湯温度のお湯が出ない	お湯の温度は、配管の放熱によって低くなることがあります。 ⇒リモコンの給湯温度（「▲」ボタン）を高くしてください。 ➔P.23
		サーモスタット付き混合水栓からのお湯ではありませんか？ ⇒リモコンの給湯温度を、サーモスタット付き混合水栓の設定温度より約10℃高くしてください。 ➔P.22
		タンク内のお湯の温度が低い（残湯量目盛が少ない、または表示されていない）と、リモコンの給湯温度のお湯になりません。 ⇒タンク内のお湯の温度が低くなるのは、お湯の使用量が多いためです。お湯を沸き上げる設定やお湯の使いかたなど、次のことを確認してください。 沸き上げ設定が「おまかせ節約」になっている。 ⇒「おまかせ多め」設定にしてください。 ➔P.59 使用休止中である。 ➔P.47 ⇒使用休止を取り消し、「タンク沸き増し」ボタンを押して、タンクにお湯を沸き上げてください。 ➔P.45 昼間時間帯にいつもより多く、または深夜時間帯（沸き上げ運転中）に多くお湯を使った。 ⇒「タンク沸き増し」ボタンを押しタンクにお湯を沸き上げてください。 ➔P.45 ⇒お湯をたくさん使用する予定があるときは、前日に沸き上げ設定を「おまかせ多め」にするか、湯切れ防止を「全量」に設定しておいてください。 ➔P.59, 60 沸き上げ運転をしていないときに、タンク排水管からお湯が出ている。 ⇒「逃し弁」の点検を行ってください。 ➔P.55 ⇒タンク排水管からのお湯が止まらない場合は、お買い上げの販売店または工事店に連絡をしてください。
	お湯の使用量が少ないのに湯切れする	お湯をあまり使用しないが、数日おきには湯はり（追いだきする）場合、湯はりする日（追いだきする日）に湯切れする場合があります。 ⇒沸き上げ設定を「おまかせ多め」に設定してください。 ➔P.59 ⇒湯切れしたときは、「タンク沸き増し」ボタンを押しタンクにお湯を沸き上げてください。 ➔P.45
次ページに続く	お湯の温度が変化する	次のような使いかたや現象は、お湯の温度が変化します。異常ではありません。 ・途中で給湯の流量を変える ・給湯中の水道水圧の変化 ・混合水栓の湯側の流量が少ない給湯 ・浴室シャワーと台所給湯の同時使用 ・湯はりやたし湯、さし水、高温さし湯と給湯の同時使用 ・シャワーをいったん止め、しばらくしての再使用

	こんなときは	確認事項と処置方法
3 給湯	給湯しているときに が表示しない	混合水栓の湯側の流量が少ない、混合水栓の水側で使用した場合は表示しません。「 」の表示はタンク内のお湯を使用した時に表示します。
	給湯していないときに が表示している	他の場所で給湯している場合は表示します。異常ではありません。 どの蛇口も使用していなくても表示する場合は、給湯配管から水漏れをしている場合があります。お買い上げの販売店または工事店へ連絡してください。
	お湯に油や臭いがある	お買い上げ直後は、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。異常ではありません。 ⇒しばらくしても油や臭いが消えない場合は、タンクのお湯の入れ替え、配管材料のなどの確認が必要です。お買い上げの販売店または工事店に連絡をしてください。
	お湯が白く濁って見える	異常ではありません。水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに、細かい泡となって出る現象です。少し時間をおくと消えます。
4 ふろ	「ふろ自動(湯はり)」運転をしない、運転を途中で中止する	タンクのお湯の量が少ない(残湯量目盛が3目盛ない)、またはお湯の温度が低いためです(残湯量目盛が3目盛以上ある)。 ⇒「タンク沸き増し」ボタンを押し、沸き上げを行ってから、再度「ふろ自動」ボタンを押して、湯はりを行ってください。 残湯量目盛は約45℃以上のお湯の量を表示しています。このため残湯量目盛が表示されていても、お湯の温度が45℃に近い場合は湯はり運転しなかったり、途中で中止することがあります。また、タンクのお湯の温度が、ふろ温度より5℃以上高くないと湯はりはできません。
	湯はり運転が途中で一時的に止まる	正常な動作です。湯はり運転は、途中で温度や水位を確認するために、何度か一時停止します。
	湯はりされる水位が安定しない。	浴そうを新しくしましたか？ ⇒浴そうを新しくしてから水位が不安定になった場合は、水位の再設定を行ってください。→P.66
		ふろの水位データが異常となっている。 ⇒水位の再設定を行ってください。→P.66 再設定を行っても直らない場合、お買い上げの販売店または「修理コールセンター」にご連絡ください。→P.77
	水で湯はりをする	ふろ温度の設定が「低温」になっていませんか？ ⇒適切な温度を設定してください。→P.26
	湯はりされたお湯の温度がぬるい、または熱い	リモコンのふろ温度の設定が低い、または高くありませんか？ ⇒温めるときは「追いだき」または「高温さし湯」ボタンを押して温めてください。→P.31 →P.34 ⇒ぬるくするときは「さし水」ボタンを押してぬるめてください。→P.33 次回の湯はり温度が低い、または高くならないように、ふろ温度の設定を確認・設定してください。
	湯はりされたお湯の水位が低い、または高い	リモコンのふろ水位の設定が低い、または高くありませんか？ ⇒水位を高くするときは「たし湯」ボタンを押して、お湯を足してください。→P.32 ⇒水位を低くするときは、お湯をくみ出すか、排水してください。 「保温」運転中の場合は、自動「たし湯」が動作するため、「保温」運転を中止してから排水してください。→P.27 次回の湯はり水位が低い、または高くならないように、ふろ水位の設定を確認・設定してください。
	保温運転をしない 保温運転が途中で中止する	運転をしない、運転が途中で中止するのは、湯はりや保温運転でお湯を使用し、タンクのお湯の量(または温度)が足りないためです。 ⇒「タンク沸き増し」ボタンを押しタンクにお湯を沸き上げてください。→P.45 運転しなかったり、途中で中止した保温運転の再運転はできません。「追いだき」や「たし湯」を行う場合は、タンクにお湯が沸き上がってから、各ボタンを押してください。
	浴そうにお湯(水)があるが の表示にならない	蛇口から直接浴そうに湯はりした場合は、「浴そうにお湯表示」は「あり」にはなりません。 また、「ふろ自動運転」終了後に、浴そうのお湯をくみ出すなどで、お湯がふろ循環アダプター付近まで減った場合は、「浴そう内のお湯表示」は「なし」に変わります。

次ページに続く

お困りのときは（つづき）

こんなときには、修理を依頼される前に確認を

4 ふろ

こんなときは	確認事項と処置方法
「ふろ自動」や「追いだき」を行うと残湯量目盛が一気に消える、または全て消える	異常ではありません。残湯量目盛は約45℃以上のお湯の量を表示しています。このため残湯量目盛が表示されていても、お湯の温度が45℃に近い場合は、お湯の使用量が多い「ふろ自動（湯はりや保温）」や、「追いだき」を行うと、タンクの湯の温度が一気に下がるためです。
「追いだき」「たし湯」「高温さし湯」が運転できない、または途中で中止する	残湯量目盛が表示または全て表示されている、残湯量目安では使えるお湯の量が多いのに、運転できない、運転が途中で中止するのは、タンクのお湯の温度が低いためです。 ⇒「タンク沸き増し」ボタンを押し、沸き上げを行ってから、再度運転したいボタンを押してください。 残湯量目盛は約45℃以上のお湯の量を、残湯量目安の使えるお湯の量は、給湯温度のお湯の量を表示しています。このため残湯量目盛が表示されていても、使えるお湯の量が多くてもタンクのお湯の温度が45℃に近い場合は、運転できなかったり、途中で中止することがあります。 「追いだき」、「高温さし湯」は、タンクに約60℃以上のお湯が必要です。
	「追いだき」が運転できない、運転が途中で中止するときは、タンクのお湯の温度のほかに、次のことを確認します。 浴そうのお湯がふろ循環アダプター上端以下ではありませんか？ ⇒ふろ循環アダプター上端以下の場合は「追いだき」はできません。 「高温さし湯」でお湯の温度を上げるか、「たし湯」でふろ循環アダプター上端以上にお湯を増やしてから「追いだき」をしてください。
	ふろ循環アダプターのフィルターが目詰まりしていませんか？ ⇒フィルターのお手入れをしてください。→P.54 再度「追いだき」をするときは「追いだき」ボタンを押してください。
朝の浴そうに水がたまっている	正常な現象です。ふろ配管に残っていた水、冬季の夜間に自動的に行った凍結防止運転の水が、ふろ循環アダプターから出たものです。 ⇒湯はりをするときは排水してください。
入浴時にふろ循環アダプターから水が出る	正常な動作です。 冬季「ふろ自動」運転してないときは、外気温が下がると自動的に凍結防止運転を行い、ふろ配管内の水を浴そうに出します。 ⇒入浴するときは、「ふろ自動」運転をしてください。 「ふろ自動」運転中は凍結防止運転は行いません。
浴そうやふろ循環アダプターから「ゴボゴボ」音「ポンプ音」などの音が出る	正常な現象です。 「ふろ自動」や「追いだき」運転中は、ふろ配管内の空気が排出される「ゴボゴボ」音や、ポンプが空気を吸込む音が出ます。
	正常な現象です。 「凍結防止」運転中は、浴そうのお湯を循環させるポンプ音、ふろ配管内の水を浴そうに排出す「ゴボゴボ」音が出ます。
ふろ循環アダプターから汚れが出る	ふろ追いだき配管内にたまった汚れです。異常ではありません。 ⇒「循環洗浄」を行ってください。→P.56
	銅配管が酸化して、酸化物（黒色物）として流出したものです。人体に害はなく、異常ではありません。 ⇒「循環洗浄」を行ってください。→P.56
浴そうのお湯が青く見える 浴そうや洗面用具に青い線が付く	お湯が青く見えるのは、浴そうや光の色の加減によるものです。異常ではありません。 青い線は、銅配管から溶出したわずかな銅イオンが、石けん成分と反応したものです。異常ではありません。 ⇒放置すると落ちにくくなります。こまめに浴室用洗剤で落としてください。

次ページに続く

	こんなときは	確認事項と処置方法
4 ふろ	「自動洗浄」運転しない	「自動洗浄」は、次のような場合は運転しません。 「自動洗浄」が設定されていない場合。 ⇒リモコンの「その他」「一括設定」で「自動洗浄」を「入」に設定してください。 →P.20 「自動洗浄」を「ふろ自動」運転中や運転後に設定した場合 ⇒「ふろ自動」運転の前に設定してください。 「ふろ自動」運転中や運転後の設定は、次回の湯はり後のお湯の排水時の運転になります。 蛇口から直接湯はりした場合 ⇒「ふろ自動」運転で湯はりをしてください。蛇口から直接湯はりした場合は、自動洗浄運転しません。 浴そうのお湯をくみ出すなどで、お湯がふろ循環アダプター付近まで減った場合 ⇒次回は、お湯がふろ循環アダプター付近まで減らないようにしてください。 お湯が多量に減ると、排水されたと認識して、自動洗浄運転を行うことがあります。一度運転すると、その後排水しても自動洗浄運転は行いません。 「ふろ自動」の途中で「ふろ自動」ボタンを押して終了させた場合。 ⇒「自動洗浄」は運転しません。 「ふろ自動」運転中や運転後に「自動洗浄」を「切」にした場合。 ⇒「自動洗浄」を一度「切」にした後、再度「入」にしても「自動洗浄」は運転しません。
	倍速湯はりに時間がかかる	タンクの残湯量が少ないためやタンクのお湯の温度が低いためです。 ⇒「タンク沸き増し」ボタンを押し、沸き上げを行ってから、「ふろ自動」ボタンを押してください。
	快泡浴ができない	リモコンの「浴そう内のお湯表示」が である ⇒「ふろ自動」ボタンを押して、湯はりをしてください。蛇口から直接湯はりした場合は、快泡浴が動作しないことや「ふろ栓確認」を表示することがあります。 →P.67
5 リモコン	表示画面が消えている	200V電源ブレーカー、または漏電遮断器のスイッチが「OFF」になっていませんか？ ⇒「ON」にしてください。 再度「OFF」になったときは、「OFF」のままにして、お買い上げの販売店、または工事店にご連絡ください。
		停電していませんか？ ⇒停電の復帰を待ってください。 →P.52 停電が復帰すると表示画面が表示されます。
	表示画面のバックライトが消える	バックライトは、約１分以上ボタン操作をしないと、節電のため自動的に消灯します。正常な動作です。 ⇒いずれかのボタンを押すと 再点灯しますが、バックライトだけを点灯させたいときは 戻る を押してください。
	表示画面が見にくい	表示画面は、リモコンの設置場所の明るさや温度などで変わります。 ⇒リモコンごとに、コントラストの調整をしてください。 →P.64
	台所リモコンで給湯温度の変更ができない	浴室優先が設定（リモコンに 浴室優先 が表示）されていませんか？ ⇒浴室優先を解除してください。 →P.24 浴室優先は台所リモコンでの給湯温度変更をできなくする設定です。 14:00 eco 浴室優先 ふろ 40℃ 給湯 40℃ タンク
	ふろリモコンのボタン操作ができない	チャイルドロックが設定（リモコンに が表示）されていませんか？ ⇒チャイルドロックを解除してください。 →P.24 チャイルドロックは、ふろリモコンのボタン操作をできなくする設定です。 14:00 eco ふろ 40℃ 給湯 40℃ タンク
	音声ガイドが出ない	音声ガイドが「切」設定になっていませんか？ ⇒「しんせつ」または「標準」の設定にしてください。 →P.61 ガイド・操作音量設定が「切」設定になっていませんか？ ⇒「小」「標準」「大」のいずれかの設定にしてください。 →P.61

次ページに続く

お困りのときは（つづき）

こんなときには、修理を依頼される前に確認を

	こんなときは	確認事項と処置方法
5 リモコン	操作ボタンを押しても操作音が出ない	ガイド・操作音量設定が「切」設定になっていませんか？ ⇒「小」「標準」「大」のいずれかの設定にしてください。 ➔P.61
	通話（インターホン）が聞き取りにくい	マイクに近づき過ぎ・離れ過ぎていませんか？ ⇒マイクから30cm程度離れた位置で、ふつうに会話するように話してください。 近づき過ぎ・離れ過ぎや大きな声、周囲の音（シャワー音やテレビの音など）で、音が割れたり通話が途切れる場合があります。
	通話（インターホン）を使うと「キーン」という音が出る	通話音量が「大」設定になっていませんか？ ⇒「標準」または「小」の設定にしてください。 ➔P.62 リモコンの取り付け状態や場所によっては「キーン」音（ハウリング音）が出ることがあります。
		通話方法を「プレストーク」に変更し、通話するときは同時に「通話」ボタンを押して会話せずに、交互に「通話」ボタンを押して通話してください。リモコンの取り付け状態や場所によっては「キーン」音（ハウリング音）が出ることがあります。 ➔P.49 ➔P.62
	通話（インターホン）の音量が小さくなる	リモコンのスピーカー部に水が付いていませんか？ ⇒水をふき取ってください。 スピーカー部に水が付くと、音量が小さくなったり、聞こえなくなったりすることがあります。 リモコンにはシャワーなどの水をかけないようにしてください。
	深夜時間帯終了時に、残湯量目盛が５目盛まで表示されていない	深夜時間帯の沸き上げ運転中に、お湯を多く使用しませんでしたか？ ⇒沸き上げ運転中にお湯を多く使用すると、深夜時間帯だけでは５目盛まで沸き上げできない場合があります。異常ではありません。 「湯切れ防止設定」が「少量」または「全量」で、このような場合は、深夜時間帯終了後も沸き上げを行います。
		お湯の使用量が少なく、お湯の沸き上げ量が少なくなっている。 ⇒お湯の使用量が少ない日が続くと、５目盛目まで沸き上げずに節約します。異常ではありません。
	使用量目安や使用実績の数値が実際に使用したお湯の量と違っている	使用量目安と使用実績の数値は、追いだきで使ったタンクのお湯の熱を使ったお湯の量に換算しています。また湯はりやたし湯のお湯も含んでいます。 そのため混合水栓から使用したお湯の量とは異なります。異常ではありません。
	沸き上げ設定をおすすめ設定に変更したが、お湯が足りなくなる、または余る	おすすめ設定は、昨日までの６日間の使用実績を基に表示しています。そのため、急に使用量が多くなった場合は、タンクのお湯が足りなくなり、急に使用量が少なくなった場合は余る場合があります。異常ではありません。 ⇒足りなくなった場合は、「タンク沸き増し」ボタンを押して、沸き上げてください。 ➔P.45
	シャワーを使用しているのに、シャワーアラーム画面が表示されない	シャワーアラームの設定が「しない」になっていませんか？ ⇒「ふろ」または「ふろ・台所」の設定にしてください。 ➔P.43
		シャワーの勢いが弱くありませんか？　または節水シャワーヘッドを使用していませんか？ ⇒シャワーの流量を4L/分以上に増やしてください。 ➔P.44
		シャワーアラームの設定使用時間が長くないですか？ ⇒シャワーアラームの設定使用時間を短くしてください。 ➔P.43
	シャワーを使用していないのにシャワーアラーム画面が表示される	台所や洗面所などで、給湯を連続使用していませんか？ ⇒正常な動作です。シャワーを使用していなくても、ほかの蛇口からのお湯を連続で使用すると、シャワーアラーム画面が表示されます。 ➔P.43

仕様

■システム

	仕　　様	
型式	BHP-FV46PD	BHP-FV37PD
仕向地	一般地（Ⅲ地域（平成25年基準では4地域）以南、外気温-10℃まで対応）	
適用電力制度	季節別時間帯別電灯型、 時間帯別電灯型（通電制御対応）	
相数／定格電圧（定格周波数）	単相200V （50／60Hz）	
最大電流	20A	19A
沸き上げ温度範囲	約65℃～約90℃	
年間給湯保温効率（JIS）※6	3.8	3.9
区分	17	
冬期高温沸き上げ温度	90℃	
着霜期高温沸き上げ温度	90℃	

■貯湯ユニット

		仕　　様	
型式		BHP-TADV46P	BHP-TADV37P
設置場所		屋外	
タンク容量		460L	370L
水側最高使用圧力		190kPa	
外形寸法		2,101mm（高） 650mm（幅） 730mm（奥行）	1,771mm（高） 650mm（幅） 730mm（奥行）
質量（製品質量／満水時質量）		89kg／約549kg	79kg／約449kg
給湯作動最低流量		2L／min	
消費電力	制御用	6W	
	ふろ保温	60W	
	給湯時	60W	

■ヒートポンプユニット

	仕　　様	
型式	BHP-HAV60P	BHP-HAV45P
外形寸法	720mm（高）×792mm（幅）×299mm（奥行）	
質量	55kg	
中間期標準加熱能力／消費電力 ※2 ※3	6.0kW／1.28kW	4.5kW／0.92kW
中間期標準運転電流 ※2 ※3	6.7A	5.9A
冬期高温加熱能力／消費電力 ※1 ※2 ※4	6.0kW／2.00kW	4.5kW／1.50kW
運転音 ※5（中間期 ※3／冬期高温 ※4）	42dB（A）／44dB（A）	38dB（A）／43dB（A）
冷媒名および封入量	R744（CO_2）／1.05kg	
設置可能最低外気温度	−10℃	
設計圧力	高圧部 13.3 ／低圧部 8.0MPa	

※1　低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
※2　沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
※3　作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）16℃／12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃
※4　作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／6℃、水温9℃、沸き上げ温度90℃
※5　運転音はJIS C 9220:2011に準拠し、反響音の少ない無響音室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示値よりも大きくなるのが普通です。
※6　JIS C 9220:2011に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量およびふろ保温熱量を表したものです。
年間給湯保温効率（JIS）=1年間で使用する給湯とふろ保温に係わる熱量 ÷ 1年間に必要な消費電力量
なお、値は下記条件で算出した値であり、実際には地域条件、運転モードの設定やご使用条件等により変わります。
年間給湯保温効率（JIS）算出時の条件
・着 霜 期 高 温 条 件：外気温（乾球温度／湿球温度）2℃／1℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃
・冬期給湯保温モード条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／6℃、水温7℃、沸き上げ温度65℃
・着霜期給湯保温モード条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／6℃、水温7℃、沸き上げ温度65℃
・夜間消費電力量比率（JIS C9220：2011冬期給湯保温モード条件時）：80%

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

保証とアフターサービス

保証書（添付）・保証期間

保証書は、必ず「お買い上げ日、お買い上げ販売店名（工事店名）」などの記入をお確かめのうえ、お買い上げ販売店（工事店）からお受け取りください。内容をよくお読みになり、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
ただし、冷媒回路（コンプレッサー、水加熱用熱交換器、空気用熱交換器、冷媒経路配管など）は3年間、タンク（缶体）は5年間です。
※タンク（缶体）は貯湯ユニット内の湯水を貯めるタンクのことで貯湯ユニットのことではありません。

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 10 年です。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

技術的なお問い合わせは

右記の「技術相談センター」へお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

67～75ページ「お困りのときは」の確認をしていただき、なお異常があるときは、漏電遮断器のスイッチを「OFF」（または200Vブレーカーを「OFF」）にしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。（凍結のおそれがある場合は、「OFF」にしないでください。）連絡先が不明の場合は右記の「修理コールセンター」へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

製品名	日立ヒートポンプ給湯機
型式	保証書に記載されています
お買い上げ日	年　月　日
お買い上げ店名	
異常の内容	できるだけ詳しく
お名前	
ご住所	付近の目印なども
お電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金

保証期間中は	保証書の規定に従って修理させていただきます。
保証期間が過ぎている場合は	修理によって使用できるようになる場合は、お客様のご希望により有料修理いたします。

※施工上の不具合による故障および損傷が生じた場合、据付説明、取扱説明を依頼された場合は、保証期間内であっても、無償保証の対象外になります。

弊社の連絡先電話番号

修理コールセンター

(0120) 649-020（携帯電話からも可）
受付時間　365 日・24 時間受付

技術相談センター

(0120) 578-011（携帯電話からも可）
受付時間　9：00～17：00

サービスエンジニアリングセンター

受付時間　9：00～17：00（土日祭日を除く）

北海道（011）717−5146
〒060−0809
札幌市北区北 9 条西 3-10-1（小田ビル 8 階）

東北（022）225−5972
〒980−0065
仙台市青葉区土樋 1−1−11

東京（03）3649−3811
〒135−0016
東京都江東区東陽 5−29−17（住友不動産東陽ビル）

北陸（076）429−6861
〒939−8214
富山市黒崎 627−3

中部（0568）72−0131
〒485−0072
小牧市元町 4−66

関西（06）6303−6159
〒532−0022
大阪市淀川区野中南 2−11−27

中国（082）283−9374
〒735−0029
広島県安芸郡府中町茂陰 1−9−20

四国（087）833−8701
〒760−0078
高松市今里町 2−21−5

九州（092）561−4854
〒815−0031
福岡市南区清水 4−9−17

※所在地・電話番号などは、予告無く変更することがありますのでご了承ください。

お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には電話対応の品質向上のため、通話内容を録音させていただいております。

ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。

お客様メモ

お買い上げ日、お買い上げ販売店（工事店）を記入しておいてください。アフターサービスを依頼されるとき便利です。	
お買い上げ日	年　月　日
お買い上げ販売店（工事店）	
電話番号	

定期点検契約（有料）のおすすめ

このヒートポンプ給湯機を長期間安心してご使用いただくために、3〜4年に1度、専門技術者による点検（有料）をおすすめします。
なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。
定期点検の契約については、お買い上げの販売店、または「サービスエンジニアリングセンター」へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは有料で交換します。

定期点検の主な項目と内容

据付け状態	設置状態／配管接続部の水漏れ／配管などの保温状態／電気絶縁の点検
機能部品	電気部品（配線・導通・動作）／弁類（減圧弁・逃し弁）の点検
清掃	タンク内（沈殿物）／給水継手部ストレーナ（目詰まり）の清掃

消耗部品（有料）

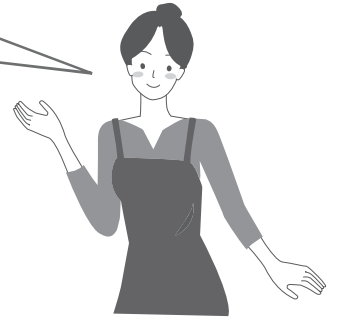
減圧弁／逃し弁／混合弁／電磁弁／三方弁／パッキン類／循環ポンプ／センサー類／ゴムホース／水流スイッチ
（使用水質によっては 3 年程度で消耗する場合があります。）

愛情点検

長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検を！

ご使用の際こんな症状はありませんか？	●運転中以外に逃し弁から水が漏れる。 ●漏電遮断器のスイッチが自動的に「OFF」になる。 ●本体や配管から水が漏れる。 ●その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	●故障や事故防止のため、「電源ブレーカ」を切り、「タンク専用止水栓」を閉じてから、販売店に点検をご相談ください。

用語集

ふだん聞きなれない
用語や混同しやすい
用語を説明します。

電力契約番号
電力契約名称に対応した、リモコン設定用の日立独自の番号のこと

→P.57

沸き上げ
手動もしくは自動でヒートポンプユニットがお湯を沸かすこと

→P.59

タンク沸き増し
手動操作でヒートポンプユニットでお湯を沸かすこと

→P.45

湯切れ防止
タンクのお湯が減ると自動的にヒートポンプユットがお湯を沸かすこと

→P.60

追いだき
浴そうのお湯の温度を高くすること

→P.29

たし湯
ふろ温度のお湯を浴そうのお湯に入れて水位を高くすること

→P.30

さし水
水を浴そうのお湯を入れて温度を低くすること

→P.31

高温さし湯
約55℃のお湯を入れて浴そうのお湯の温度と水位を高くすること

→P.32

快泡浴
浴そうに気泡を含んだ水流が発生すること

→P.33

給湯温度
台所や洗面所、浴室などの蛇口やシャワーから出るお湯の温度のこと

→P.23

ふろ温度
自動で浴そうに湯はりするときのお湯の温度のこと

→P.26

混合水栓
お湯と水を混ぜて1つの蛇口から出せる水栓のこと

→P.22

残湯量
タンク内にある45℃以上のお湯の量のこと

→P.41

使用湯量
タンク内のお湯全部を給湯温度のお湯に換算したときの量のこと

→P.41

タンク専用止水栓
タンク内への水道水給水を止めるための栓のこと

→P.4

タンク排水栓
タンク内のお湯（水）を排水するための栓のこと

→P.3

タンク排水管
タンク内のお湯（水）の出口のこと

→P.4

 日立アプライアンス株式会社

〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12